

DENON

ブルーレイディスク / DVDビデオ プレーヤー

DBP-2010

取扱説明書

※本書の操作説明に使っているボタンのイラストはリモコンのものです。
本体パネルの同じ名前のボタンでも操作できます。

安全にお使いいただくために—必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みの後は後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。



分解禁止

⊙記号は禁止の行為であることを告げるものです。



電源プラグをコンセントから抜け

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。



ご使用は正しい電源電圧で表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。



必ず実施

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは

電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



禁止

内部に水などの液体や異物を入れない

機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお客様のいるご家庭ではご注意ください。



水ぬれ禁止

水をかけたり、濡らしたりしない

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。



分解禁止

ねじを外したり、分解や改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



接触禁止

雷が鳴り出したら

機器や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



禁止

乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。



水場での使用禁止

風呂・シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。





水ぬれ禁止



この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない


こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。


⚠️ 注意


この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。


 **注意**
付属の電源コードを使用する他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
 **禁止**
また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。
電流容量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。


 **必ず実施**
電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない
電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
 **禁止**
根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

 **禁止**
電源コードを熱器具に近付けない
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。


 **禁止**
電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。


 **ぬれ手禁止**
濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。


 **禁止**
ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。


 **必ず実施**
機器の接続は説明書をよく読んでから接続する
テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。


また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

 **必ず実施**
電源を入れる前には音量を最小にする
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。


 **禁止**
長時間音が歪んだ状態で使用しない
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。


 **必ず実施**
電池を交換するときは
● 極性表示に注意し、表示通りに正しく入れる
● 指定以外の電池は使用しない
● 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない


 **禁止**
間違えると電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。


 **注意**
ディスク挿入口に手を入れない
特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。
万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。


 **注意**
指のけがに注意


 **禁止**
レーザー光源をのぞき込まない
レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。


 **禁止**
不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。


 **禁止**
次のような場所には置かない
火災・感電の原因となることがあります。
● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
● 湿気やほこりの多いところ
● 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ


 **必ず実施**
壁や他の機器から少し離して設置する
放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。


 **禁止**
通風孔をふさがない
内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
● あお向けや横倒し、逆さまにする
● 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
● テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する

 **禁止**
この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない
特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

 **禁止**
重いものをのせない
機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

 **注意**
移動させるときは
まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

 **注意**
長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは
安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

 **注意**
5年に一度は内部の掃除を
販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

目次

ご使用になる前に

安全上のご注意	2
結露(つゆつき)について	5
レーザーピックアップについて	5
修理について	5
リサイクルについて	5
登録商標について	5
本機の特徴	5
付属品について	5
取り扱い上のご注意	6
設置の際のご注意	6
携帯電話使用時のご注意	6
移動させるときのご注意	6
お手入れのしかた	6
換気についてのご注意	6
メディアについて	6
本機で使えるディスク	6
ディスクの持ちかた	7
ディスクの入れかた	7
本機で使えるSDカード	7
ディスクやSDカードを入れる際のご注意	8
著作権について	8
ディスクの取り扱いについてのご注意	8
ディスクやSDカードの保存についてのご注意	8
ディスクのお手入れのしかた	8
リモコンについて	8
乾電池の入れかた	8
リモコンの使いかた	8
各部の名前について	9
フロントパネル	9
リアパネル	9
ディスプレイ	10
操作時の表示について	10
リモコン	11
デノン製DVDプレーヤー用リモコンで本機を 動作させなくするには	11
本機のリモコンコード設定(本体側)	11
本機のリモコンコード設定(リモコン側)	11

接続のしかた

テレビの音声端子との接続	13
テレビの映像端子との接続	13
HDMIケーブルを使用したデジタル接続	14
HDMIケーブルを使用したテレビおよびAVアンプとの デジタル接続	14
HDMI映像出力設定	14

音声設定について	15
デコーダ内蔵のAVアンプとのデジタル接続	16
アナログ7.1/5.1チャンネル音声入力端子がある機器との サラウンド接続	16
アナログ2チャンネル音声入力端子がある機器との接続	16
ネットワーク接続	16
電源コードの接続	17

基本操作のしかた

本機の電源を入れる	18
ディスクを再生する	18
再生を停止する	19
再生を一時停止する	19
BD、DVD、AVCHDについて	19
BD、DVD、AVCHDを再生する	19
ディスクに記録されているメニューを使う	19
BD-REモードやAVCRECモード、VRモードで 記録されたディスクを再生する	20
音声を切り換える(マルチ音声機能)	20
字幕や字幕スタイルを切り換える(マルチ字幕機能)	21
アングル(角度)を切り換える(マルチアングル機能)	21
音楽用CDについて	22
MP3、JPEG、WMA、DivX®について	22
MP3やJPEG、WMA、DivX®を再生する	23
DivX®とMP3やJPEG、WMAが混在したディスクを再生する	23
BD音声モードを切り換える	24
早見・早聞き再生する(ダイアログスピード)	24
画質設定(ピクチャーコントロール)	24
バーチャルサラウンド設定	25
ピュアダイレクト機能	25
ディマー機能	26
ピクチャーCDを再生する	26
ズーム再生する(DVD、JPEG、DivX®のみ)	26
スライド効果を設定する	27
JPEGファイルの画像サイズを調整する	27
再び見たい場面を記憶する(マーカー設定)	27
マークを付ける/マークを付けた箇所を呼び出す	27
SDカードを再生する	27
BD-Liveについて	28

便利な操作のしかた

早戻し/早送りをする	29
頭出しをする	29
数字ボタン[0~9]で頭出しをする(サーチモード)	29
コマ送り再生をする(BD、DVD、DivX®のみ)	29
スロー再生をする	30
リピート再生をする	30
指定した2点間を繰り返し再生する(A-Bリピート再生)	30
PIP(ピクチャー・イン・ピクチャー)(BONUSVIEW)の設定	30
プログラム再生をする(音楽用CD、MP3、WMA、JPEGのみ)	31
ランダム再生をする(音楽用CD、MP3、WMA、JPEGのみ)	31
再生中の情報を見る(画面表示)	31
画面表示の切り換わりかた	32

初期設定のしかた

初期設定の操作のしかた(セットアップメニュー)	33
クイックメニュー	33
カスタムメニュー	33
言語	34
映像	34
音声	36
スピーカー設定	37
視聴制限設定	38
その他	38
ネットワーク接続設定	39
接続テスト	39
接続設定(簡易)	40
接続設定(詳細)	40
ネットワークアップデート	42
初期化	42
言語コード一覧	43

その他について

故障かな?と思ったら	44
保証とサービスについて	45
主な仕様	45
用語の解説	46
索引	48
ライセンス	50

結露（つゆつき）について

暖房した部屋の窓ガラスに水滴がつくことがあります。これを結露（つゆつき）と呼びます。

- ・本機を寒いところから暖かいところへ急に移動させたとき
- ・暖房をつけたばかりの部屋で操作するとき
- ・湿気の多いところで使うとき
- ・エアコンのそばなど、直接風の当たる場所で使うとき

など、内部で結露が起こったり、内部のレンズにつゆ（水滴）がつき、正しく動作しないことがあります。このようなときは、電源プラグをコンセントから抜き、しばらく乾燥のため放置して、湿気がなくなるまで操作しないでください。

レーザーピックアップについて

この取扱説明書との該当部分と、「故障かな?と思ったら」
44ページをよくお読みになり、操作を行っても正常に動作しない場合は、レーザーピックアップが汚れている可能性があります。点検・清掃については、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理について

本機が動作しなくなった場合は、ご自分で分解や修理をしないでください。電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

リサイクルについて

本製品の梱包材はリサイクルができ、再利用が可能です。お住まいの地域のリサイクルに関する取り決めにしたがって梱包材を処分してください。乾電池は、投棄や焼却処分をしないで、化学廃棄物に関する地方自治体の規制にしたがって処分してください。

ステレオ音のエチケット



- 隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

登録商標について

本製品は、以下の技術を採用して生産されています。（順不同）



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号（**DD**）はドルビーラボラトリーズの商標です。



本機は以下のライセンスに基づき製造されています。（米国特許番号 5,451,942、5,956,674、5,974,380、5,978,762、6,226,616、6,487,535、7,392,195、7,272,567、7,333,929、7,212,872、その他の米国および他の国において出願中の特許。）DTS-HD、DTS-HD Master Audio | Essential、およびDTSロゴや記号はDTS社の登録商標または商標です。Copyright 1996-2008 DTS, Inc. All rights reserved.



HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。

x.v.Color

"x.v.Color"および"x.v.Color"ロゴは Sony Corporationの商標です。



JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。



"AVCHD"および"AVCHD"ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。



"AVCREC"および"AVCREC"ロゴは、Blu-ray Disc Associationの商標です。



DivX®、DivX Certified®、および関連するロゴは、DivX, Inc.の商標です。これらの商標は、DivX, Inc.の使用許諾を得て使用しています。



Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

BONUS VIEW™

"BONUSVIEW"はBlu-ray Disc Associationの商標です。



"BD-LIVE"ロゴはBlu-ray Disc Associationの商標です。



は商標です。



はDVDフォーマットロゴライセンシング(株)の商標です。



"KODAK"はイーストマン・コダック社の登録商標です。



SDHCロゴは商標です。

本機の特徴

- **PiP(ピクチャー・イン・ピクチャー) (BONUSVIEW)**
PiP(ピクチャー・イン・ピクチャー)機能を持つBDビデオの再生時、セカンダリー映像を含むシーンで、セカンダリー映像を画面内に別画面で表示することができます。
- **ピュアダイレクト機能**
映像信号などの出力を止め、アナログ音声信号のみを出力することで高音質な音声が楽しめます。
- **セットアップメニュー画面**
利用可能な機能の情報を画面に表示し、リモコンで操作することができます。
- **画質設定**
お好みに合わせて、画質の設定が行えます。
- **DRC(ダイナミックレンジコントロール)**
ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラスやドルビーTrueHDで記録された音声を持つBD/DVD/AVCHDの再生時、出力音声の強弱の幅(ダイナミックレンジ)を設定することができます。
- **SDカードの再生**
SDカードに記録されたAVCHD、MP3、Windows Media™ AudioやJPEGファイルの再生ができます。また、ピクチャー・イン・ピクチャーや字幕など、BD-ROM Profile 2.0再生時の追加コンテンツをSDカードに保存して同時に再生することができます。
- **AVCHDファイルの再生**
本機ではディスクやSDカードに保存されたAVCHD(ハイビジョン映像をビデオカメラの撮影で記録できる新しいフォーマット)を再生することができます。
- **DivX®ファイルの再生**
本機ではBD-RE/-R、DVD-R/-RWまたはCD-R/-RWに記録されたDivX®ファイル(DivX® 6やDivX® HDを含む全てのバージョンのDivX®ビデオ)を再生することができます。
- **MP3ファイルの再生**
本機ではBD-RE/-R、DVD-R/-RW、CD-R/-RWまたはSDカードに記録されたMP3ファイルを再生することができます。
- **Windows Media™ Audioファイルの再生**
本機ではBD-RE/-R、DVD-R/-RW、CD-R/-RWまたはSDカードに記録されたWindows Media™ Audioファイルを再生することができます。

● JPEGファイルの再生

本機ではBD-RE/R、DVD-R/RW、CD-R/RWまたはSDカードに記録されたJPEGファイルを再生することができます。また、コダック(株)が扱っているピクチャーCDも再生することができます。

● BD-Jアプリケーション

Javaアプリケーション(BD-J)を含むBDビデオで、ビデオの操作に加えて、ゲーム等のインタラクティブな機能を楽しむことができます。

● BD-Live

本機は、BONUSVIEW機能に追加して、BD-Live(BD-ROM Profile 2.0)に対応しています。BD-Liveで利用できる様々な機能は、ディスクにより異なります。

● アナログ7.1chサラウンド出力

本機は、アナログ7.1chサラウンド音声出力に対応しています。

● x.v.Color

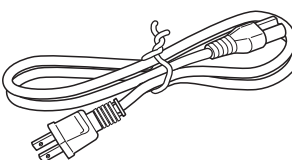
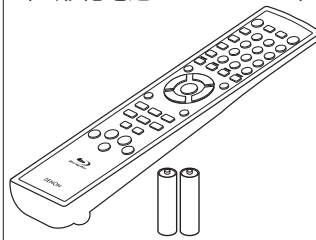
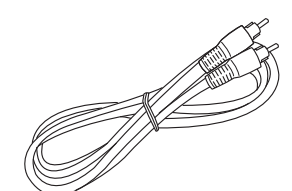
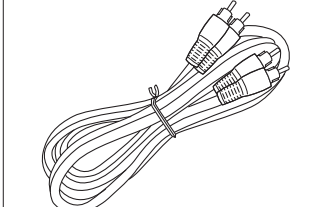
本機では、“x.v.Color”で撮影した映像を再生することができます。“x.v.Color”の広色域の映像をお楽しみいただくには、“x.v.Color”に対応したテレビへ接続し、必要な設定を行う必要があります。詳しくはテレビの説明書をご確認下さい。

● HDMI CEC

本機は、HDMIケーブルで接続したHDMI CEC対応のテレビの操作を、本機の動作と連動して行えるHDMI CEC機能に対応しています。この機能は接続するテレビによっては機能しないことがあります。

付属品について

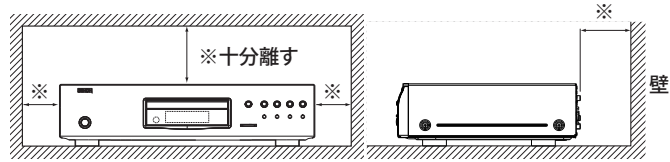
ご使用の前にご確認ください。

電源コード……………1本 【本機専用】  (コードの長さ:約1.6m)	リモコン(RC-1130)……1個 単3形乾電池……………2本 
映像コード……………1本  (コードの長さ:約1.0m)	音声コード……………1本  (コードの長さ:約1.0m)
取扱説明書(本書)……………1冊	製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表……………1枚
保証書【梱包箱に添付】	

取り扱い上のご注意

設置の際のご注意

- ◎ 放熱のため、本機の天面、背面および両側面と壁や他のAV機器などと十分離して設置してください。
- ◎ AVアンプ等の上に、本機を置いてご使用にならないでください。



携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音(ノイズ)が入る場合があります。携帯電話は本機から離れたところでご使用ください。

移動させるときのご注意

ディスクを取り出して電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外してから行ってください。

お手入れのしかた

- ◎ キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。
- ◎ ベンジン、シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますのでご使用にならないでください。

換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、レーザーピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。



- 本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので、実物とは異なる場合があります。

メディアについて

本機で使用できるディスク

本機で再生できるディスクは、次のとおりです。ただし、特殊形状のディスクの再生は故障の原因になりますので、使用しないでください。



再生できるメディア	マーク(ロゴ)	記録されているもの	ディスクの大きさ
BDビデオ*1		BDビデオ: デジタル音声・映像 (MPEG2方式、 MPEG-4 AVC、 SMPTE VC-1方式)	12cm盤
BD-R(Ver. 1.1/1.2/1.3)*2		BD-RE/BD-R: デジタル音声・映像 (MPEG2方式、 MPEG-4 AVC、 SMPTE VC-1方式)、 MP3、WMA*5、 デジタル画像 (JPEG方式)、 デジタル音声・映像 (DivX*方式*6)	12cm盤/ 8cm盤
BD-RE(Ver. 2.1)*2			
DVDビデオ*1		デジタル音声・映像 (MPEG2方式)	
DVD-R*3 DVD-R DL*3		デジタル音声・映像 (MPEG-4 AVC / MPEG2方式) AVCHD、AVCREC、 MP3、WMA*5 デジタル画像 (JPEG方式)、 デジタル音声・映像 (DivX*方式*6)	12cm盤/ 8cm盤
DVD-RW*3			
CD (CD-DA)		デジタル音声 (CD-DA方式)	
CD-R*4		デジタル音声・映像 (MPEG-4 AVC*5、 MPEG2方式)、 デジタル画像 (JPEG方式)、 デジタル音声・映像 (DivX*方式*6)	12cm盤/ 8cm盤
CD-RW*4			
DTS-CD (5.1音楽ディスク)	-	デジタル音声	12cm盤

再生できるメディア	マーク(ロゴ)	記録されているもの	ディスクの大きさ
ピクチャーCD		デジタル画像(JPEG方式)	12cm盤



- BD-RE/-Rでは、デジタル放送で使用されるAAC音声の再生は可能ですが、パソコンなどで記録されたAAC音声の再生はできません。

ご注意

BDプレーヤーとBDビデオおよびDVDプレーヤーとDVDビデオは、それぞれリージョンコード(地域ごとに割り当てられたコード)を持っています。そのコードが一致しないと再生ができないしくみです。



BDビデオ



DVDビデオ

- 本機で再生できるBDビデオのリージョンコードはA(またはAを含むもの)です。
- 本機で再生できるDVDビデオのリージョンコードは2またはALLです。
- 本機のリージョンコードまたはカラー方式(NTSC)とは異なるBD、DVDレコーダー(PALなど)で録画したディスクは再生できません。

- *1: BDビデオやDVDビデオの中には、ソフト制作者の意図により、本書の説明どおりに動作しないディスクがあります。
- *2: 本機は、**BDMV**(Blu-ray Disc Movie)モードまたは**BDAV**(Blu-ray Disc Audio/Visual)モードで記録されたBD-RE/-Rを再生することができます。なお、ディスクの記録状態によってはディスクを受け付けなかったり、映像や音声途切れるなど正常に再生できないことがあります。また、ファイナライズ(クローズ)を行っていないBD-Rは再生できないことがあります。
- *3: 本機は、**AVCREC**モード、**VR**(ビデオレコーディング)モードまたは**ビデオモード**で記録されたDVD-R/-RWを再生することができます。なお、ディスクの記録状態によってはディスクを受け付けなかったり、映像や音声途切れるなど正常に再生できないことがあります。また、ファイナライズを行っていないディスクは再生できません。
- *4: CD-R/-RWは、ディスクの記録状態によっては正常に再生できない場合があります。
- *5: デジタル著作権管理(DRM: Digital Rights Management)によって保護されているWMAデータファイルは再生できません。

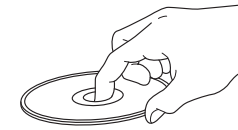
- *6: DivX® Certified製品
標準のDivX®メディアファイル再生機能が付いたDivX®ビデオを再生(DivX®6も含むすべてのバージョンに対応) DivX®にグローバル動き補償(GMC: Global Motion Compensation)技術が含まれているファイルは再生できません。
- DIVXビデオについて: DivX®は、DivX社が作成したデジタルビデオフォーマットです。これは、DivXビデオの再生デバイスとして公認のDivX認証デバイスです。ファイルをDivXビデオに変換するための詳細情報およびソフトウェアツールについては、www.divx.comをご覧ください。
- DIVXビデオオンデマンドについて: このDivX Certified®デバイスは、DivXビデオオンデマンド(VOD)コンテンツ再生のため登録が必要です。登録コードの作成については、デバイスセットアップ・メニューのDivX VODセクションをご覧ください。このコードを使用してvod.divx.comで登録プロセスを完了し、DivX VODに関する詳細をお読みください。



下記のディスクは再生できません。

- リージョンコードに『A』を含まないBDビデオ
- リージョンコードが『2』または『ALL』以外のDVDビデオ
- Ver. 1.0(カートリッジタイプ)のBD-RE
- BD-ROM(MP3、JPEG、WMA、DivX® 3.11、4.x、5.x、6.x)の各データファイルは再生可能
- AVCHDファイルを記録したBD-RE/-R
- マルチセッション、マルチボーダーでDivX®ファイルを記録したBD-RE/-RまたはDVD-R/-RW
- マルチセッション、マルチボーダーでMP3、WMAおよびJPEGファイルを記録したBD-RE/-R
- HD DVDディスク
- Total Hi Def、BD-DVDコンビネーションなどのディスク
- DVDオーディオ
- DVD-ROM/RAM(DVD-ROMではMP3、JPEG、WMA、DivX® 3.11、4.x、5.x、6.x)の各データファイルは再生可能
- 互換性のないフォーマットで記録されたDVD-R/-RW
- 未ファイナライズのディスク
- CD-ROM(MP3、JPEG、WMA、DivX® 3.11、4.x、5.x、6.x)の各データファイルは再生可能
- スーパーオーディオCD(ハイブリッドディスクで、CD層に記録された音声のみ再生可能)
- CDV(オーディオパートのみ再生可能)
- CD-G(音声のみ出力可能)
- 規格外の音楽用CD(コピーコントロール付CDなど)
- 無許可のディスク(海賊版のディスク)
- 記録領域が少ないディスク(直径55mm以下)
- VSD、ビデオCD、スーパービデオCD、CD-Iなど

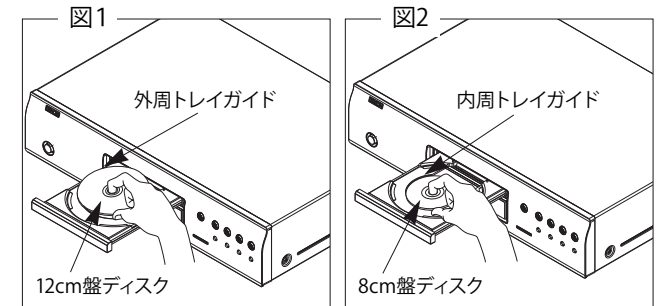
ディスクの持ちかた



ディスク記録面に触らないようにしてください。

ディスクの入れかた

- 再生したい記録面を下にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cm盤ディスクは外周トレイガイド(図1)に合わせ、8cm盤ディスクはアダプターを使用せずに内周トレイガイド(図2)に合わせて、水平に載せてください。



- 再生できないディスクを入れた場合、またはディスクを裏返しに入れた場合は、本機のディスプレイに“-----”を表示します。

ご注意

電源が切られている状態でディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。

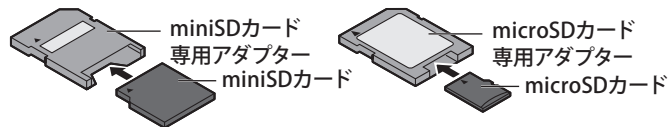
本機で使用できるSDカード

本機で再生できるSDカードは、次のとおりです。

再生できるカードの種類	再生できるファイル
SDメモリーカード(8MB~2GB)	<ul style="list-style-type: none"> ● AVCHD・MP3・WMA・JPEG ● BD用ピクチャー・イン・ピクチャー字幕または、その他の拡張機能をもつBDプロファイル2.0/1.1
SDHCメモリーカード(4GB~8GB)	
miniSDカード(8MB~2GB)	
microSDカード(8MB~2GB)	

＜ご使用になる前に＞

- ファイルシステムがFAT12またはFAT16のSDメモリーカード、およびFAT32のSDHCメモリーカードに対応しています。
- miniSDカードまたはmicroSDカードには、専用のアダプタが必要となります。



ご注意

- SDカードのファイル再生中にカードを抜いたり、本機の電源を切らないでください。ファイルが壊れたり、故障の原因になることがあります。
- SDカードをパソコンでフォーマット（初期化）すると、本機で使用できない場合があります。そのようなときは、本機でフォーマットしてください。42ページ
- SDカードに記録したDivX®ファイルの再生はできません。
- SDカードは分解したり、修理しないでください。
- SDカードの金属端子（記録）部を指などで直接触らないでください。
- 本機はminiSDHCカード、およびmicroSDHCカードには対応していません。
- 本製品の一部は、ARIS/SOLANA/4Cの許諾のもと提供され、著作権法によって保護されています。

ディスクやSDカードを入れる際のご注意

- ディスクは1枚だけ入れてください。2枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクやSDカードはご使用にならないでください。
- レンタルディスクのラベルやセロハンテープなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるディスクやSDカードはご使用にならないでください。そのままご使用になると、ディスクやSDカードが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁止されています。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。
- この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

ディスクの取り扱いについてのご注意

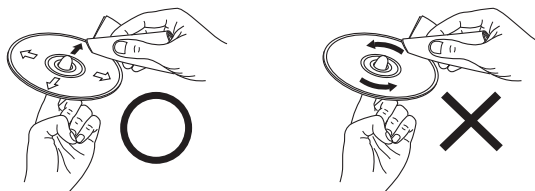
- 指紋・油・ゴミなどを付けしないでください。
- ディスクに傷をつけないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- 屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクに水滴がつくことがあります。ヘアードライヤーなどで乾かささないでください。

ディスクやSDカードの保存についてのご注意

- ご使用後は、必ずディスクやSDカードを取り出してください。
- ほこり・傷・変形などを避けるため、必ず専用のケースに入れてください。
- 次のような場所に置かないでください。
 1. 直射日光が長時間当たるところ
 2. 湿気・ほこりなどが多いところ
 3. 暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れをふき取ってからご使用ください。音質が低下したり、音が途切れたりすることがあります。
- ふき取りには、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。



内周から外周方向へ軽くふく 円周に沿ってはふかない

ご注意

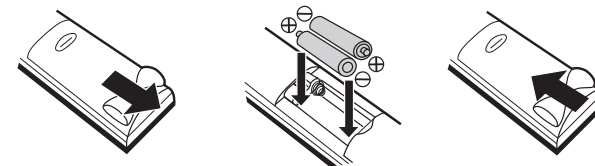
レコードスプレー・帯電防止剤や、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は、ご使用にならないでください。

＜ご使用になる前に＞

リモコンについて

乾電池の入れかた

- ①ふたをはずす。 ②単3形乾電池（2本）をそれぞれ乾電池収納部の表示通りに入れる。 ③ふたを元通りにする。



リモコンと乾電池についてのご注意

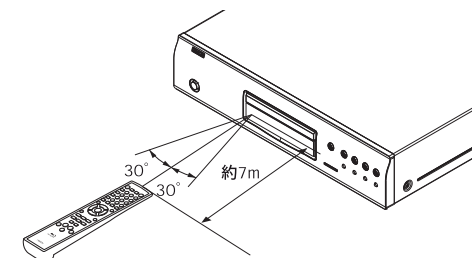
- リモコンに液状のものをかけないようにしてください。
- リモコンを落とさないようにしてください。
- リモコン操作ができる距離が短くなってきたら、乾電池が消耗しています。新しい乾電池に交換してください。（※付属の乾電池は動作確認用です。）
- 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
- 本機を直射日光の当たる場所に置かないでください。誤動作する場合があります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池を一緒に入れないでください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を一緒に入れないでください。

アルカリ乾電池ご使用のご注意

アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と被覆（外枠の被覆がはがれている場合）に同時に接触した場合、乾電池そのものがショート（短絡）状態になり、ショートした部分が発熱しやけどする危険があります。アルカリ乾電池をご使用になる場合は、被覆がやぶれたり、はがれたりしていないものをご使用ください。

リモコンの使いかた

- リモコンはリモコン受光部に向けてご使用ください。
- 左右30°までの範囲で、約7m離れたところまで使用できます。



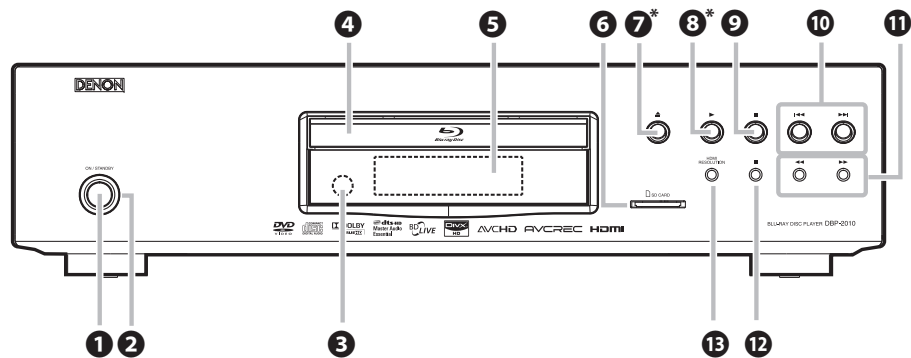
ご注意

リモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコンが動作しにくくなります。

各部の名前について

各部の働きなど詳しい説明については、()内のページを参照してください。

フロントパネル

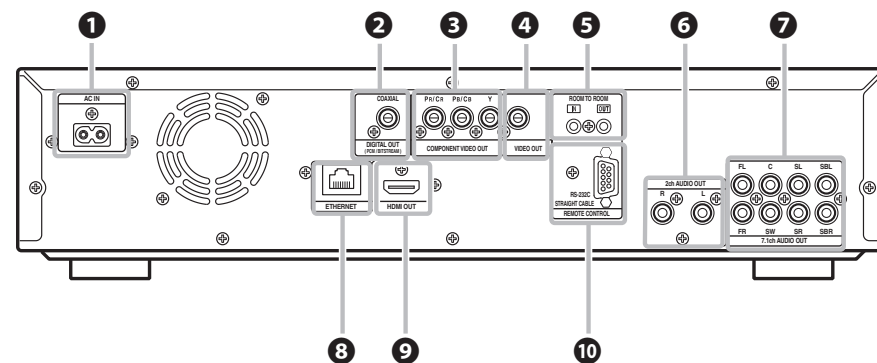


- ① 電源ボタン(ON / STANDBY) (18)
- ② 電源表示 (18)
- ③ リモコン受光部 (8)
- ④ ディスクトレイ (7)
- ⑤ ディスプレイ (10)
- ⑥ SDカードスロット (27)
- ⑦* ディスクトレイ
オープン/クローズボタン(▲) (18)
- ⑧* プレイボタン(▶) (18)
- ⑨ ストップボタン(■) (19)
- ⑩ スキップボタン(◀◀、▶▶) (29)
- ⑪ 早送り(スロー)/早戻しボタン
(◀◀、▶▶) (29)
- ⑫ ポーズ/コマ送りボタン(⏸) (19)
- ⑬ HDMI解像度ボタン
(HDMI RESOLUTION) (14)



- *の記されているボタンを押しても、電源を入れることができます。

リアパネル

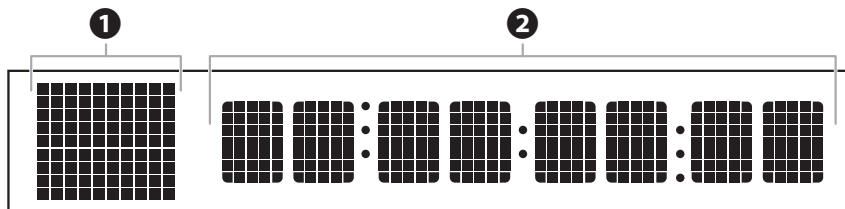


- ① 電源入力端子 (AC IN) (17)
- ② デジタル音声出力端子
(DIGITAL OUT COAXIAL) (16)
- ③ 色差映像出力端子
(COMPONENT VIDEO OUT) (13)
- ④ 映像出力端子 (VIDEO OUT) (13)
- ⑤ ワイヤードリモコン入出力端子
(ROOM TO ROOM IN/OUT)
拡張用のコントロール端子です。
- ⑥ アナログ2チャンネル音声出力端子
(2ch AUDIO OUT) (13)
- ⑦ アナログ7.1チャンネル音声出力端子
(7.1ch AUDIO OUT) (16)
- ⑧ LAN端子(ETHERNET) (16)
- ⑨ HDMI出力端子 (HDMI OUT) (14)
- ⑩ RS-232C入力端子
拡張用のコントロール端子です。

ご注意

端子内部のピンには絶対に触れないでください。静電気を引き起こし、故障の原因になることがあります。

ディスプレイ



表示パネルの明るさは、セットアップメニューの「」⇒「」⇒「表示パネル」 38ページ で調整することができます。

- ① 再生状態を表すアイコンが表示されます。下記の表をご覧ください。
- ② ディスクの各種情報や再生経過時間などを表示します。

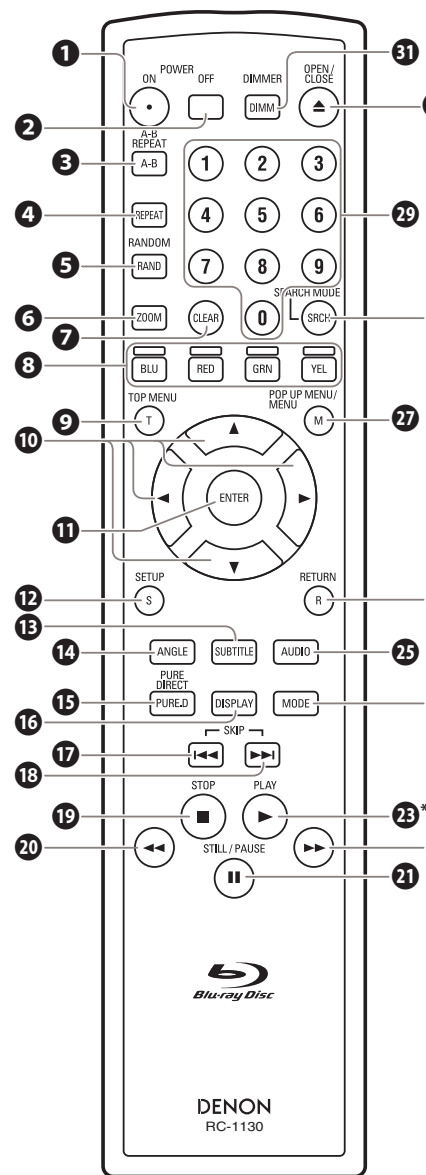
ディスクモード	SDカードモード	状態
		再生中に表示します。
		停止中に表示します。
		一時停止中に表示します。
		早送り中に表示します。
		早戻し中に表示します。
	 (AVCHDのみ)	スロー再生中に表示します。
		リピート設定中に表示します。

操作時の表示について

ディスプレイの表示	内容
P-ON	電源を入れたとき
P-OFF	スタンバイ状態にしたとき
OPEN	トレイを開けたとき
CLOSE	トレイを閉めたとき
LOADING	ディスク読み込み中
NO DISC	ディスクが入っていないとき
-----	再生できないディスクまたはSDカードが入っているとき
STOP	再生を停止したとき
480i	HDMI出力モードで480iが設定されているとき
480P	HDMI出力モードで480pが設定されているとき
720P	HDMI出力モードで720pが設定されているとき
1080i	HDMI出力モードで1080iが設定されているとき
1080P	HDMI出力モードで1080pが設定されているとき
1080P24	HDMI出力モードで1080p 24フレームが設定されているとき
Source 0	HDMI出力モードでソースダイレクトが設定されているとき
Normal	ピュアダイレクト機能が切のとき
VideoOff	ピュアダイレクト機能で映像信号の出力を切にしたとき
Disp.Off	ピュアダイレクト機能でディスプレイの表示を切にしたとき
All Off	ピュアダイレクト機能で映像信号の出力とディスプレイの表示を切にしたとき
HDCP NOK	HDMIケーブルで接続した機器が、HDCPに対応していないとき

リモコン

各部の働きなど詳しい説明については、()内のページを参照してください。



- ① 電源入ボタン (18)
- ② 電源切ボタン (18)
- ③ A-Bリピートボタン (30)
- ④ リピートボタン (30)
- ⑤ ランダムボタン (31)
- ⑥ ズームボタン (26)
- ⑦ クリアボタン (27)
- ⑧ 青/赤/緑/黄ボタン (23)
- ⑨ トップメニューボタン (19)
- ⑩ カーソルボタン(▲/▼/◀/▶) (19)
- ⑪ エンターボタン (19)
- ⑫ セットアップボタン (33)
- ⑬ サブタイトルボタン (21)
- ⑭ アングルボタン (21)
- ⑮ ピュアダイレクトボタン (25)
- ⑯ ディスプレイボタン (31)
- ⑰ スキップボタン(◀◀) (29)
- ⑱ スキップボタン(▶▶) (29)
- ⑲ ストップボタン(■) (19)
- ⑳ 早戻しボタン(◀◀) (29)
- ㉑ ポーズ/コマ送りボタン(⏸) (19)
- ㉒ 早送り/スローボタン(▶▶) (29)
- ㉓* プレイボタン(▶) (18)
- ㉔ モードボタン (24)
- ㉕ オーディオボタン (20)
- ㉖ リターンボタン (11)
- ㉗ ポップアップメニュー/メニューボタン (20)
- ㉘ サーチモードボタン (29)
- ㉙ 数字ボタン(0~9) (19)
- ㉚* オープン/クローズボタン(▲) (18)
- ㉛ ディマーボタン (26)

デノン製DVDプレーヤー用リモコンで本機を動作させなくするには

本機とは別に当社製のDVDプレーヤーがあり、そのDVDプレーヤー用リモコンを使うと、本機も動作します。そのような場合、本機がDVDプレーヤー用リモコンで動作しないように設定することができます。

1 再生の停止中に[SETUP]を押す。

2 数字ボタンの[7]、[8]、[9]、[2]を押す。

3 もう一度、[SETUP]を押す。



- テレビ画面の右上に、「Only Attached Remocon」が表示され、本機に付属のリモコン操作のみを受け付けます。
- お買い上げ時の設定に戻すには、手順2で[7]、[8]、[9]、[1]を押すと、「Normal Remocon」が表示され、従来のリモコンで本機の動作が可能になります。
- 従来のリモコンで本機の動作を行う場合、お使いのプレーヤーの製造年度や形式により、一部の操作が機能しないものがあります。このときは、本機に付属のリモコンをお使いください。

本機のリモコンコード設定(本体側)

本機のほかに当社製BDプレーヤーがある場合には、本機のリモコンで、ほかのBDプレーヤーも動作します。本体とリモコンをそれぞれのリモコンコードに変更することで、2台のプレーヤー本体が同時に動かないように設定できます。本機側とリモコン側のリモコンコードが異なる場合は、リモコンで本体の操作ができなくなります。

1 再生の停止中に[SETUP]を押す。

2 [◀/▶]で「CUS TOM」を選び、[ENTER]を押す。

3 [◀/▶]で「Other」を選び、[ENTER]を押す。

4 [▲/▼]で「リモコン設定」を選ぶ。



5 [ENTER]で「DENON1」または「DENON2」を選ぶ。

6 [SETUP]を押し、設定を完了する。

- この時点で、設定が有効になりますので、つづけて下記「本機のリモコンコード設定(リモコン側)」にしたがい、本体側のリモコンコードに合うようにリモコン側のリモコンコードの変更を行ってください。

本機のリモコンコード設定(リモコン側)

「DENON 1」にするには、[RETURN]を押しながら[3]、[2]、[1]を押す。

「DENON 2」にするには、[RETURN]を押しながら[1]、[2]、[3]を押す。

- 本体側とリモコン側のリモコンコードが一致しない場合は、本体側で設定されているリモコンコードがディスプレイに表示されます。
- 本体側の設定が「DENON1」で、リモコン側の設定が「DENON2」の場合、ディスプレイに「PLAYER1」と表示されます。



- 本機をテレビに接続したあとで設定してください。
👉 12ページ
- お買い上げ時の設定、電池を入れ換えたときのリモコンコードは「DENON 1」です。

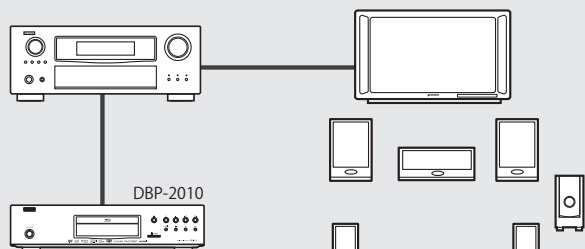


- *の記されているボタンを押しても、電源を入れることができます。
- [ZOOM]は、BD、BD-RE、AVCRECおよびAVCHDには働きません。
- [RANDOM]は、BD、DVD、BD-RE、DVD-VR、AVCREC、AVCHDおよびDivX®には働きません。

接続のしかた

本機は次のような接続をおこなってお使いいただけます。接続する機器に合わせて接続してください。接続方法によっては、本機の設定が必要なものもあります。詳しくは、各種接続項目をご覧ください。

1 ホームシアター再生 ～マルチチャンネルシステムで再生したい～



マルチチャンネル音声 + 映像

- HDMI接続
「HDMIケーブルを使用したテレビおよびAVアンプとのデジタル接続」 14ページ
..... または

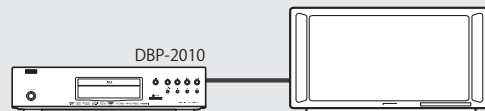
マルチチャンネル音声

- デジタル音声接続
「デコーダ内蔵のAVアンプとのデジタル接続」 16ページ
- アナログ7.1ch / 5.1ch接続
「アナログ7.1 / 5.1チャンネル音声入力端子がある機器とのサラウンド接続」 16ページ

映像

- テレビの映像端子との接続
「映像入力端子への接続」 / 「色差 (コンポーネント) 映像入力端子への接続」 13ページ

2 テレビに直接つないで再生したい



音声 + 映像

- 「HDMIケーブルを使用した接続デジタル接続」 14ページ
..... または

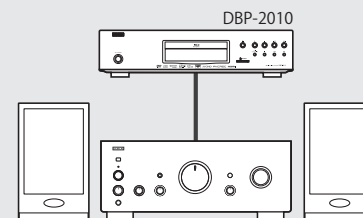
音声

- 「テレビの音声端子との接続」 13ページ

映像

- テレビの映像端子との接続
「映像入力端子への接続」 / 「色差 (コンポーネント) 映像入力端子への接続」 13ページ

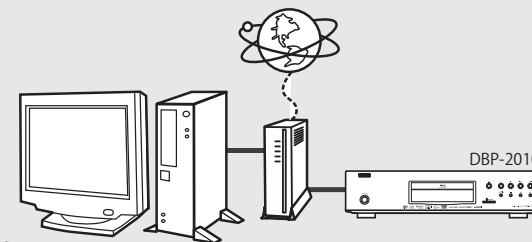
3 2チャンネル音声を再生したい



2チャンネル音声接続

- 「アナログ2チャンネル音声入力端子がある機器との接続」 16ページ

4 BD-Live機能を使用したい、または本機のソフトウェアをアップデートしたい



LAN接続

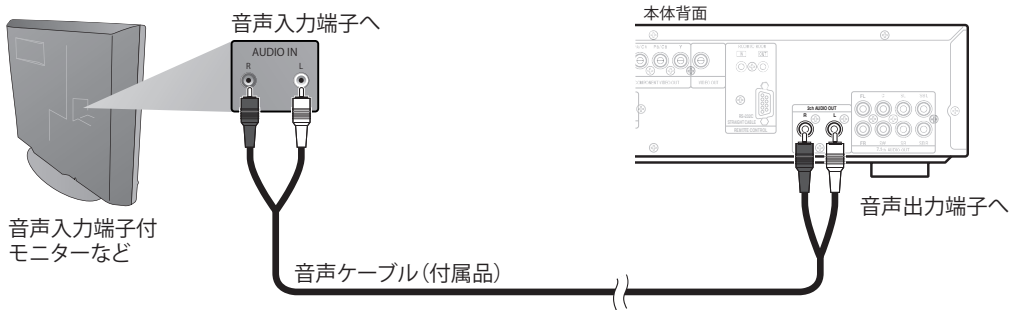
- 「ネットワーク接続」 16ページ

電源コードを接続する

- 「電源コードの接続」 17ページ

テレビの音声端子との接続

テレビの音声入力端子に、本機に付属の音声ケーブルを使用して接続してください。

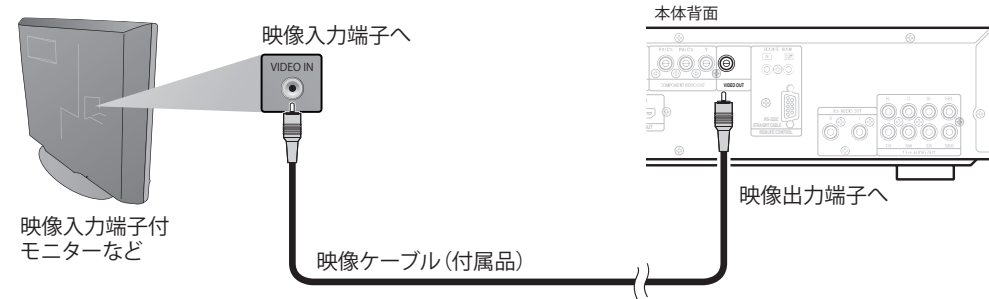


テレビの映像端子との接続

お持ちのテレビの映像入力端子に合わせて、本機の映像端子を接続してください。

□ 映像入力端子への接続

テレビの映像入力端子に、本機に付属の映像ケーブルを使用して接続してください。

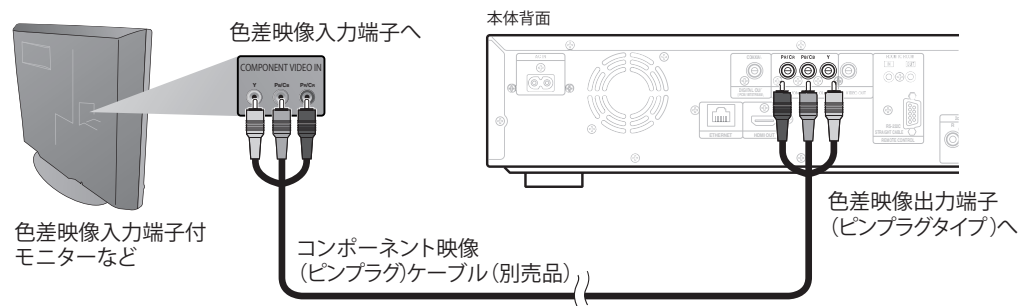


ご注意

- 本機の映像出力は直接テレビに接続するか、AVアンプを経由してテレビに接続してください。VTR(ビデオテープレコーダー)経由で接続しないでください。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをVTRを通して再生するとコピーガードシステムにより、画面が乱れることがあります。

□ 色差(コンポーネント)映像入力端子への接続

お持ちのテレビが色差映像入力端子付きの場合、コンポーネント映像ケーブル(別売品)を使用して接続してください。

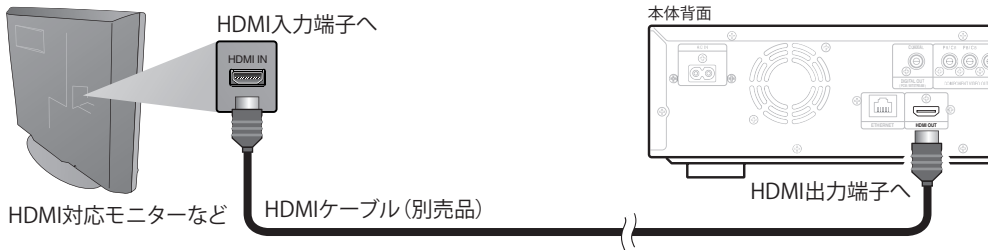


- 接続するテレビがプログレッシブスキャンに対応しているときは、色差映像出力端子と接続してください。
- 本機の色差映像出力は、480i/480p/720p/1080i出力に対応しています。480p/720p/1080i入力に対応していないテレビの場合は、セットアップメニューの「 ⇒ ⇒ 「コンポーネント出力」の設定を「480i」に設定してください。
- 本機をコンポーネント映像ケーブルとHDMIケーブルの両方でテレビなどと接続し、「HDMI解像度」を「ソースダイレクト」、「1080p」または「1080p 24」に設定した場合には、「コンポーネント出力」が「480i」に設定されます。
- お持ちのテレビのD映像入力端子で接続される場合には、D映像⇄色差映像変換ケーブル(別売品)を使用して本機に接続してください。
- 「HDMI 解像度」や「コンポーネント出力」の設定後、テレビ画面の映像がまったくでない、映像に悪い影響が生じるなどの症状がある場合は、本体前面の▶を5秒以上押ししてください。自動的にお買い上げ時の状態(初期設定)に切り換わります。

HDMIケーブルを使用したデジタル接続

*HDMI: High-Definition Multimedia Interface

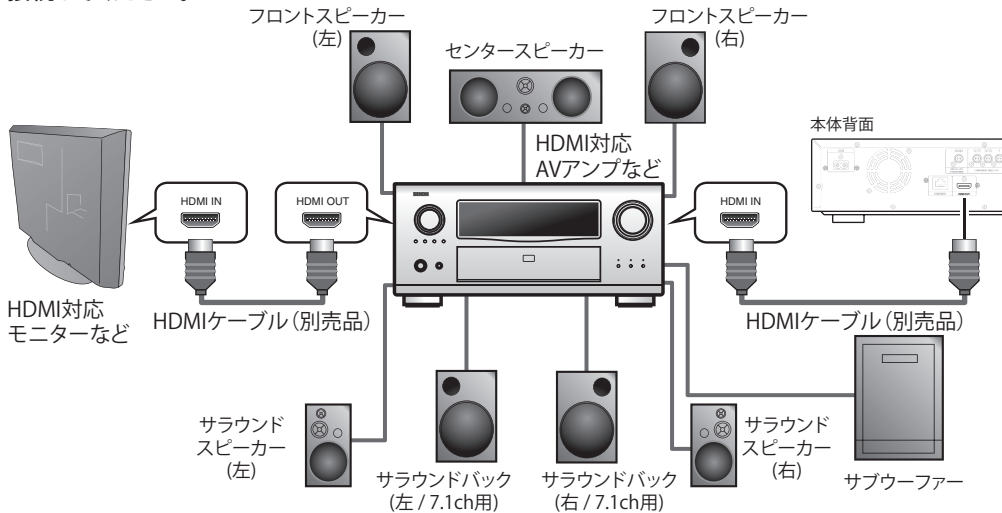
HDMI入力端子付きのテレビに、HDMIケーブル(別売品)を使用して接続してください。デジタル映像とデジタル音声(マルチチャンネル)の両方のデジタル伝送ができます。



- HDMI端子の接続には、HDMIロゴが表記されているケーブル(HDMI認証品)をお使いください。HDMIロゴが表記されていないケーブル(HDMI非認証品)を使用すると、正しく再生できない場合があります。

HDMIケーブルを使用したテレビおよびAVアンプとのデジタル接続

HDMI入力端子付きのテレビおよびAVアンプに、HDMIケーブル(別売品)を使用して接続してください。



HDMI映像出力設定


リモコンの[SETUP]押し、セットアップメニューの " " で下記の設定を行ってください。映像設定に関する詳細は、「初期設定のしかた」をご覧ください。 34-35ページ



設定項目	内容	設定値
HDMI選択	HDMI映像信号の出力形式を設定します。	"YCbCr"または"RGB"
HDMI RGBセッティング	RGB出力の映像レンジを設定します。	"ノーマル"または"エンハンスド"
HDMIオートフォーマット	"HDMI解像度"で"オート"を選んだときに設定します。	"最大"または"パネル"
HDMI解像度	お持ちのテレビに対応したHDMI映像解像度を設定します。	"オート"、"ソースダイレクト"、"480i"~"1080p24"
HDMIディープカラー	色深度(ディープカラー)を拡張して出力するときに設定します。	"オート"または"オフ"

- "HDMI解像度"は、本体前面の<HDMI RESOLUTION>を繰り返し押しして変更することもできます。出力モードの切替は右の図のとおりです。(BDおよびAVCHDの再生中には動きません。)
- 再生を行っているときに、HDMI映像解像度の切替や、接続先機器の電源を切ったり、入力を切り換えるなどの操作を行うと、音声・映像が一時途切れることがあります。
- 設定したHDMI映像解像度がディスプレイに表示されます。
- BDでは、1080プログレッシブ24フレームとして、フィルム素材(1秒間に24フレームで撮影)を記録した高品質でより自然に近い映像を楽しむことができます。お持ちのテレビが1080プログレッシブ24フレームに対応している場合は、HDMIケーブルを使用して接続し、"HDMI解像度"を"1080p24"、"オート"または"ソースダイレクト"に設定してください。
- "HDMIディープカラー"は、お持ちのテレビがHDMIディープカラーに対応で、HDMIケーブルを接続している場合のみ選択できます。
- "HDMIディープカラー"の設定を"オート"に、または"HDMI解像度"の設定を"1080p"または"1080p24"に設定してお使いいただく際には、High Speed HDMIケーブルのご使用を推奨します。
- BDコンテンツを1080プログレッシブ 24フレームで再生している場合は、本機の映像/色差映像端子から正しい映像信号が出力されません。
- AVCHDとDivX®では、お持ちのテレビが1080プログレッシブ24フレームに対応していて"HDMI解像度"を"1080p24"、"オート"または"ソースダイレクト"に設定している場合でも、24フレームの映像は60フレームで出力されます。
- "HDMI解像度"が"1080P"、"1080p24"または"ソースダイレクト"に設定されている場合、"コンポーネント出力"は自動的に"480i"に設定されます。
- "HDMI解像度"の設定を変更したあと映像が出力されない場合は、本体前面の<HDMI RESOLUTION>を押して解像度を切り換えるか、本体前面の▶を5秒以上長押しして設定をリセットしてください。



音声設定について

HDMIケーブルを接続しているテレビや機器のシステムに合わせ、リモコンの[SETUP]を押し、セットアップメニューの“”⇒“HDMI音声出力”で下記の設定を行ってください。

接続する機器	“HDMI音声出力”設定	
DTSやDTS-HD、ドルビーデジタルやドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHDのデコードに対応している機器	HDMI マルチ (ノーマル)	DTSやドルビーデジタルビットストリーム信号が接続先のテレビやAVアンプなどで変換されます。 ※HDMI音声のスピーカー設定などはできません。 接続したアンプなどのAV機器側でスピーカーの設定を行ってください。
3ch以上の音声入力に対応している機器 ※DTS、DTS-HD、ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラスやドルビーTrueHDには非対応	HDMI マルチ(LPCM)	マルチチャンネルのリニアPCM音声をHDMI端子からの音声出力で楽しむことができます。“HDMI音声出力”⇒“スピーカー設定”でスピーカーの設定ができます。  37ページ
2ch音声入力に対応している機器または音声入力に対応していない機器	HDMI 2チャンネル	HDMI出力端子からは、ダウンミックスされた2チャンネルのリニアPCM音声信号を出力します。接続したアンプなどのAV機器側でスピーカーの設定を行ってください。
映像信号をHDMIケーブルを経由して出力し、音声信号をデジタル音声入力端子付やアナログ7.1チャンネル音声入力端子付きAVアンプなどから出力	音声ミュート	HDMI出力端子からの音声出力を停止し、デジタル音声出力(同軸)からのドルビーデジタルやDTSの音声信号を“デジタル出力”で選択された“ビットストリーム”または“PCM”で出力します。また、マルチチャンネルの音声をアナログ7.1チャンネル音声出力端子からの音声出力で楽しむことができます。“7.1チャンネル 音声出力”⇒“スピーカー設定”でスピーカー設定ができます。  37ページ

◎ HDMI出力端子からの音声信号

ディスクの種類	音声記録方式	“HDMI 音声出力”設定		
		“HDMI マルチ (ノーマル)”	“HDMI マルチ(LPCM)”	“HDMI 2チャンネル”
BDビデオ	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチPCM	ダウンミックス2chPCM
	ドルビーデジタルプラス	ドルビーデジタルプラス*1	マルチPCM*4	ダウンミックス2chPCM*4
	ドルビーTrueHD	ドルビーTrueHD*2	マルチPCM*5	ダウンミックス2chPCM*5
	DTS	DTS	マルチPCM	ダウンミックス2chPCM
	DTS-HD	DTS-HD*3	マルチPCM*6	ダウンミックス2chPCM*6
	AAC	AAC	マルチPCM	ダウンミックス2chPCM
	PCM	マルチPCM	マルチPCM	ダウンミックス2chPCM
DVDビデオ	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチPCM	ダウンミックス2chPCM
	DTS	DTS	マルチPCM	ダウンミックス2chPCM
	PCM	2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM
DTS-CD	DTS	マルチPCM	ダウンミックス2chPCM	
AVCREC	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチPCM	ダウンミックス2chPCM
	AAC	AAC	マルチPCM	ダウンミックス2chPCM
	PCM	マルチPCM	マルチPCM	ダウンミックス2chPCM
AVCHD	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチPCM	ダウンミックス2chPCM
	PCM	マルチPCM	マルチPCM	ダウンミックス2chPCM
DivX®	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチPCM	ダウンミックス2chPCM
	MP3、MP2	2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM
音楽用CD、MP3、WMA	2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM

- ・“BD音声モード”が“HD音声出力”に設定されている場合、または再生するBDに第二音声やインタラクティブオーディオがない場合は、表の通りの音声出力が出力されます。
- ・“BD音声モード”が“Mix音声出力”に設定されていて、再生するBDに第二音声やインタラクティブオーディオがある場合は、次の通り変換された音声出力が出力されます。

*1 インデペンデントサブストリームのみ変換されたドルビーデジタルまたはマルチPCM

- *2 ドルビーデジタルサブストリームのみ変換されたドルビーデジタルまたはマルチPCM
- *3 コアサブストリームのみ変換されたDTSまたはマルチPCM
- *4 インデペンデントサブストリームのみ変換された表に記載の音声
- *5 ドルビーデジタルサブストリームのみ変換された表に記載の音声
- *6 コアサブストリームのみ変換された表に記載の音声

◎ 著作権保護システムについて
HDMI接続を通してBDビデオやDVDビデオのデジタル映像と音声を再生するためには、プレーヤーとテレビやAVアンプなどの双方がHDCP (High-bandwidth Digital Content Protection System)と呼ばれる著作権保護システムに対応している必要があります。HDCPはデータの暗号化と相手機器の認証からなるコピープロテクション技術です。本機はHDCPに対応しています。お手持ちのテレビやAVアンプなどについては取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- HDCPに対応していない機器を接続した場合は、正常に映像が出力されません。
- HDMI端子からの音声信号(サンプリング周波数、チャンネル数、ビット長など)は、接続する機器により制限されることがあります。アナログ音声も同様に制限されます。
- プロジェクターなどのHDMI対応モニターによっては、音声信号入力に対応していない場合があります。そのような機器と本機を接続した場合は、HDMI端子からの音声信号は出力されません。
- 接続するテレビやモニターの対応している解像度にあわせて、本機の解像度を設定してください。


◎ デジタル音声出力(同軸)端子からの音声信号

ディスクの種類	音声記録方式	“デジタル出力”設定	
		“ビットストリーム”	“LPCM”
BDビデオ	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	ダウンミックス2chPCM
	ドルビーデジタルプラス	ドルビーデジタル	ダウンミックス2chPCM*1
	ドルビーTrueHD	ドルビーデジタル	ダウンミックス2chPCM*2
	DTS	DTS	ダウンミックス2chPCM
	DTS-HD	DTS	ダウンミックス2chPCM*3
	AAC	AAC	ダウンミックス2chPCM
	PCM	ダウンミックス2chPCM	ダウンミックス2chPCM
DVDビデオ	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	ダウンミックス2chPCM
	DTS	DTS	ダウンミックス2chPCM
	PCM	2ch PCM	2ch PCM
DTS-CD	DTS	ダウンミックス2chPCM	
AVCREC	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	ダウンミックス2chPCM
	AAC	AAC	ダウンミックス2chPCM
	PCM	ダウンミックス2chPCM	ダウンミックス2chPCM
AVCHD	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	ダウンミックス2chPCM
	PCM	ダウンミックス2chPCM	ダウンミックス2chPCM
DivX®	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	ダウンミックス2chPCM
	MP3、MP2	2ch PCM	2ch PCM
音楽用CD、MP3、WMA	2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM

- ・“BD音声モード”が“HD音声出力”に設定されている場合、または再生するBDに第二音声やインタラクティブオーディオがない場合は、表の通りの音声出力が出力されます。
- ・“BD音声モード”が“Mix音声出力”に設定されていて、再生するBDに第二音声やインタラクティブオーディオがある場合は、次の通り変換された音声出力が出力されます。

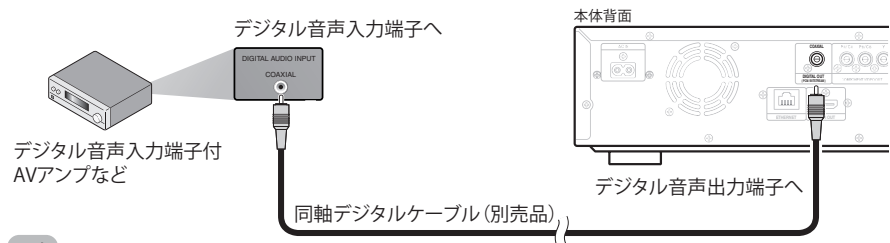
*1 インデペンデントサブストリームのみ変換
*2 ドルビーデジタルサブストリームのみ変換
*3 コアサブストリームのみ変換



- 上記の各番号は、“HDMI音声出力”を“音声ミュート”に設定しているときにのみ有効です。
- HDMI出力端子から音声信号が出力されているときに、PCM信号をデジタル音声出力(同軸)端子から出力するには、“BD音声モード”を“Mix音声出力”に設定し、“HDMI音声出力”を“HDMI マルチ(LPCM)”に設定してください。  36ページ

デコーダ内蔵のAVアンプとのデジタル接続

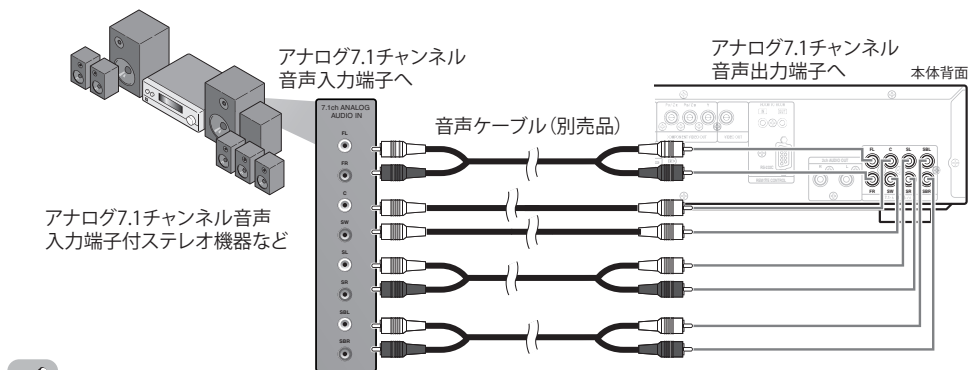
ドルビーデジタルプラスやドルビーTrueHDまたはDTS-HDの音声収録されたBDを再生すると、本機のデジタル音声出力端子からドルビーデジタルまたはDTSのビットストリームを出力します。ドルビーデジタルデコーダまたはDTSデコーダ内蔵のAVアンプに接続することで、映画館やホールにいるような迫力と臨場感ある音楽を楽しむことができます。



- DTSに対応していないAVアンプ(デコーダ)と接続した場合、DTSで収録されたBD/DVDを再生すると耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

アナログ7.1/5.1チャンネル音声入力端子がある機器とのサラウンド接続

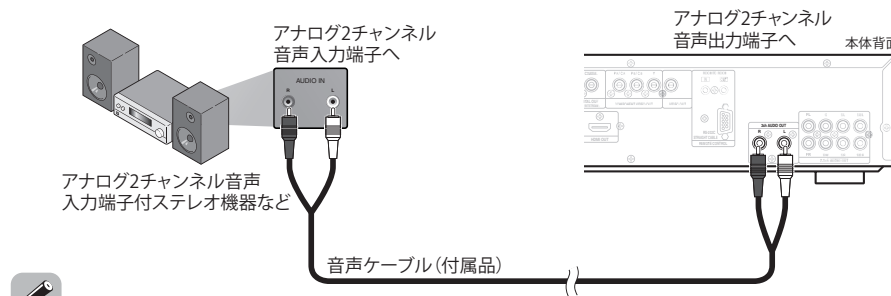
お持ちのオーディオシステムがアナログ7.1チャンネル音声入力端子付きの場合、音声ケーブル(別売品)を使用して接続してください。



- 5.1チャンネルサラウンドシステムのAV機器に接続する場合は、SBR/SBL(サラウンドバック)端子には何も接続しません。また、セットアップメニューの "SDDS" ⇨ "7.1チャンネル 音声出力" ⇨ "マルチチャンネル" ⇨ "スピーカー設定" で "サラウンドバック" を "なし" に設定してください。

アナログ2チャンネル音声入力端子がある機器との接続

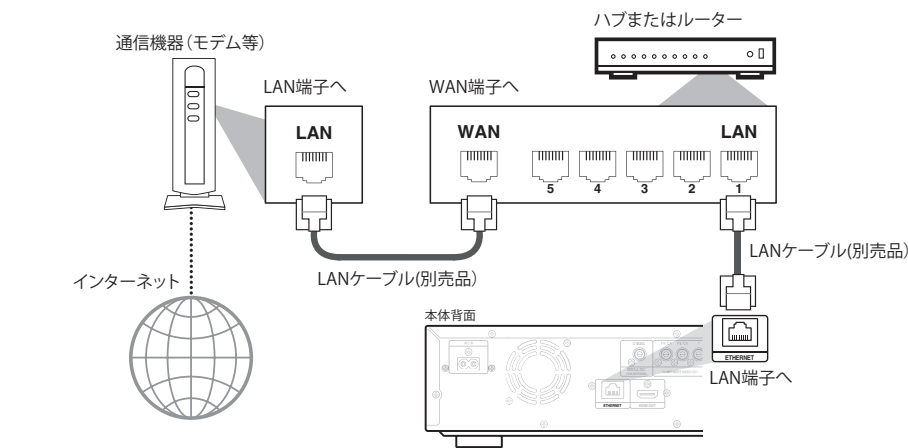
お持ちのオーディオシステムがアナログ2チャンネル音声入力端子付きの場合、本機に付属の音声ケーブルを使用して接続してください。



- アナログ2チャンネル音声のステレオ機器と接続する場合、2ch AUDIO OUT端子をご使用ください。7.1ch AUDIO OUT端子のFL, FR端子をご使用の場合は、セットアップメニューの "SDDS" ⇨ "7.1チャンネル 音声出力" を "2チャンネル" に設定してください。
- マルチチャンネルで収録されているソフトでは、2チャンネルにダウンミックスされたアナログ音声を出力します。(ダウンミックスが禁止されているソースの場合は、FL/FRの信号のみを出力します。)

ネットワーク接続

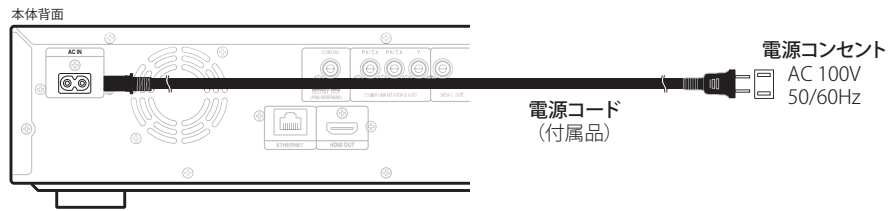
本機をインターネットに接続することで、BD-Live機能を使用したり、ファームウェアをアップデートすることができます。BD-Liveの詳細については 28ページを、ファームウェアのアップデートについては 42ページを参照してください。



- 詳しい接続については、お使いの通信機器の説明書をご覧ください。
- 接続が完了したら、"ネットワーク接続設定" で必要な設定を行ってください。 39-41ページ
- LAN端子にはLANケーブル以外のケーブルを接続しないでください。故障の原因になります。
- ルーターは10BASE-T/100BASE-TXに対応しているルーターを使用してください。
- 本機とパソコンのLAN端子を直接繋がないでください。故障の原因になります。

電源コードの接続

付属の電源コードを本機に接続し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



ご注意

電源プラグは確実に差し込んでください。不完全な接続は、雑音発生の原因になります。



- すべての接続が正しいか確認したあと、テレビの電源を入れ、映像入力を本機の映像が見れるように切り換えてください。

基本操作のしかた

ディスクの再生

- ディスクを再生する 18ページ
- BD、DVD、AVCHDの再生 19ページ
- BDAVモードやAVCRECモード/VRモードの再生 20ページ
- DivX®/MP3/Windows Media™ Audio/JPEGファイルの再生 23ページ
- ピクチャーCDの再生 26ページ

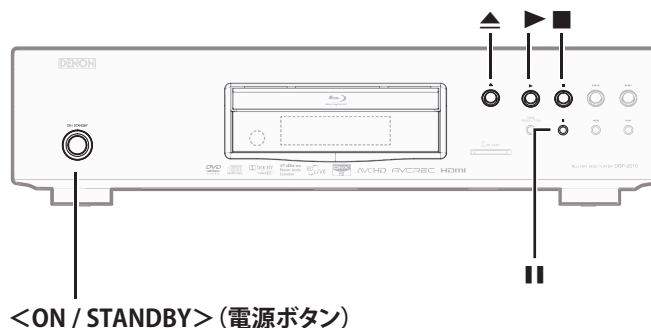
SDカードの再生

- SDカードを再生する 27ページ

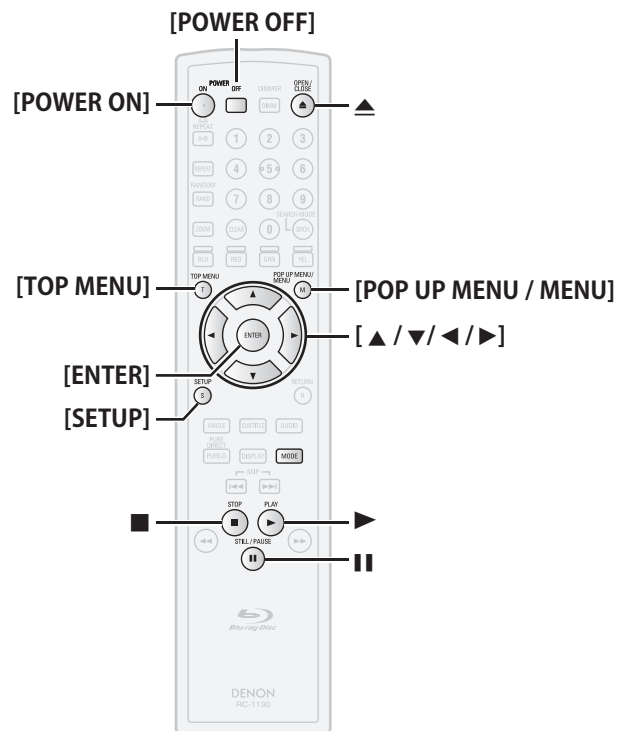
- トップメニュー、ディスクメニュー、ポップアップメニューの操作 19ページ

ご注意

- 操作中にテレビ画面の右上に" (禁止マーク)が表示されることがあります。禁止されている操作がおこなわれていることをあらわします。
- 2層ディスクの場合、レイヤーの変わり目で一瞬画像が静止することがありますが、故障ではありません。
- ソフト制作者の意図により、本書の説明どおりに動作しないディスクがあります。詳しくは、それぞれのディスクの説明書をご覧ください。



<ON / STANDBY> (電源ボタン)



【操作説明のボタン名について】

< >: 本体のボタン
[]: リモコンのボタン
ボタン名のみ: 本体とリモコンのボタン

本機の電源を入れる

1 <ON / STANDBY>または[POWER ON]を押す。

- ※ 電源入状態になると電源表示は緑色に点灯します。
- ディスクが入っていないときは、ディスプレイに"NO DISC"を表示します。

- スタンバイ状態にするとき:
[POWER OFF] またはもう一度< ON / STANDBY >を押す。

- ※ スタンバイ状態になり、電源表示が赤色に点灯します。

ご注意

スタンバイ状態は微量な電力を消費します。すべての電力を完全に遮断するには、電源プラグをコンセントから外してください。

ディスクを再生する

1 ▲を押す、ディスクトレイにディスクを載せる。

- ※ ディスクの入れかたは、 7ページを参照してください。

- ディスクトレイを閉じるとき:
もう一度▲を押す。
- ディスプレイに"LOADING"を表示し、ディスクの読み込みが始まります。ディスクによっては、自動的に再生が始まるものもあります。

2 ▶を押す。

- ディスプレイの""表示が点灯し、再生を始めます。

再生を停止する

■ を押す。

- 再生が止まり、壁紙を表示します。
- ディスクを取り出すには、▲を押してディスクトレイを開き、本機をスタンバイ状態にする前にディスクを取り出してください。

※ セットアップメニューの「 ”⇒ “ ”⇒ “オートパワーオフ”を“オン”に設定している場合、一時停止または停止状態で30分経過すると自動的に本体の電源が切れ、スタンバイ状態になります。
 38ページ

□ レジューム機能について：

再生中に■を押すと、止めた位置を記憶します。その後▶を押すと、止めたところから再生を始めます。ディスクトレイを開けるか、再生の停止中にもう一度■を押すとレジューム機能は解除されます。



- BD-D対応ディスクは、ディスクによってレジューム機能を利用できないものがあります。
- トップメニューやディスクメニューの再生中はレジューム機能は動きません。
- MP3、WMAの再生時は、停止したファイルの先頭から再生します。
- スタンバイ状態にしてもレジューム情報は消えません。ただし再生中に電源プラグを抜くとレジューム情報は消えます。

再生を一時停止する

|| を押す。

- ディスプレイの“||”表示が点灯し、一時停止します。

□ 再び再生するとき：

▶を押す。



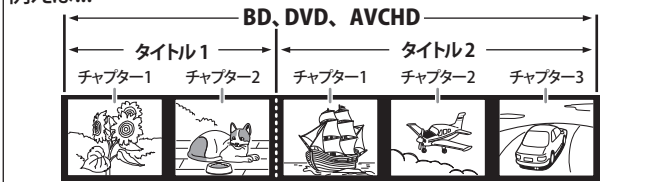
- 一時停止中の映像にブレが生じる場合は、再生を一旦停止してから、[SETUP]を押し、セットアップメニューの“ ”⇒ “ ”⇒ “スチルモード”で“フィールド”に切り換えてください。 35ページ

BD、DVD、AVCHDについて

タイトル、チャプター：

BD、DVD、AVCHDは、いくつかの大きな区切り(タイトル)と小さな区切り(チャプター)に分けられています。それぞれの区切りには番号が割り当てられ、これらの番号をタイトル番号、チャプター番号と呼びます。

例えば...

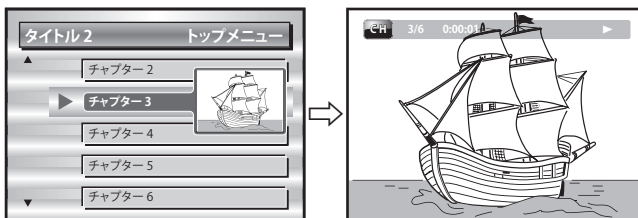


BD、DVD、AVCHDを再生する

BD、DVD、AVCHDにはメニュー画面を表示するディスクがあります。見たい項目を選んでから再生を始めてください。

- 1 [▲/▼/◀/▶]で見たい項目を選ぶ。
- 2 [ENTER] または ▶を押す。

- 再生を始めます。



【例】“チャプター3”を選択したとき



- DVD再生中は [TOP MENU] または [POP UP MENU / MENU] を押すとメニュー画面に戻すことができます。
- メニューのつづきがある場合は [▲/▼/◀/▶] を押すとつづきのメニューを表示します。

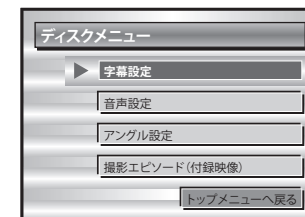
ディスクに記録されているメニューを使う

複数のタイトルが入っているBD、DVD、AVCHDは、「トップメニュー」からお好みのタイトルを選択し再生することができます。DVDでは、「ディスクメニュー」と呼ばれる特別なメニューが用意されているものもあります。

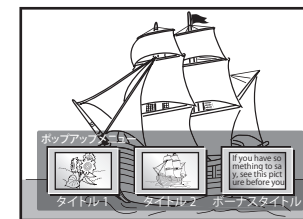
またBDでは、映像の再生中に前面に表示され、いろいろな操作ができる「ポップアップメニュー」があります。



【例】トップメニュー



【例】ディスクメニュー



【例】ポップアップメニュー

□ トップメニューを使うとき：

- 1 再生中に[TOP MENU]を押す。
 - トップメニューが表示されます。
- 2 [▲/▼/◀/▶]でお好みのタイトルを選ぶ。
- 3 [ENTER] または ▶を押す。
 - 再生を始めます。

□ DVD のディスクメニューを使うとき：

- 1 再生中に[POP UP MENU / MENU] を押す。
 - ディスクメニューが表示されます。
- 2 [▲/▼/◀/▶] でお好みのタイトルを選ぶ。
- 3 [ENTER] または ▶ を押す。
 - 再生を始めます。

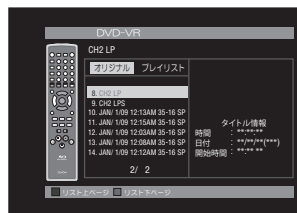
□ BD のポップアップメニューを使うとき：

- 1 再生中に[POP UP MENU / MENU] を押す。
 - ポップアップメニューが表示されます。
- 2 [▲/▼/◀/▶] でお好みのタイトルを選ぶ。
- 3 [ENTER] または ▶ を押す。
 - 再生を始めます。

BD-REモードやAVCRECモード、VRモードで記録されたディスクを再生する

BD-REモードで記録されたBD-RE/-RディスクやAVCRECモード、VRモードで記録されたDVD-R/-RWディスクにプレイリストを設定しているときは、“オリジナル”または“プレイリスト”を選んで再生することができます。

- 1 再生の停止中に[POP UP MENU / MENU] を押す。
 - タイトルリストが表示されます。
- 2 [◀/▶] で“オリジナル”または“プレイリスト”を選ぶ。
- 3 [▲/▼] でお好みのタイトルを選ぶ。
 - [RETURN]を押すと、“オリジナル”または“プレイリスト”にカーソルが戻ります。
- 4 [ENTER] または ▶ を押す。
 - 再生を始めます。



【例】“オリジナル”を選択したとき



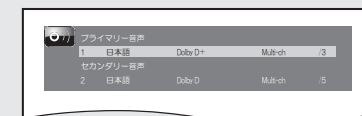
- BDAV モードや AVCREC モード、VR モードは、各モードに対応しているディスクを使ってプログラム編集などを行う、BD/DVD レコーダーならではの機能を楽しむ記録フォーマットです。
- BD/DVD レコーダーで録画したディスクの場合、録画して作られたタイトル（番組）をオリジナルと呼びます。
- オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルをプレイリストと呼びます。プレイリストが作成されていないディスクでは、オリジナルのみを表示します。
- ファイナライズされていないBD-RE/-Rや、DVD-R/-RWは再生できません。
- タイトルリスト画面は記録した BD レコーダー、DVD レコーダーやディスクによって異なります。
- ディスク名、タイトル名では、認識されない記号などの文字は *（アスタリスク）で表示されます。また、記録方式によっては、認識できる文字であっても *（アスタリスク）で表示される場合があります。
- 再生を停止したとき、タイトルリストは表示されません。
- 再生中に [POP UP MENU / MENU] を押しても、タイトルリストは表示されません。

音声を切り換える(マルチ音声機能)

音声に複数の言語が記録されているBDの再生中に、音声を切り換えることができます。ピクチャー・イン・ピクチャーのBDでは、インタラクティブオーディオやコメントリー音声などの、サブトラックの音声を“セカンダリー音声”で設定することができます。

□ BD の第 1 音声 / 第 2 音声を選ぶ：

- 1 再生中に[AUDIO]を押す。



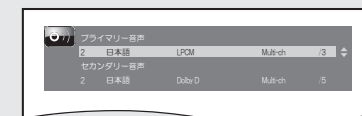
- 現在再生中の音声番号を表示します。

- 2 第1音声を切り換えるには、[▲/▼]で“プライマリー音声”を選び、[ENTER]を押す。第2音声を切り換えるには、[▲/▼]で“セカンダリー音声”を選び、[ENTER]を押す。



- 複数の音声収録されている場合は“◀”が表示されます。
- “セカンダリー音声”を設定してサブトラックの音声を楽しむためには、必ず“BD音声モード”を“Mix音声出力”に設定してください。▶▶▶ 36ページ

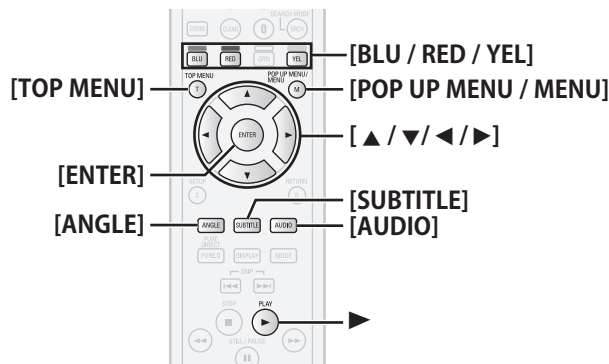
- 3 [▲/▼] でお好みの音声言語を選ぶ。



- 設定を完了し、約5秒間操作をしないと表示が消えます。



- 音声が含まれていない場合は、“なし”を表示します。
- ディスクの音声に複数の言語が入っている場合にのみ有効です。
- ディスクによっては、音声に複数の言語が入っていても [AUDIO] が働かず、ディスクメニュー上で選べる場合があります。操作方法については、ディスクの説明書をお読みください。
- BD によっては、セカンダリー映像がオフになっていても、セカンダリー音声のみ出力される場合があります。



□ DVD、BD-VR、DVD-VR、AVCHD、音楽用CD、DivX®ファイルの音声を選ぶ：

1 再生中に[AUDIO]を押す。



【例】DVDを挿入したとき

- 現在再生中の音声番号を表示します。

2 DVD、BD-VR、DVD-VR、AVCHDまたはDivX®ファイルの場合は、[▲/▼]でお好みの音声を選ぶ。



音楽用CDの場合は、
[▲/▼]でお好みの音声モードを選ぶ。



- 設定を完了し、約5秒間操作をしないと表示が消えます。



- 二カ国語(二重音声)で記録されたBD-VRモードのBD-RE/-RやAVCRECモード、VRモードのDVD-R/-RWでは、“主音声”、“副音声”または“主/副音声”に切り換えることができます。
- 音楽用CDの音声モードでは、“ステレオ”、“L-ch”(左チャンネル)または“R-ch”(右チャンネル)に切り換えることができます。
- DivX®ファイルでは、“MP2”、“MP3”または“Dolby D”(ドルビーデジタル)(音声形式)と収録されている音声モード数のみ表示します。それ以外の音声では、“-”が表示されます。
- DTS-CD(5.1音楽ディスク)は、音声モードを切り換えることはできません。
- ダイアログスピード再生中は、音声の切替はできません。
📖 24ページ
- [▲/▼]を数回押しでも希望する言語の音声が表示されないときは、その音声がディスクに含まれていません。
- ディスクトレイを開けたり、再生中に電源プラグを抜くと音声の設定が解除され、初期設定に戻ります。
- ディスクに音声がない場合は、“なし”と表示されます。

字幕や字幕スタイルを切り換える(マルチ字幕機能)

字幕に複数の言語が記録されているBD、DVD、DVD-VR、AVCHD、またはDivX®ファイルの再生中に、字幕を切り換えることができます。

BDでは表示される字幕のスタイルも切り換えることができます。

□ BDの第1字幕/第2字幕や字幕スタイルを選ぶ：

1 再生中に[SUBTITLE]を押す。



- 現在再生中の字幕番号を表示します。

2 [▲/▼]で“プライマリー字幕”または“セカンダリー字幕”または“サブタイトルスタイル”を選び、[ENTER]を押す。



- 複数の字幕が収録されている場合は“◇”が表示されます。

3 [▲/▼]でお好みの字幕言語または字幕スタイルを選ぶ。



- 設定を完了し、約5秒間操作をしないと表示が消えます。



- ディスクの字幕に複数の言語または字幕スタイルが入っている場合にのみ有効です。
- ディスクによっては、字幕に複数の言語が入っていても[SUBTITLE]が働かず、ディスクメニュー上で選べる場合があります。操作方法については、ディスクの説明書をお読みください。
- 字幕や字幕スタイルが含まれていない場合は、“なし”を表示します。
- [▲/▼]を数回押しでも希望する言語の字幕が表示されないときは、その字幕がディスクに含まれていません。

□ DVD、DVD-VR、AVCHDやDivX®ファイルの字幕を選ぶ：

1 再生中に[SUBTITLE]を押す。



- 現在再生中の字幕番号を表示します。

2 [▲/▼]でお好みの字幕を選ぶ。



- 設定を完了し、約5秒間操作をしないと表示が消えます。



- DivX®ファイルでは、現在再生中の字幕番号と収録されている字幕数のみを表示し、言語は表示されません。

アングル(角度)を切り換える(マルチアングル機能)

複数のカメラアングルによる映像が記録されているBD、またはDVDの再生中に、アングルを切り換えることができます。

1 再生中に[ANGLE]を押す。



- 現在再生中のアングル番号を表示します。

2 [▲/▼]でお好みのアングルを選ぶ。



- 設定を完了し、約5秒間操作をしないと表示が消えます。

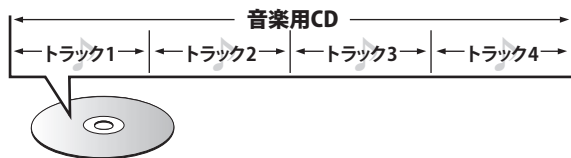


- セットアップメニューの“CUSTOM”⇨“Other”⇨“アングルアイコン”を“オン”にしている場合、複数のカメラアングルによる映像が記録されたシーンでは“”がテレビ画面右上に表示されます。
📖 38ページ

音楽用 CD について

トラック:

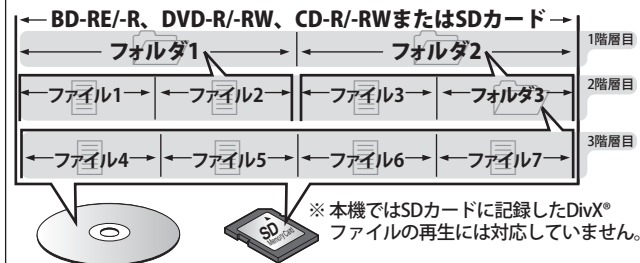
音楽用CDは、楽曲ごとのいくつかの区切り(トラック)に分けられています。この区切りには番号が割り当てられ、これらの番号をトラック番号と呼びます。



MP3、JPEG、WMA、DivX® について

フォルダ、ファイル:

BD-RE/-R、DVD-R/-RW、CD-R/-RWやSDカードに記録されたMP3やJPEG、WMA、DivX®ファイルは、いくつかの大きな区切り(フォルダ)と小さな区切り(ファイル)に分けられています。ファイルはフォルダに、フォルダはいくつかの階層に分けて記録させることができます。本機は、9階層(BD-RE/-R、DVD-R/-RWまたはSDカード)または8階層(CD-R/-RW)まで認識することができます。



MP3 を BD-RE/-R、DVD-R/-RW、CD-R/-RW、SD カードで聴くには:

インターネット上には、MP3形式の音楽ファイルをダウンロードできる様々な音楽配信サイトがあります。そのサイトの指示にしたがって音楽をダウンロードし、BD-RE/-R、DVD-R/-RW、CD-R/-RW、SDカードに書き込めば、本機で再生することができます。記録媒体がSDカードの場合は、直接カードを本機に読み込ませて聴くことができます。

JPEG を BD-RE/-R、DVD-R/-RW、CD-R/-RW、SD カードで見るには:

デジタルスチルカメラなどで撮影した写真データをお持ちのパソコンなどを経由させ、BD-RE/-R、DVD-R/-RW、CD-R/-RW、SDカードに記録したり、お近くのカメラ販売店で取り扱っている「ピクチャーCD」としてCD-ROMに収めたりしたJPEG形式ファイルの再生ができます。デジタルスチルカメラの記録媒体がSDカードの場合は、直接カードを本機に読み込ませて見るすることができます。

WMA を BD-RE/-R、DVD-R/-RW、CD-R/-RW、SD カードで聴くには:

本機はWMA (Windows Media™ Audio) *形式の音声圧縮フォーマットで記録されたBD-RE/-R、DVD-R/-RW、CD-R/-RWの音楽ファイルの再生ができます。

記録媒体がSDカードの場合は、直接カードを本機に読み込ませて聴くこともできます。

* WMA (Windows Media™ Audio) は米国マイクロソフト社の開発したオーディオコーデックです。

DivX® を BD-RE/-R、DVD-R/-RW、CD-R/-RW で楽しむには:

DivX®の公式サイトから、様々なDivX®形式の動画ファイルをダウンロードできます。そのサイトの指示にしたがってDivX®ファイルをダウンロードし、BD-RE/-R、DVD-R/-RW、CD-R/-RWに書き込めば、本機で再生することができます。SDカードに記録したDivX®ファイルの再生には対応していません。

再生可能なMP3、WMAファイル	
サンプリング周波数	44.1 kHz または 48 kHz
ビットレート	MP3: 112 kbps ~ 320 kbps WMA: 48 kbps ~ 192 kbps
音声タイプ	MP3: MPEG1オーディオレイヤー3 WMA: WMAバージョン9
フォーマット	ISO9660 Level1/Level2、Joliet方式

再生可能なJPEGファイル	
画像サイズ	最大: 2,560 × 1,900ピクセル (サブサンプリング 4:4:4) ・ 5,120 × 3,840ピクセル (サブサンプリング 4:2:2以下) 最小: 32 × 32ピクセル
ファイルの容量	最大: 12MB

再生可能なDivX®ファイル	
AVIコーデックファイル	DivX®3.x、DivX®4.x、DivX®5.x、DivX®6.x
映像サイズ	最大: 1,920 x 1,080ピクセル 毎秒30フレーム ・ 1,280 x 720ピクセル 毎秒60フレーム
サンプリング周波数	16 kHz ~ 48 kHz
音声タイプ	MPEG1オーディオレイヤー3 (MP3)、MPEG1オーディオレイヤー2、ドルビーデジタル



- MP3ファイルやWMAファイルでは、指定した経過時間からの再生はできません。

- DivX®とJPEGの再生中はファイルリストを表示できません。
- 「.mp3 (.MP3)」という拡張子が付いたファイルを「MP3ファイル」、「.jpg / .jpeg (JPG)」という拡張子が付いたファイルを「JPEGファイル」、「.wma (.WMA)」という拡張子が付いたファイルを「WMAファイル」、「.avi」または「.divx (.DIVX)」という拡張子が付いたファイルを「DivX®ファイル」と呼びます。拡張子が「.avi (.AVI)」のファイルはMPEG4として認識されます。これら拡張子以外のファイルは一覧には表示されません。
- 本機ではExif規格に適合した画像ファイルも再生可能です。
※ Exif (Exchangeable image file format) はファイルフォーマット形式の一つで、JEITA (Japan Electronics and Information Technology Industries Association) によって制定されたものです。
- 本機では、BD-RE/-R、DVD-R/-RW、SDカードは999フォルダ、9999ファイルまで、CD-R/-RWでは255フォルダ、999ファイルまで認識できますが、構成によっては、記述の数値まで表示しない場合があります。
- 記録したときの条件によっては、一覧に表示されているフォルダやファイルでも再生できないことがあります。
- BD-RE/-R、DVD-R/-RW、CD-R/-RWではディスク名/フォルダ名/ファイル名、SDカードではカード名/フォルダ名/ファイル名が、ひらがな、カタカナ、漢字や英数字、記号で表示されます。認識できない文字は、* (アスタリスク) で表示されます。ディスクやSDカードに記録する際、ディスク名やフォルダ名等のそれぞれの推奨文字数は、ディスクで全角29文字、SDカードで全角4文字です。
- プログレッシブ形式で記録されたJPEG形式の画像は再生できません。
- 高解像度で記録された場合など、JPEGファイルの容量が大きいと、画面表示に時間がかかることがあります。

DivX® とは:

DivX, Inc. の DivX® ビデオコーディング方式によるデジタル映像圧縮技術です。あらゆる機器に対応したこの技術を用いることで、膨大な容量の動画データを画質を損なうことなく、インターネットでダウンロードできる非常に小さい容量にまで圧縮することが可能となります。

DivX® についての詳細は、<http://www.divx.com> をご覧ください。



- 容量が大きいファイルでは、ディスク挿入後、▶ を押しても、再生が始まるまでに20秒程度かかる場合があります。
- 高いビットレートで記録されたファイルを再生したときに、画像が乱れたり途切れる場合がありますが、故障ではありません。
- 本機では、DivX®の承認に基づいた技術を採用しておりますが、ファイルの特性やビットレート、音声設定の形式などにより、すべてのファイルの再生を保証するものではありません。
- DivX®ファイルによっては、ディスクの構成や特性、オーサリングソフトや、記録したときの条件などにより再生できない場合があります。
- 容量が32GBを超えるDivX®ファイルの再生はできません。
- 本機が対応していない映像サイズのDivX®ファイルを再生すると、再生を停止し、警告メッセージを表示します。
- 本機では、音楽用CDを第1セッションに、MP3とJPEGファイルを第2セッションに記録したような種類の異なるマルチセッションディスクにDivX®ファイルの書き込みを行ったディスクの再生はできません。
- CD-R/-RW、DVD-R/-RWに書き込んだDivX®ファイルが正常に再生できない場合、BD-RE/-Rに書き込んで、再生を試みてください。



- DivX®の公式サイトにあるDivX® Video-On-Demand (VOD) サービスよりDivX®ファイルを新規で購入またはレンタルするたびに、本機の登録番号が必要です。詳しくは“DivX (R) VOD”をご覧ください。

🔍 38ページ

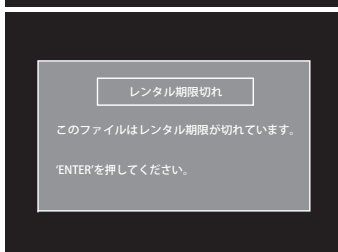
- 本機の登録番号とは異なる番号で登録されたDivX® VODファイルの再生はできません。[ENTER]を押して、再生可能なファイルを選び直してください。



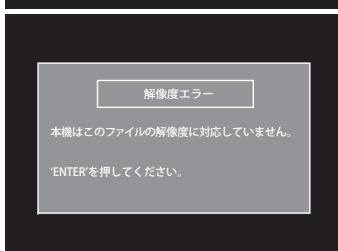
- DivX® VODファイルによっては、再生回数に制限があるものがあります。その場合、DivX® VODの表示画面に再生可能回数が表示されます。再生する場合は、[◀/▶]で“はい”を、再生したくない場合は“いいえ”を選び、[ENTER]を押してください。



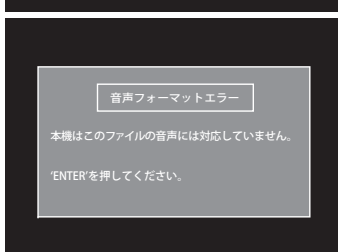
- 再生可能期間が超過すると、そのDivX® VODファイルは再生することができません。[ENTER]を押して、再生可能なファイルを選び直してください。



- 本機が対応していない解像度のDivX®ファイルの再生はできません。映像のサイズが「1,920x1,080ピクセル毎秒30フレーム」または「1,280x720ピクセル毎秒60フレーム」以下のファイルのみ再生ができます。



- 音声タイプがMPEG1オーディオレイヤー3 (MP3)、MPEG1オーディオレイヤー2、ドルビーデジタル以外のDivX®ファイルを再生した場合、音声は出力されず映像のみ出力されます。



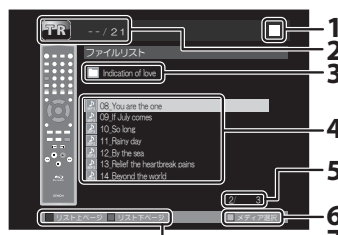
MP3やJPEG、WMA、DivX®を再生する

1 MP3や、JPEG、WMA、DivX®形式の音楽や動画、画像ファイルを書き込んだディスクをセットする。

- 自動で“ファイルリスト”が表示されます。
- SDカードでの再生方法は「SDカードを再生する」をご覧ください。🔍 27ページ
- ページの切り替えは画面内表示の通り、[BLU] / [RED] / [YEL]で操作します。
- [◀]を押すと前の階層に戻ります。
- “ファイルリスト”表示中は[TOP MENU]を押すと一番上の階層を表示します。

2 [▲/▼]で再生したいファイルを選び、[ENTER]または▶を押す。

- 再生を始めます。
- ファイルがフォルダにある場合は、再生したいファイルを選ぶまで手順2を繰り返してください。



【例】MP3ファイルが入っているディスクを挿入したとき

- 1 現在の再生状態
- 2 タイトル/ファイル情報
- 3 現在選択されているフォルダ名を表示します。一番上の階層では、ディスク名またはSDカード名を表示します。
- 4 現在選択されているディスクまたはSDカード内に含まれたフォルダまたはファイルの一覧を表示します。
- 5 現在選択されているページと合計ページ数を表示します。
- 6 メディア選択画面に戻ります。
- 7 前または次のページを表示します。

📁 アイコンについて：



DivX®とMP3やJPEG、WMAが混在したディスクを再生する

BD-RE/-R、DVD-R/-RW または、CD-R/-RW の中に、DivX® と MP3 や JPEG、WMA が混在している場合、メディア選択画面が表示されます。

1 MP3や、JPEG、WMA、DivX®形式の音楽や動画、画像ファイルが混在したディスクをセットする。



- メディア選択画面が表示されます。

2 [▲/▼]で“動画”、“音楽”または“写真”を選び、[ENTER]または▶を押す。

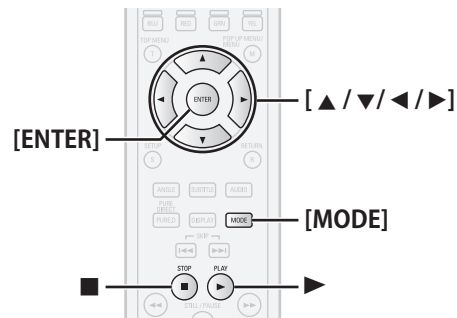
- “動画”を選ぶとDivX®、“音楽”を選ぶとMP3またはWMA、“写真”を選ぶとJPEGの“ファイルリスト”が自動で表示されます。
- ページの切り替えは画面内表示の通り、[BLU]/[RED]/[YEL]で操作します。
- [◀]を押すと前の階層に戻ります。
- “ファイルリスト”表示中は[TOP MENU]を押すと一番上の階層を表示します。

3 [▲/▼]で再生したいファイルを選び、[ENTER]または▶を押す。

- 再生を始めます。
- ファイルがフォルダにある場合は、再生したいファイルを選ぶまで手順3を繰り返してください。



- ディスクにAVCHDまたは、AVCRECが混在している場合、AVCHDまたは、AVCRECを除く他のファイルの再生はできません。
- AVCHDとAVCRECがディスクに混在している場合、両方のファイルの再生が可能です。



BD 音声モードを切り換える

ドルビーデジタルや DTS などのマルチチャンネル音声記録された、インタラクティブオーディオやコメンタリー音声などの第 2 音声を含む BD でそれらすべての音声を聴く場合や、マルチチャンネル音声のみをオリジナルの高音質のまま出力したい場合など、お好みに応じた音声モードに切り換えることができます。

1 再生の停止中に[MODE]を押す。



- 現在の設定状態が表示されます。

2 [▲/▼]で“Mix音声出力”または“HD音声出力”を選ぶ。



- 設定を完了し、約5秒間操作をしないと表示が消えます。

【BD音声モード設定】

- Mix音声出力：インタラクティブオーディオや第2音声を含むBDを楽しむ場合に設定します。
- HD音声出力：ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHD、DTS、DTS-HDなどの信号を高音質のまま第一音声のみ出力します。インタラクティブオーディオや第2音声は出力されません。



- 詳しくは「音声設定について」をご覧ください。📖 15ページ
- セットアップメニューでも設定できます。📖 36ページ

早見・早聞き再生する（ダイアログスピード）

約 1.3 倍速の音質で早見・早聞き再生ができます。ドルビーデジタル方式で記録されたディスクでのみ動作します。

1 再生中に、（ダイアログスピード）設定画面が表示されるまで、繰り返し[MODE]を押す。



- 現在の設定状態が表示されます。

2 [ENTER]または[◀/▶]で設定を切り換える。



【ダイアログスピード設定】

- オフ：通常再生を行います。
- ♪♪：約1.3倍速に設定され、再生を始めます。

3 ▶を押すと通常の再生に戻ります。



- ■を押すと、ダイアログスピード再生は解除されます。
- ダイアログスピード再生中は、音声言語、ピクチャーコントロールの設定はできません。
- ダイアログスピード再生中は、バーチャルサラウンド機能は働きません。
- ディスクによっては働かない箇所があります。
- ダイアログスピード再生中の音声出力は、HDMI 出力端子接続時はマルチリニア PCM または 2ch リニア PCM となります。また、デジタル音声出力端子接続時は 2ch リニア PCM、アナログ 7.1 チャンネル音声出力端子接続時はアナログ 2ch の音声となります。

画質設定（ピクチャーコントロール）

お好みに合わせて、画質の設定が行えます。設定した値は、最大 5 つまでメモリすることができます。

1 再生中に、（画質）設定画面が表示されるまで、[MODE]を押す。



- 現在の設定状態が表示されます。

2 [▲/▼]で“メモリ-1”から“メモリ-5”までのお好みの設定番号を選び、[ENTER]を押す。



3 [▲/▼]で変更したい項目を選ぶ。



4 [◀/▶]で設定を切り換える。



- 設定を完了し、約10秒間操作をしないと表示が消えます。

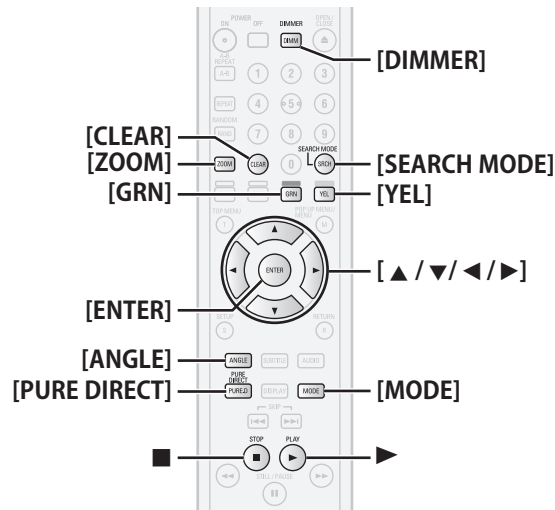


- ピクチャーコントロールの各設定値は、電源を切っても記憶されます。
- 電源コードを抜くと、設定値を記憶しない場合があります。

設定項目	初期設定	その他の設定値
1. コントラスト 明暗部の対照を調整します。	0	-7 ~ +7
2. ブライツネス 輝度を調整します。	0	0 ~ +15
3. シャープネス 鮮明さを補正します。	0	-6 ~ +6
4. ガンマ補正 画像全体の明るさをさらに細かく調整し、明暗部のバランスを補正できます。	0	0 ~ +5
5. 色合い 緑色と赤色の色差バランスを補正します。	0	-7 ~ +7
6. 黒レベル^{*1} (セットアップレベル) 暗い部分が明るくなるように調整します。	0 IRE (オリジナル画像)	7.5 IRE (暗部を明るくする)
7. ノイズリダクション^{*2} 再生画像のノイズを軽減します。	オフ	+1 : MPEGノイズリダクションを実行し、字幕部分のブロックノイズとモスキートノイズを軽減します。 +2 : 3Dノイズリダクションを実行し、背面部分に現れるノイズを除去します。 +3 : MPEGノイズリダクションと3Dノイズリダクションの両方を実行します。

*1 色差映像出力(480iを除く)とHDMI出力時には効果がありません。

*2 BD,BDAV,AVCRECまたはAVCHDの再生時には利用できません。



バーチャルサラウンド設定

2チャンネルシステムによる仮想的なサラウンド効果を楽しむことができます。

- 再生中に、**
 (バーチャルサラウンド)設定画面が表示されるまで、繰り返し[MODE]を押す。

 - 現在の設定状態が表示されます。
- [▲/▼]で設定を切り換える。**

 - 設定を完了し、約10秒間操作をしないと表示が消えます。

[バーチャルサラウンド設定]

- オフ : 切
- 1 : 標準
- 2 : 強

- ディスクによってはサラウンド効果がでないものや、でないものがあります。
- 音声がひずむ場合は、ボリュームを下げるか、バーチャルサラウンド設定を「オフ」にしてください。
- ダイアログスピード再生中は、バーチャルサラウンド機能は働きません。
- バーチャルサラウンドの音声出力は2chリニアPCMとなります。

ピュアダイレクト機能

映像信号などの出力を止め、アナログ音声信号のみを出力することで高音質な音声が楽しめます。

- 1 お好みの設定値が表示されるまで、**
繰り返し[PURE DIRECT]を押す。
 - 設定を完了し、約3秒間操作をしないと表示が消えます。

[ピュアダイレクト機能]

- VideoOff : 映像信号の出力を切にします。
- Disp.Off : ディスプレイの表示を切にします。
- All Off : 映像信号の出力およびディスプレイの表示を切にします。
- Normal : ピュアダイレクト機能を切にします。

- 2 ピュアダイレクトを中止するには、「Normal」が表示されるまで、**
繰り返し[PURE DIRECT]を押す。

 - 「Normal」を表示し、ディスプレイが再点灯します。

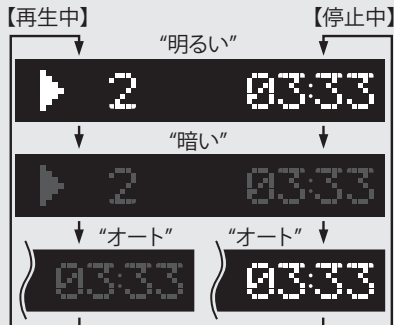
- セットアップメニュー表示中は[PURE DIRECT]は利用できません。
- 本機をスタンバイ状態にすると、ピュアダイレクトの設定値は「Normal」に戻ります。

ご使用になる前に
接続のしかた
基本操作のしかた
便利な操作のしかた
初期設定のしかた
その他について

ディマー機能

本機のディスプレイは明るさを2段階または自動に切り換えることができます。“オート”を選ぶと再生中は暗く、再生を停止すると明るくします。

好みの明るさになるまで、[DIMMER]を繰り返し押す。



- 再生中の“オート”では、ディスプレイが暗くなります。
- 停止中の“オート”では、ディスプレイが明るくなります。



- リモコンで [DIMMER] を押した場合のディマー設定は記憶されません。一度スタンバイ状態にしたあと、再び電源を入れるとディスプレイは明るく表示されます。また、セットアップメニューの“ ” ⇨ “ ” ⇨ “表示パネル” ⇨ [38ページ](#) の設定値は本機の電源を切っても、設定を記憶しています。
- セットアップメニュー画面表示中は [DIMMER] は利用できません。

ズーム再生する (DVD、DVD-VR、JPEG、DivX®のみ)

お好みにより画像を 1.2 倍から 4 倍まで拡大することができます。

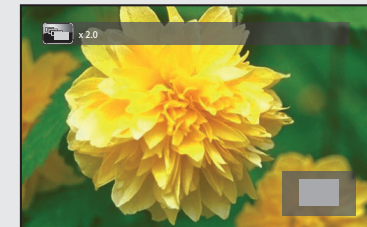
1 再生中または一時停止中に[ZOOM]を押す。



【例】DVDを挿入したとき

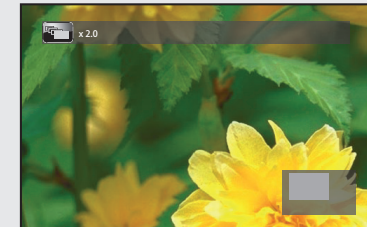
- 現在の設定状態が表示されます。

2 [ZOOM]を繰り返し押すと、“x1.2” ⇨ “x1.5” ⇨ “x2.0” ⇨ “x4.0” ⇨ 通常の画面 ⇨ “x1.2”... の順に倍率が変わります。



- JPEG、DivX®ファイルは“x4.0”には対応していません。
- ズーム位置を示すナビゲーションが表示されます。

3 [▲/▼/◀/▶]で、ズームした画像を画面中央から上下左右に移動できます。



4 通常画面に戻るまで、繰り返し[ZOOM]を押す。



- トップメニューやディスクメニューでのズームはできません。
- JPEG ファイルのズーム再生では、ナビゲーションは表示されません。
- 再生するファイルによってはズーム再生ができないものもあります。
- DivX® ファイルでは、画像の大きさによってはズーム倍率がスキップされる場合があります。
- DivX® で倍率やズーム位置を切り替えるとき、一瞬画面が黒くなる場合がありますが、不具合ではありません。

ピクチャー CD を再生する

本機はコダック (株) が扱っているピクチャーCDを再生することができます。これらのCDを再生することで、写真の画像をテレビで楽しむことができます。

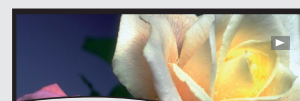
※ ピクチャー CD は、従来の銀塩フィルムカメラで撮った写真をデジタルデータに変換して CD-ROM に書き込むサービスです。本機は 7.0 以前のバージョンに対応しています。ピクチャー CD に関する詳細はコダック (株) の現像サービスを取り扱っている店頭にお問い合わせください。

1 ピクチャーCDを挿入する。



- サムネイル画面 (画像一覧) が自動で表示されます。
- ページの切り替えは画面内表示の通り、[GRN] / [YEL] で操作します。
- 現在のファイル番号と総ファイル数は中央下部に表示されます。
- すべてのメニュー項目が表示されるまで時間がかかることがあります。

2 [▲/▼/◀/▶]で見たい画像を選び、[ENTER] または ▶ を押す。



- 選択された画像から再生が始まります。画像はセットアップメニューの“スライドショー”で設定された時間、“5秒”または“10秒”で表示され、次の画像に移ります。
- 画像を表示しているときは、[ANGLE]を押すごとに時計回りに90度ずつ画像が回転します。



- ピクチャー CD の再生中に [MODE] を繰り返し押すと、「スライド効果設定」と「画像サイズ設定」が設定できます。⇨ [27ページ](#)
- セットアップメニューの“ ” ⇨ “ ” ⇨ “スライドショー”で設定された時間が、“5秒”または“10秒”であっても、ファイルの容量が大きい場合、表示時間が長くなる場合があります。
- サムネイル画面を表示する場合は、■ を押してください。

スライド効果を設定する

JPEG ファイルの画像を見るときに、スライドショーで切り換わる画像移行の効果が設定できます。

- 再生中に、**JPEG** (スライド効果) 設定画面が表示されるまで、繰り返し[MODE]を押す。



- 現在の設定状態が表示されます。

- [ENTER]または[◀/▶]で設定を切り換える。



【スライド効果設定】

- カットイン/アウト : 完全な画像を一度に表示し、消去します。
- フェードイン/アウト : 画像を除々に表示し、消去します。

JPEGファイルの画像サイズを調整する

接続するテレビによって、表示される JPEG ファイルの端が切れるような場合に、画像を少し小さくして表示します。

- 再生中に、**画像サイズ** (画像サイズ) 設定画面が表示されるまで、繰り返し[MODE]を押す。



- 現在の設定状態が表示されます。

- [ENTER]または[◀/▶]で設定を切り換える。



【画像サイズ設定】

- ノーマル: 100%の画面サイズで表示します。
- スモール: 93%の画面サイズで表示します。



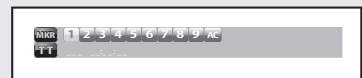
- 画像サイズの小さなファイルなどでは、“スモール”にしても効果が見られない場合があります。

再び見たい場面を記憶する (マーカー設定)

再び見たい場面や聴きたい箇所などにマークを付けておくと、そこから再生を始めることができます。

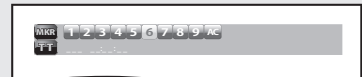
マークを付ける / マークを付けた箇所を呼び出す

- 再生中に、**MKR** (マーカー) 設定画面が表示されるまで、繰り返し[SEARCH MODE]を押す。



- 現在の設定状態が表示されます。

- [◀/▶]で、設定されていないお好みの番号を選ぶ。



- すでに設定されている番号はマーカー設定画面に“✓”が表示されています。

- 記憶させたい箇所まで[ENTER]を押す。



- 記憶した再生中のタイトルまたはトラックの経過時間と“✓”を表示します。
- 設定を完了し、約30秒間操作をしないと表示が消えます。

- マークした箇所から再生するには、[◀/▶]でお好みのマーカーを選び、[ENTER]を押す。

- 再生を始めます。



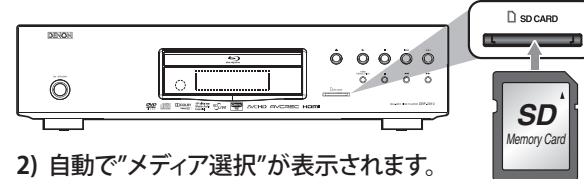
- マークした箇所によっては、字幕を表示しないことがあります。
- マーカーを消去したい場合は、[◀/▶]で消去したいマーカーを選び、[CLEAR]を押します。すべてのマーカーを消去する場合は、“AC”を選び、[ENTER]を押します。
- マーカー情報は電源を切るか、本機からディスクを取り出すまで保持されます。
- MP3 や WMA、JPEG、DivX® ファイルのマーカー設定はできません。
- BDおよび AVCHD では、タイトルをまたぐマーカー設定はできません。
- BDおよび AVCHD では、再生中のみマークした箇所から再生できます。

SD カードを再生する

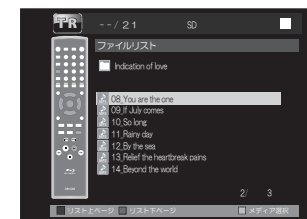
AVCHD、MP3、WMA や JPEG ファイルの再生を BD-RE/R、DVD-R/RW や CD-R/RW 同様に楽しむことができます。また、BD プロファイル 1.1 に対応しているディスクは、パソコンなどを經由してインターネットからダウンロードしたデータを SD カードにコピーして、BD 用の様々な拡張機能が楽しめます。詳しくは BD の説明書をご覧ください。

- ❑ SD カードを本機で読み込むには：

- 1) SD カードのレーベル面を上にして水平に持ち、本体前面のスロットにカチッと音がするまで挿入します。



- 2) 自動で“メディア選択”が表示されます。[▲/▼]で“SDカード”を選び、[ENTER]を押す。
- 3) 自動で“ファイルリスト”が表示されます。



【例】MP3ファイルが入っているディスクを挿入したとき

- 4) [▲/▼]で再生したいファイルを選び、[ENTER]または▶を押す。
 - 再生を始めます。
 - ファイルにフォルダがある場合は、再生したいファイルを選ぶまで手順 4 を繰り返してください。
- 5) SD カードを取り出すときは、再生が停止されていることを必ず確認のうえ、軽く奥に押ししてから引き抜いてください。



- “メディア選択”の設定を“SDカード”を選択しているときは、本機でディスクの読み込みはできません。再びディスク再生を行う場合は、“メディア選択”の設定を“ディスク”に変更してください。
- 詳しくは「本機で利用できる SD カード」をご覧ください。➡ 7ページ
- SDカードを挿入しても、ディスクが動作しているときは“メディア選択”は自動で表示されません。
- “メディア選択”が自動で表示されない場合、再生の停止中に、セットアップメニューの“SD/TOM”⇄“Other”⇄“メディア選択”で“SDカード”を選択し、設定してください。➡ 39ページ
- SDカード内に違う種類のファイルが混在している場合は、手順 2 のあとにメディア選択画面が表示されます。
- フォルダ名やファイル名に下記の認識できない文字が使用されている場合、フォルダ名、ファイル名が正しく表示できないことがあります。
- 認識できない文字：[, , " = + [] ; / \ : | ¥
- 本機をスタンバイ状態にすると、“メディア選択”が“SDカード”から“ディスク”に切り換わります。

BD-Live について

本機は、BD-Live機能付きのBDビデオ (BD-ROM Profile 2.0)に対応しています。

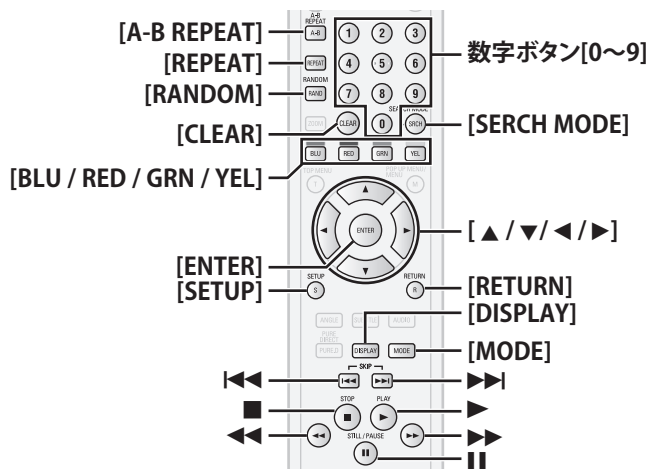
本機をインターネットに接続することで、特別映像や字幕などの追加コンテンツや、ネットワーク対戦ゲームなど、様々な機能を楽しむことができます。

- BD-Liveで利用できる様々な機能は、ディスクにより異なります。詳しい機能や動作については、それぞれのディスクの画面表示や説明をご覧ください。
- BD-Live機能を使用するには、ダウンロードしたコンテンツを保存するためにSDカードを本機に挿入する必要があります。SDカードは、容量が1GB以上のものをお使いください。
- BD-Live対応ディスクの再生中は、SDカードを本機から抜かないでください。



- BD-Live機能を利用するには、本機をインターネットに接続し、必要な設定を行ってください。接続のしかたについては“ネットワーク接続”
☞ 16ページ を、設定のしかたについては“ネットワーク接続設定”
☞ 39ページ を参照してください。
- ディスクによっては、“BD-Live設定”
☞ 41ページ を変更する必要がある場合があります。
- お使いのネットワーク環境によっては、ネットワーク接続に時間がかかったり、接続できない場合があります。
- BD-Live対応ディスクの再生中、プレイヤーまたはディスクの識別IDがコンテンツプロバイダーに送信されることがあります。インターネット接続を制限するには、“BD-Live設定”
☞ 41ページ を変更してください。
- BD-Live対応ディスクには、再生時にメモリーを必要とするものがあります。再生できない場合には、本機で初期化した1GB以上の空き容量があるSDカードを挿入して再生してください。

便利な操作のしかた



早戻し/早送りをする

- 再生中に ◀◀ または ▶▶ を押す。
● 押すたびに早戻し/早送りの速度を切り換えます。
- ▶ を押すと通常の再生に戻ります。

- BD、DVD、BD-RE、DVD-VR、AVC-REC、AVCHD、DivX®ファイルの早戻し、早送り中は音声はできません。
- 早戻し、早送りの速度は、BD、DVD、BD-RE、DVD-VR、AVC-REC、AVCHDでは5段階、音楽用CD、MP3、WMA、DivX®ファイルでは3段階まで切り換えられます。
- 音楽用CDのプログラム、ランダム再生中にトラックをまたいだり、MP3やWMAファイルをまたぐ早戻し、早送りはできません。
- DivX®ファイルによっては、早戻し、早送りができない場合があります。

頭出しをする

- 再生中に ◀◀ または ▶▶ を押す。
- 押した回数だけチャプターまたはトラック、ファイルを飛び越します。
 - 戻し方向に1回押すと再生中のチャプターまたはトラック、ファイルの先頭に戻ります。

- ディスクによっては、タイトルや、トラック、ファイルをまたぐ頭出しが禁止されている場合があります。

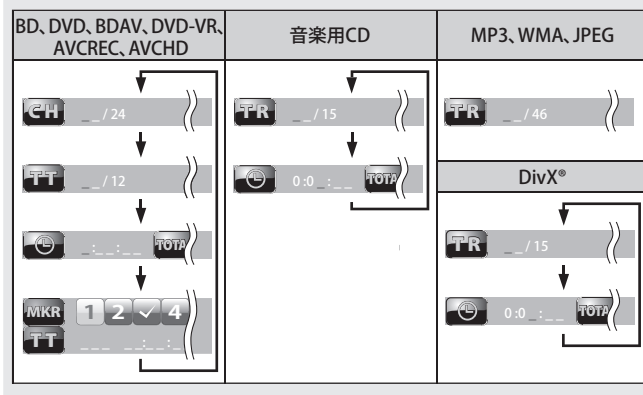
数字ボタン[0~9]で頭出しをする(サーチモード)

ディスクやファイルによってサーチモードの機能が異なります。設定可能なサーチモードは下記の一覧をご覧ください。

サーチモード	再生するディスク/ファイル
チャプター、タイトルサーチ 指定したチャプターやタイトルを頭出しします。	BD、DVD、BD-REモードのBD-RE/-R、AVC-RECモード/VRモードのDVD-R/-RW、AVCHD
トラックサーチ 指定したトラックやファイルを頭出しします。	音楽用CD、DivX®、MP3、WMA、JPEG
タイムサーチ 指定した時間で頭出しします。	BD、DVD、音楽用CD、BD-REモードのBD-RE/-R、AVC-RECモード/VRモードのDVD-R/-RW、AVCHD、DivX®
マーカーサーチ マーカー設定した箇所で頭出しします。	BD、DVD、BD-REモードのBD-RE/-R、AVC-RECモード/VRモードのDVD-R/-RW、AVCHD

- 再生中に[SEARCH MODE]を押す。
● サーチモード設定画面が表示されます。

- お好みのサーチモードが表示されるまで、繰り返し[SEARCH MODE]を押す。



- 数字ボタン[0~9]で頭出ししたいチャプターやタイトル、トラック、ファイルまたは時間を入力する。マーカーサーチの場合は、[◀/▶]で、お好みのマーカーを選び、[ENTER]を押す。

- 希望した箇所の頭出しを行ったあと、再生を始めます。
- マーカー設定については「再び見たい場面を記憶する(マーカー設定)」をご覧ください。☞ 27ページ

- 記録されているチャプターやタイトル、トラック、ファイル数で操作が異なります。
 - ・ 1桁の場合: 番号を直接入力してください。
 - ・ 2桁の場合: <例> 3の入力 [0], [3]
 - 26の入力 [2], [6]
 - 3の入力 [0], [0], [3]
 - 26の入力 [0], [2], [6]
 - 138の入力 [1], [3], [8]
- プログラム再生中またはランダム再生中は、サーチモードでのトラック、ファイルの頭出しはできません。◀◀/▶▶で頭出しを行ってください。
- タイムサーチは、同一のタイトル、トラックまたはファイル内のみ設定できます。チャプター内でのサーチはできません。
- BD、DVD、BD-RE、DVD-VR、AVC-REC、AVCHDでは、ディスクの合計時間を越えたタイムサーチはできません。
- 音楽用CD、DivX®ファイルでは、ディスク全体のタイムサーチはできません。
- MP3やWMA、JPEGファイルのタイムサーチはできません。
- MP3やWMA、JPEG、DivX®ファイルのマーカーサーチはできません。
- ディスクによっては、サーチモードが働かない場合があります。
- BDおよびAVCHDのチャプター、タイムサーチは、再生中のみ利用できます。
- DivX®ファイルによっては、タイムサーチできない場合があります。

コマ送り再生をする (BD、DVD、BD-RE、DVD-VR、AVC-REC、AVCHD、DivX®のみ)

- 一時停止中に || を押す。
● 押すたびに、1コマずつ再生します。

- ▶ を押すと通常の再生に戻ります。

- 本機はコマ戻しはできません。
- コマ送り再生中の映像にブレが生じる場合は、再生を一旦停止してから、[SETUP]を押し、セットアップメニューの「CUSTOM」⇒「」⇒「スチルモード」で「フィールド」に切り換えてください。☞ 35ページ

スロー再生をする

1 一時停止中に▶▶を押す。

- 押すたびにスロー再生の速度を3段階まで切り換えます。

2 ▶を押すと通常の再生に戻ります。



- スロー再生中は音声はできません。
- 逆スロー再生、音楽用CD、MP3、WMA、JPEGファイルのスロー再生はできません。
- スロー再生中の映像にブレが生じる場合は、再生を一旦停止してから、[SETUP]を押し、セットアップメニューの" " → " " → "スチルモード"で"フィールド"に切り換えてください。 35ページ

リピート再生をする

再生するディスクやファイルによってリピート再生の機能が異なります。設定可能なリピートモードは下記の一覧をご覧ください。

リピートモード	再生するディスク・ファイル
"チャプター"	BD、DVD、BD-RE/R、AVCRECモード/VRモードのDVD-R/RW、AVCHD
現在のチャプターを繰り返し再生します。	
"タイトル"	BD、DVD、BD-RE/R、AVCRECモード/VRモードのDVD-R/RW、AVCHD
現在のタイトルを繰り返し再生します。	
"トラック"	音楽用CD、DivX®、MP3、WMA、JPEG
現在のトラックまたはファイルを繰り返し再生します。	
"グループ"	DivX®、MP3、WMA、JPEG
現在のフォルダを繰り返し再生します。	
"オール"	BD-RE/R、AVCRECモード/VRモードのDVD-R/RW、音楽用CD、DivX®、MP3、WMA、JPEG
メディアに含まれるすべてのタイトル、トラックまたはファイルを繰り返し再生します。	

1 再生中に[REPEAT]を押す。



- 現在の設定状態が表示されます。

2 お好みのリピートモードが表示されるまで、繰り返し[REPEAT]を押す。

BD、DVD、BD-RE/R、AVCREC、AVCHD	音楽用CD	MP3、WMA、JPEG、DivX®
オフ	オフ	オフ
チャプター	トラック	トラック
タイトル	オール	グループ
オール		オール

BD-RE/R、AVCRECモード/VRモードのDVD-R/RW再生時

- 設定を完了し、約3秒間操作をしないと表示が消えます。

3 通常の再生に戻すときは、" オフ"が表示されるまで、繰り返し[REPEAT]を押す。



- リピート再生中、ほかのタイトルやチャプター、トラック、フォルダ、ファイルをサーチするとリピート再生の設定は解除されます。
- ディスクによっては、リピート再生ができない場合があります。
- ディスクによっては、リピート再生を設定しても、タイトルやチャプターの先頭に戻らず、次の場面に移る場合があります。
- A-Bリピート再生中は、リピート再生はできません。

指定した2点間を繰り返し再生する(A-Bリピート再生)

1 再生中に[A-B REPEAT]を押す。

- 開始場所Aを指定します。
- ディスプレイに" A-B"と表示されます。
- 開始場所Aをキャンセルする場合は、[CLEAR]を押します。

2 もう一度、[A-B REPEAT]を押す。

- 終了場所Bを指定し、A-B間の繰り返し再生を始めます。
- ディスプレイに" A-B"と表示されます。

3 A-Bリピート再生中に[A-B REPEAT]を押すと、通常の再生に戻ります。



- A-Bリピート再生は、同一のタイトル、トラックまたはファイル内のみ設定できます。
- A-Bリピート再生中、ほかのタイトルやチャプター、トラック、フォルダ、ファイルをサーチするとリピート再生の設定は解除されます。
- 開始場所Aのみを設定したままタイトル、トラック、またはファイルの終端まで再生された場合は、終端が自動的に終了場所Bに設定されます。
- 場面によっては、A-Bリピート再生ができない場合があります。
- ディスクによっては、リピート再生を設定しても、タイトルやチャプターの先頭に戻らず、次の場面に移る場合があります。
- MP3やWMA、JPEGファイルのA-Bリピート再生はできません。
- リピート再生中は、A-Bリピート再生はできません。
- DivX®ファイルによっては、A-Bリピート再生ができない場合があります。

PiP (ピクチャー・イン・ピクチャー)(BONUSVIEW) の設定

PiP (ピクチャー・イン・ピクチャー) 機能を持つ BD ビデオの再生時、セカンダリー映像を含むシーンで、セカンダリー映像を画面内に別画面で表示することができます。

1 BD再生中に、 (ピクチャー・イン・ピクチャー) 設定画面が表示されるまで、繰り返し[MODE]を押す。



- 現在の設定状態が表示されます。

2 [▲/▼]で設定を切り換える。



- 設定を完了し、約5秒間操作をしないと表示が消えます。



- セカンダリー映像の音声は、セカンダリー音声"オフ"、または"BD音声モード"が"HD音声出力"に設定時には、出力されません。

プログラム再生をする(音楽用CD、MP3、WMA、JPEGのみ)

音楽用CDおよびMP3、WMA、JPEGファイルを、トラック番号やファイル番号を予約して好きな順に再生できます。BD、DVD、BD-VR、AVCREC、AVCHD、DivX®ファイルのプログラム再生はできません。

1 再生の停止中に[MODE]を押す。



【例】MP3ファイルが入っているディスクを挿入したとき

- プログラム設定画面が表示されます。

2 [▲/▼]でお好みのトラック番号またはファイル番号を選び、[ENTER]を押す。



- 手順2でMP3やWMA、JPEGファイルがフォルダに入っている場合は、先に[▲/▼]でフォルダを選び、[ENTER]を押したあと、プログラムしたいファイルを選んでください。
- プログラムしたトラックまたはファイルを消去したい場合は、[CLEAR]を押すと最後に入力されたトラックまたはファイルから消去されます。
- すでに入力されたすべてのプログラムを消去する場合は、プログラムリスト末尾の「オールクリア」を選び、[ENTER]を押してください。
- フォルダの階層を移動したい場合は、[◀/▶]を押します。
- ページの切り替えは画面内表示の通り、[BLU] / [RED] / [GRN] / [YEL]で操作します。

3 登録が完了したら▶を押す。

- プログラム再生を始めます。



- プログラム再生中にプログラムの追加入力はできません。
- プログラム再生中は、サーチによる頭出しおよび、ランダム再生はできません。
- プログラム再生中に、現在再生されているトラックまたはファイルをリピート再生したい場合は、「トラック」が表示されるまで、繰り返し[REPEAT]を押します。
- プログラム再生中に、現在プログラム登録されているすべてのトラックまたはファイルをリピート再生したい場合は、「オール」が表示されるまで、繰り返し[REPEAT]を押します。
- プログラム再生中に、プログラムした次のトラックまたはファイルを再生するときは▶を押してください。
- 99トラックまたは99ファイルまで登録できます。また、MP3とWMAファイルは、組み合わせた登録も可能です。
- プログラム再生中に■を押すと、次の再生時には音楽用CDは停止した位置、MP3/WMAは停止したファイルの先頭、JPEGは停止したファイルから再生を始めます。
- プログラム再生中に■を2回押すと、プログラム画面が表示されます。
- プログラム設定画面を解除したい場合は、[RETURN]を押してください。
- ディスクトレイを開けたり、電源を切ったり、電源プラグを抜くとプログラム再生の設定が解除されます。

ランダム再生をする(音楽用CD、MP3、WMA、JPEGのみ)

音楽用CDおよびMP3、WMA、JPEGファイルを、トラック単位またはファイル単位でランダム(順不同)に再生できます。BD、DVD、BD-VR、AVCREC、AVCHD、DivX®はランダム再生できません。

1 再生の停止中に[RANDOM]を押す。



【例】音楽用CDを挿入したとき

- ランダム再生画面が表示されます。

2 ▶を押す。

- ランダム再生を始めます。



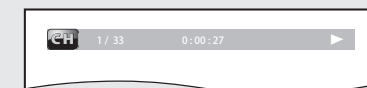
- ランダム再生中は、サーチによる頭出しおよび、プログラム再生はできません。また、前のトラックまたはファイルに戻ることはできません。
- ランダム再生中に、次のトラックまたはファイルを再生するときは▶を押してください。

- ランダム再生中に■を押すと、次の再生時には音楽用CDは停止した位置、MP3/WMAは停止したファイルの先頭、JPEGは停止したファイルから再生を始めます。
- ランダム再生中に■を2回押すと、ランダム再生画面に戻ります。解除したい場合は、[RANDOM]を押してください。
- ランダム再生中に、現在再生されているトラックまたはファイルをリピート再生したい場合は、「トラック」が表示されるまで[REPEAT]を繰り返し押します。
- ランダム再生中に、現在再生されているすべてのトラックまたはファイルをリピート再生したい場合は、「オール」が表示されるまで[REPEAT]を繰り返し押します。
- MP3やWMA、JPEGファイルが混在したディスクでは、オーディオまたはビジュアルファイル内でのランダム再生を行います。すべてのファイルのランダム再生はできません。
- ディスクトレイを開けたり、電源を切ったり、電源プラグを抜くとランダム再生の設定が解除されます。
- ディスクによっては、ランダム再生ができない場合があります。

再生中の情報を見る(画面表示)

ディスクに関する情報(現在再生中のチャプターや再生経過時間など)をテレビ画面に表示させて、確認することができます。

1 再生中に[DISPLAY]を押す。



【例】DVDを挿入したとき

- 現在の再生状態が表示されます。

2 お好みの画面表示が表示されるまで、繰り返し[DISPLAY]を押す。



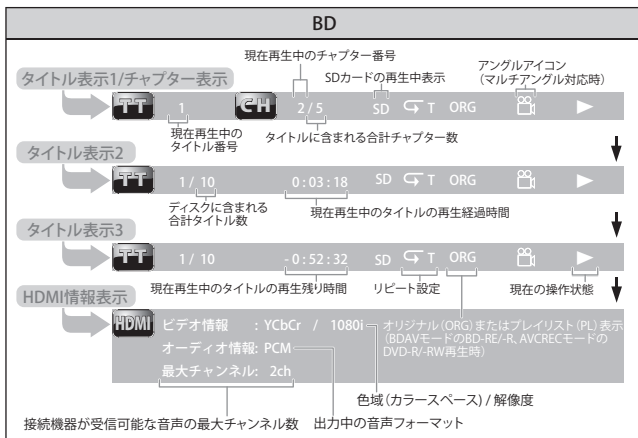
- 画面表示の詳細については、「画面表示の切り換わりかた」をご覧ください。▶ 32ページ

3 通常の再生に戻るときは、画面表示が消えるまで、繰り返し[DISPLAY]を押す。

画面表示の切り換わりかた

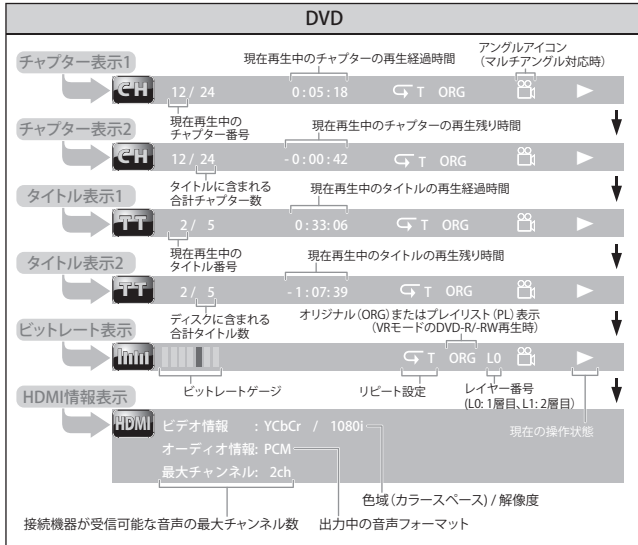
□ BD / BDAV / AVCREC / AVCHD の再生時：

[DISPLAY] を押すたびに、下図の表示に切り換わります。



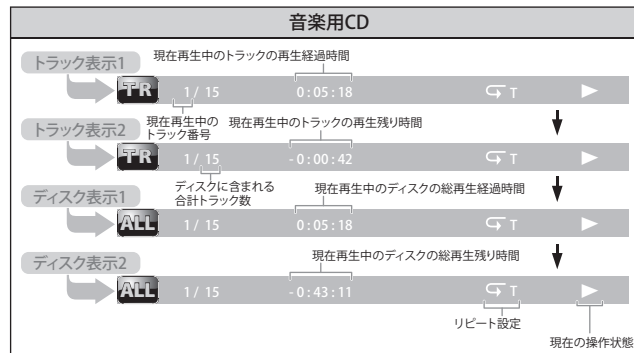
□ DVD/DVD-VR の再生時：

[DISPLAY] を押すたびに、下図の表示に切り換わります。



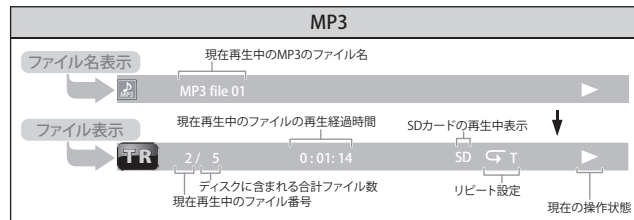
□ 音楽用 CD の再生時：

[DISPLAY] を押すたびに、下図の表示に切り換わります。



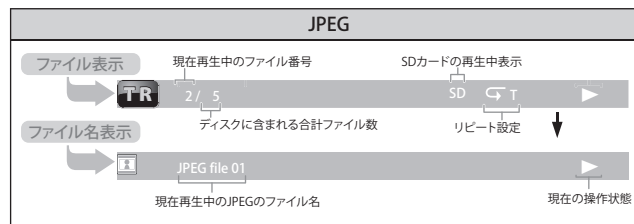
□ MP3 ファイルの再生時：

[DISPLAY] を押すたびに、下図の表示に切り換わります。



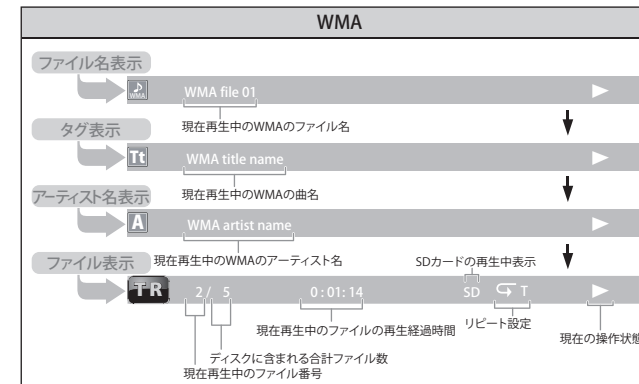
□ JPEG ファイルの再生時：

[DISPLAY] を押すたびに、下図の表示に切り換わります。



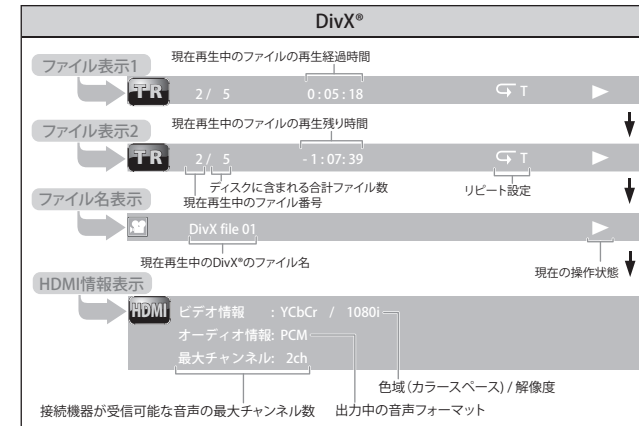
□ WMA ファイルの再生時：

[DISPLAY] を押すたびに、下図の表示に切り換わります。



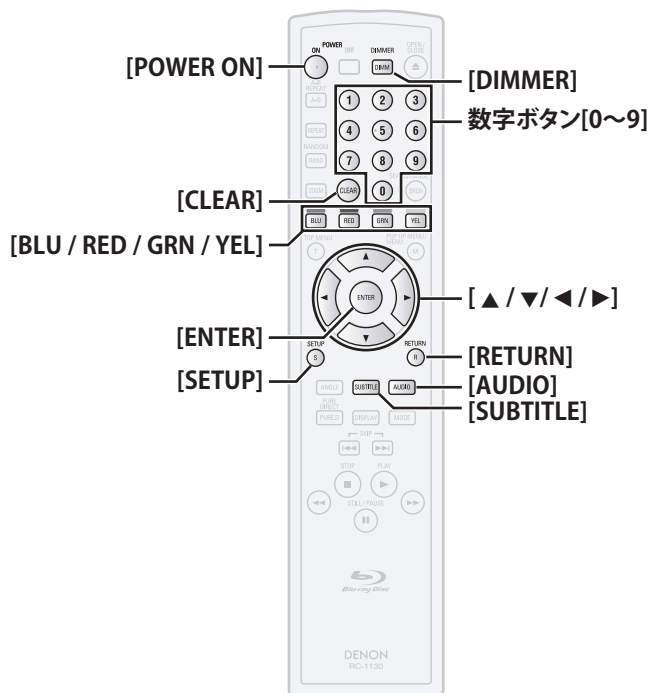
□ DivX® ファイルの再生時：

[DISPLAY] を押すたびに、下図の表示に切り換わります。



- HDMIケーブルを使った接続を行っていない場合は、HDMI情報表示の"ビデオ情報"、"オーディオ情報"および"最大チャンネル"は、"---"が表示されます。

初期設定のしかた



【操作説明のボタン名について】

< >: 本体のボタン
[]: リモコンのボタン
ボタン名のみ: 本体とリモコンのボタン

初期設定の操作のしかた (セットアップメニュー)

セットアップメニューでは、音声、映像、言語、その他の各種設定ができます。再生中の設定変更はできません。

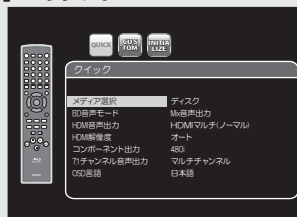
クイックメニュー

よく使われる項目をカスタムメニューから抽出しています。

1 再生の停止中に[SETUP]を押す。

2 [◀/▶]で"QUICK"を選び、[ENTER]を押す。

3 [▲/▼]で設定したい項目を選び、[ENTER]を押す。



- "メディア選択"については、👉 39ページをご覧ください。
- "BD音声モード"については、👉 36ページをご覧ください。
- "HDMI音声出力"については、👉 36ページをご覧ください。
- "HDMI解像度"については、👉 35ページをご覧ください。
- "コンポーネント出力"については、👉 35ページをご覧ください。
- "7.1チャンネル 音声出力"については、👉 36ページをご覧ください。
- "OSD言語"については、👉 34ページをご覧ください。

4 [▲/▼]でお好みの設定値を選び、[ENTER]を押す。

- 設定値が2つの項目では、[ENTER]を押すたびに設定値が切り換わります。

5 [SETUP]を押し、設定を完了する。

カスタムメニュー

カスタム設定には、本機で設定できるすべての項目が含まれています。

1 再生の停止中に[SETUP]を押す。

2 [◀/▶]で"CUSTOM"を選び、[ENTER]を押す。

3 [◀/▶]で設定したい項目を選び、[ENTER]を押す。



- "言語"については、👉 34ページをご覧ください。
- "映像"については、👉 34-35ページをご覧ください。
- "音声"については、👉 36-37ページをご覧ください。
- "視聴制限設定"については、👉 38ページをご覧ください。
- "その他"については、👉 38-39ページをご覧ください。

4 [▲/▼]でお好みの設定値を選び、[ENTER]を押す。

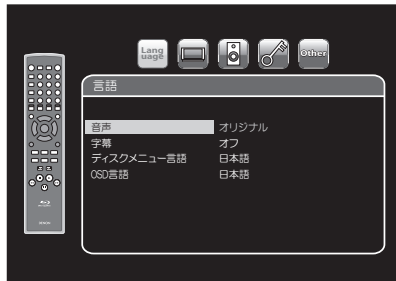
- 設定値が2つの項目では、[ENTER]を押すたびに設定値が切り換わります。

5 [SETUP]を押し、設定を完了する。



- 本機や接続機器の状態において利用できない項目は灰色で表示され、選択することができません。

言語



設定項目	初期設定	その他の設定値
音声 音声言語を設定します。	オリジナル	日本語 / 英語 / フランス語 / スペイン語 / ドイツ語 / イタリア語 / スウェーデン語 / オランダ語 / ロシア語 / 中国語 / 韓国語 / デンマーク語 / フィンランド語 / ノルウェー語 / アイスランド語 / ハンガリー語 / ルーマニア語 / トルコ語 / キリシャ語 / アイルランド語 / ポルトガル語 / ポーランド語 / チェコ語 / スロバキア語 / ブルガリア語 / その他
字幕 字幕言語を設定します。	オフ	英語 / フランス語 / スペイン語 / ドイツ語 / イタリア語 / スウェーデン語 / オランダ語 / ロシア語 / 中国語 / 韓国語 / デンマーク語 / フィンランド語 / ノルウェー語 / アイスランド語 / ハンガリー語 / ルーマニア語 / トルコ語 / キリシャ語 / アイルランド語 / ポルトガル語 / ポーランド語 / チェコ語 / スロバキア語 / ブルガリア語 / その他
ディスクメニュー言語 ディスクメニュー画面の言語を設定します。	日本語	英語 / フランス語 / スペイン語 / ドイツ語 / イタリア語 / スウェーデン語 / オランダ語 / ロシア語 / 中国語 / 韓国語 / デンマーク語 / フィンランド語 / ノルウェー語 / アイスランド語 / ハンガリー語 / ルーマニア語 / トルコ語 / キリシャ語 / アイルランド語 / ポルトガル語 / ポーランド語 / チェコ語 / スロバキア語 / ブルガリア語 / その他
OSD言語 セットアップメニュー画面の言語を設定します。 (OSD : On-Screen Display)	日本語	オート(自動)/English



- “音声”、“字幕”、“ディスクメニュー言語”の各言語設定では、ディスクにその他の言語を含む場合は“その他”を選びます。「言語コード一覧」(P.43)を参照して、数字ボタン[0~9]で言語コードを入力してください。
- 字幕を表示させたくない場合は、“字幕”で“オフ”を選んでください。ディスクによっては字幕表示を消すことができない場合もあります。
- OSD言語を“オート”に設定すると、自動言語設定機能が有効になります。(P.39)
- “オート”は“HDMI CEC”の設定を“オン”に設定時のみ設定可能になります。
- “オート”の後ろの括弧内には、テレビ側で選択されている言語が表示されます。

映像



設定項目	初期設定	その他の設定値
TVアスペクト 接続したテレビの画面と、視聴する映像サイズに応じて設定します。	16:9 ワイド ワイド画面のテレビに接続し16:9ワイドスクリーン映像の視聴時に自動的に横長のサイズで再生します。	4:3 パンスキャン 4:3のテレビに接続し16:9ワイドスクリーン映像の視聴時に画像の左右をカットし、4:3のサイズで再生します。 4:3 レターボックス 4:3のテレビに接続し16:9ワイドスクリーン映像の視聴時に上下に黒い帯のある画像で再生します。 4:3 スクイーズ オート ワイド画面のテレビに接続し4:3映像または16:9ワイドスクリーン映像の視聴時に、4:3映像は比率を変えずに画面中央に、16:9映像は画面いっぱい再生します。 4:3 スクイーズ オン ワイド画面のテレビに接続したときに、映像サイズに関わらずワイド画面の中央に4:3の比率で再生します。
HDMI選択 接続したHDMI機器への映像信号出力形式を切り換えます。	YCbCr HDMI端子から色差形式(Y, Cb, Cr)の映像信号で出力します。	RGB HDMI端子からRGB形式の映像信号で出力します。
HDMI RGB セッティング HDMI端子から出力されるデジタルRGB映像レンジ(データ範囲)を設定します。“HDMI選択”で“RGB”を選んだときにこの設定を行ってください。	ノーマル 16(黒)~235(白)で出力します。	エンハンスド 0(黒)~255(白)で出力します。ご使用のテレビによっては黒色が浮く場合があります。その際には、“エンハンスド”にしてください。
HDMI オートフォーマット “HDMI解像度”で“オート”を選んだときにこの設定を行ってください。	最大 接続したHDMI機器に入力できる最大の解像度を検出し、HDMI出力解像度を自動で選びます。	パネル 接続したHDMI機器のパネル画素数を検出し、HDMI出力解像度を自動で選びます。



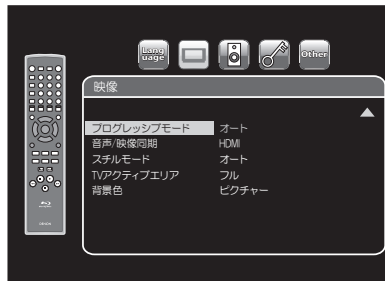
- 表内に で示されている設定項目は “QUICK” で選ぶことができます。
- 本機や接続機器の状態において利用できない項目は灰色で表示され、選択することができません。
- 色差映像出力で“コンポーネント出力”設定が“480i”に設定された場合、“TVアスペクト”の“4:3 スクイーズオン”や“4:3 スクイーズオート”は働きません。
- “HDMI選択”を“YCbCr”に設定しても、接続したHDMI機器がY、Cb、Crに対応していない場合はRGBで出力されます。

リモコンの操作ボタン

	SETUP :メニューを表示する メニューを解除する		:カーソルを移動する(上/下/左/右)		ENTER :設定を確定する		RETURN :ひとつ前のメニューに戻る
--	-------------------------------	--	---------------------	--	----------------	--	----------------------

ご使用になる前に
接続のしかた
基本操作のしかた
便利な操作のしかた
初期設定のしかた
その他について

映像つづき



設定項目	初期設定	その他の設定値
HDMI解像度 接続したHDMI機器が対応しているHDMI映像解像度に応じて設定します。	オート 接続したHDMI機器や“HDMIオートフォーマット”の設定によって、HDMI映像解像度を自動で設定します。	ソースダイレクト 再生メディアの録画された解像度で出力します。 480i 480インターレースで出力します。 480p 480プログレッシブで出力します。 720p 720プログレッシブで出力します。 1080i 1080インターレースで出力します。 1080p 1080プログレッシブで出力します。 1080p24 1080プログレッシブ24フレームで出力します。
HDMIディープカラー 色深度(ディープカラー)を拡張して出力するときに設定します。	オート 接続したHDMI機器がディープカラーに対応している場合、自動でHDMI出力端子からの映像信号をディープカラーで出力します。	オフ HDMI端子からの映像信号はディープカラーで出力しません。
コンポーネント出力 接続した機器が対応している色差映像解像度に応じて設定します。	480i 480インターレースで出力します。	480p 480プログレッシブで出力します。 720p 720プログレッシブで出力します。 1080i 1080インターレースで出力します。



- テレビの1枚の画面のことを「フレーム」とよび、1枚の「フレーム」は「フィールド」とよばれる2枚の画面から作られています。「スチルモード」の「オート」を選択しているときに静止画によっては、画像にブレを生じることがあります。
- “HDMI解像度”や“コンポーネント出力”の設定後、テレビ画面の映像がまったくでない、映像に悪い影響が生じるなどの症状がある場合は、本体前面の▶を5秒以上押ししてください。自動的にお買い上げ時の状態(初期設定)に切り換わります。
- “HDMI解像度”を“1080p24”に設定していても、BDが1080プログレッシブ 24フレームで記録されていない場合やDVDでは、対応している解像度で出力されます。
- “HDMI解像度”を“ソースダイレクト”、“1080p”または“1080p24”に設定しているときは、“コンポーネント出力”は“480i”に固定されます。
- コピー禁止信号のあるディスクを再生する場合、“コンポーネント出力”を“720p”や“1080i”に設定していても、色差映像出力端子からは、“480p”が出力されます。
- HDMIケーブルが接続されている場合、“コンポーネント出力”では、“HDMI解像度”で設定している解像度、または“480i”にのみ設定可能です。
- 色差出力端子とHDMI端子からの出力解像度が違う場合、“コンポーネント出力”はHDMI端子から出力されている解像度に切り換えられます。ディスクによっては、色差出力端子から何も出力されないことがあります。

設定項目	初期設定	その他の設定値
プログレッシブモード 記録された素材に最適なプログレッシブ映像出力を設定します。	オート 映画などの1秒間に24フレームで撮影されたフィルム素材を検知し、自動的に適切なモードが選ばれます。	映像1 1秒間に60フレームで記録された、ドラマやアニメなどのビデオ素材を再生をするときにこの設定を選びます。 映像2 ビデオ素材や1秒間に30フレームで撮影されたフィルム素材を再生をするときにこの設定を選びます。
音声/映像同期 音声信号に合わせ、どの映像信号を同期させるかを設定します。	HDMI 同期させる映像信号がHDMI出力端子の場合はこの設定にします。	プログレッシブ 同期させる映像信号が色差映像出力端子(480p/720p/1080i)の場合はこの設定にします。 インターレース 同期させる映像信号が色差映像出力端子(480i)または映像出力端子の場合はこの設定にします。 その他 HDMIおよび色差映像(プログレッシブ/インターレース)を同時に接続している場合はこの設定にします。音声信号はそれぞれの映像出力に最適なタイミングで出力され、同期はされません。
スチルモード 一時停止時の画質を設定します。	オート 表示する静止画の情報をもとに、“フィールド”または“フレーム”のどちらかで表示されます。	フィールド “オート”に設定しても画像のブレが発生するときに設定します。“フィールド”を選択すると、情報量が少ないため、画像は少し荒くなりますが、ブレを生じません。 フレーム 動きのない画像を特に高解像度で一時停止させたいときに設定します。“フレーム”を選択すると、画質は良くなりますが、2枚のフィールドを交互に出力させるため、画像にブレが生じることがあります。
TVアクティブエリア 480インターレースの映像出力時の水平方向の表示範囲を調整します。	フル 通常はこの設定にします。	ノーマル 業務用モニターなどに接続し、映像が乱れる場合はこの設定にします。
背景色 再生の停止中やオーディオ再生時、セットアップメニュー表示中などの画面で表示される背景を設定します。	ピクチャー DENONのロゴタイプを表示します。	青 背景を青色にします。 黒 背景を黒色にします。 灰 背景をグレー色にします。

リモコンの操作ボタン

SETUP (S)	:メニューを表示する :メニューを解除する	↑ ↓ ◀ ▶	:カーソルを移動する(上/下/左/右)	ENTER (R)	:設定を確定する	RETURN (R)	:ひとつ前のメニューに戻る
-----------	--------------------------	---------	---------------------	-----------	----------	------------	---------------


音声



設定項目	初期設定	その他の設定値
BD音声モード インタラクティブオーディオや第一音声、第二音声などが記録されたBDの再生時に、すべての音声を出力するか、第一音声のみを出力するかを設定します。	Mix音声出力 インタラクティブオーディオや第一音声、第二音声などをすべて出力します。	HD音声出力 第一音声のみを高品質で出力します。
HDMI音声出力 HDMI出力端子から出力される音声信号の音声フォーマットを設定します。	HDMIマルチ(ノーマル) HDMI出力端子からマルチチャンネルのビットストリーム音声信号、またはPCM音声信号を出力します。	HDMIマルチ(LPCM) HDMI出力端子からマルチチャンネルのリニアPCM音声信号を出力します。
		HDMI 2チャンネル HDMI出力端子からダウンミックスされた2チャンネルのリニアPCM音声信号を出力します。
デジタル出力 "音声ミュート"の選択時に設定します。同軸デジタルケーブルをDIGITAL OUT端子に接続して、音声のみをAVアンプなどで出力させる場合はこの設定を行います。HDMIケーブルで音声出力を行っている場合は、この設定は無効になります。	ビットストリーム BDに収録されたドルビーデジタルプラス/ドルビーTrueHD、またはDTS-HDの、ドルビーデジタル部分のみ、またはDTS部分のみをビットストリーム出力します。	音声ミュート HDMI出力端子からの音声信号の出力を停止し、デジタル音声出力端子からの回路に切り換えます。
		LPCM BDに収録されたドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHDまたは、DTS、DTS-HDをダウンミックスされた2chリニアPCMに変換し出力します。
7.1チャンネル 音声出力 アナログ7.1チャンネル音声出力端子から出力する音声形式を設定します。	マルチチャンネル マルチチャンネルで記録された音声信号をそのまま出力します。	2チャンネル ダウンミックスされた2チャンネルの音声信号を出力します。

設定項目	初期設定	その他の設定値
ダウンサンプリング リニアPCMで記録されたBDやDVDの再生時のデジタル音声出力を設定します。	オフ 著作権保護のないリニアPCMの信号が記録されたBDまたはDVDの再生時、192kHzまでの2ch音声については、変換せずにそのまま出力します。	オン 96kHzより大きなサンプリング周波数の入力に対応していないAVアンプなどにデジタル接続しているときは、この設定にします。リニアPCMの信号を48kHzに変換して出力します。
DRC (ダイナミックレンジコントロール) ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラスまたはドルビーTrueHDで記録された音声の場合にのみ有効です。音量範囲を圧縮することで夜間の出力を抑制しながら音量が低い部分の音域レベルを上げることができます。	オート ドルビーTrueHDの再生中に、本機がディスクのDRC情報を認識し、自動でDRC設定を"オン"または"オフ"に設定します。ドルビーTrueHD以外を再生した場合は"オフ"と同じ動作をします。	オフ(切) 記録されたオリジナル音源で出力します。
		オン(入) 記録された音声の強弱の幅(ダイナミックレンジ)を調整します。

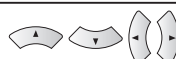


- 表内に  で示されている設定項目は "QUICK" で選ぶことができます。
- 本機や接続機器の状態において利用できない項目は灰色で表示され、選択することができません。
- お買い上げ時の"BD音声モード"の設定は"Mix音声出力"です。本機をHD対応アンプに接続して、高音質な第一音声のみを出力するときは、"BD音声モード"を"HD音声出力"に設定してご使用ください。

リモコンの操作ボタン



：メニューを表示する
メニューを解除する



：カーソルを移動する(上/下/左/右)



：設定を確定する



：ひとつ前のメニューに戻る

スピーカー設定

“HDMI音声出力”で“HDMIマルチ(LPCM)”または、“7.1チャンネル 音声出力”で“マルチチャンネル”に設定すると、以下の設定が可能です。

設定項目	初期設定	その他の設定値
スピーカー設定 お使いのスピーカーのサイズや性能に合わせた設定が可能です。低音域出力の強い大型スピーカーは“大”に、低音域出力の弱い小型スピーカーは“小”に設定します。スピーカーを接続していない場合は“なし”(サブウーファーは“なし”)を選んでください。	フロント センター サブウーファー サラウンド サラウンドバック 初期化	大 大 オン 大 大 設定したスピーカー設定をすべてお買い上げ時の設定に戻します。
チャンネルレベル お使いのスピーカーから出力される音量が同じに聞こえるように、それぞれのスピーカー音量の微調整をします。 ・[◀▶]で設定値を選択してください。	テストトーン フロント Lch センター フロント Rch サラウンド Rch サラウンドバック Rch サラウンドバック Lch サラウンド Lch サブウーファー 初期化	小 小 なし* なし* 小 なし* 小 なし* オフ テストトーンは出力しません。 マニユアル スピーカーから出力されるテストトーンのボリュームを調節しながら、チャンネルレベルを個別に選んで設定します。 オート 接続しているスピーカーから、自動でテストトーンが出力されます。ボリュームの調節は手動で行います。 0dB ~ -12dB 0dB ~ -12dB 0dB ~ -12dB 0dB ~ -12dB 0dB ~ -12dB 0dB ~ -12dB 0dB ~ -12dB 0dB ~ -12dB 設定したチャンネルレベル設定をすべてお買い上げ時の設定に戻します。

設定項目	初期設定	その他の設定値
ディレイ時間 リスニングポジションに応じて各スピーカーやサブウーファーから出力される音声のタイミングを最適にするためのパラメーターです。 ・[◀▶]で設定値を選択してください。	メートル (メートル法)	フィート (ヤード・ポンド法)
距離	フロント センター サラウンド サラウンドバック 初期化	約3.6m (12ft) 約3.6m (12ft) 約3.0m (10ft) 約3.0m (10ft) 0m ~ 約18m (0ft ~ 60ft) 0m ~ 約18m (0ft ~ 60ft) 0m ~ 約18m (0ft ~ 60ft) 0m ~ 約18m (0ft ~ 60ft) 設定したディレイ時間の数値をすべてお買い上げ時の設定に戻します。



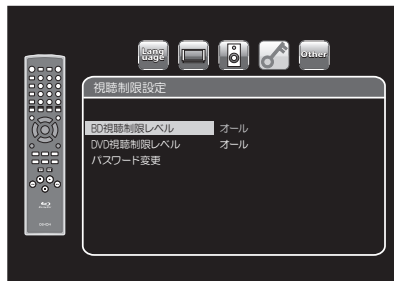
- テストトーンを停止させるには、[RETURN]を押してください。
- “スピーカー設定”のうち、『*』の付く設定値は、“7.1チャンネル 音声出力”に設定時のみ選択可能な設定値です。本機をHDMIケーブルで接続しているときは、“スピーカー設定”の“なし”は選択できません。
- 本機や接続機器の状態において利用できない項目は灰色で表示され、選択することができません。
【例】“HDMI マルチ(LPCM)”から行う“スピーカー設定”の設定では、サラウンドバックが出力できない5.1チャンネルAVアンプへの接続時など、設定が変更できない項目は灰色で表示され選択できません。
- “スピーカー設定”のうち、一つの項目の設定値を変えると、各項目に連動してその他の設定値も自動的に変更されます。
【例】“フロント”を“小”にした場合、“サブウーファー”が“オン”に設定されます。また、“センター”や“サラウンド”、“サラウンドバック”の“大”は、選択することができません。
- “ディレイ時間”の“フロント”、“サラウンド”、“サラウンドバック”の距離の差は4.5m(15ft)までの範囲で調整できます。また、“フロント”と“センター”の距離の差は1.5m(5ft)までの範囲で調整できます。
- 5.1チャンネルに対応したAVアンプやデコーダを接続している場合は、“スピーカー設定”の“サラウンドバック”は“なし”に設定してください。
- “ディレイ時間”の“センター”、“サラウンド”、“サラウンドバック”は“フロント”の設定値を超えて設定することはできません。
- “ディレイ時間”の“センター”、“サラウンド”、“サラウンドバック”の設定値は自動的に“フロント”と同じ値に設定されます。
【例】“フロント”を18m(60ft)にした場合、“センター”、“サラウンド”、“サラウンドバック”も18m(60ft)に設定されます。

リモコンの操作ボタン

	:メニューを表示する メニューを解除する		:カーソルを移動する(上/下/左/右)		:設定を確定する		:ひとつ前のメニューに戻る
--	-------------------------	--	---------------------	--	----------	--	---------------

視聴制限設定

パスワード設定することでお子様などに見せたくない成人向けBD、DVDの再生を制限(禁止)します。設定したレーティングを超えるディスクを再生した場合は再生を停止し、再生を行うにはパスワードを入力し、設定の解除が必要となります。



DVDレーティング

- オール : 制限なく、すべてのディスクの視聴ができます。
- 8 [ADULT] : 年齢に関係なく視聴ができます。
- 7 [NC-17] : 17歳未満のお子様は視聴できません。
- 6 [R] : 17歳未満のお子様は視聴するには保護者の指導が必要です。
- 5 [PGR] : 保護者同伴での視聴を推奨します。
- 4 [PG13] : 13歳未満のお子様の視聴には不適切なコンテンツが含まれています。
- 3 [PG] : 保護者の方の判断による視聴を提案します。
- 2 [G] : 一般的に視聴できる内容です。
- 1 [KID SAFE] : お子様は視聴されても問題のない内容です。

1 再生の停止中に[SETUP]を押す。

2 [◀/▶]で" "を選び、[ENTER]を押す。

3 [◀/▶]で" "を選び、[ENTER]を押す。

4 数字ボタン[0~9]で4桁のパスワードを入力する。

- 初めて視聴制限を設定されるときは、パスワードの設定が必要となります。「4737」以外の4桁のパスワードを入力してください。
- パスワードの入力を間違えた場合は、[CLEAR]を押すと再入力ができます。

5 [▲/▼]で"BD視聴制限レベル"、"DVD視聴制限レベル"または"パスワード変更"を選び、[ENTER]を押す。"BD視聴制限レベル"の場合は、[▲/▼]でお好みの設定を選び、[ENTER]を押す。

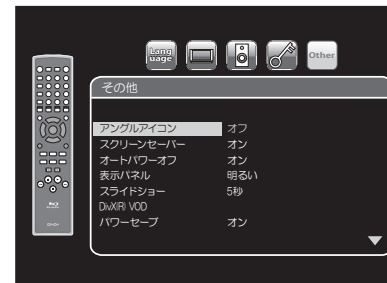
- "オール"を選んだ場合、視聴制限は「制限なし」に設定され、すべてのディスクの視聴ができます。
 - "視聴可能年齢設定"を選ぶと年齢入力画面が表示されます。数字ボタン[0~9]で設定したい年齢を入力してください。
【例】17歳以下の視聴制限があるBDを再生不可にする場合、数字ボタンの[0]、[1]、[7] (または、[1]、[7]、[ENTER])を押します。
"DVD視聴制限レベル"の場合は、[▲/▼]でお好みの設定を選び、[ENTER]を押す。
 - "DVD視聴制限レベル"の設定値については、上の表「DVDレーティング」をご覧ください。
- "パスワード変更"を選ぶとパスワードの変更ができます。
数字ボタン[0~9]で新しい4桁のパスワードを入力し、[ENTER]を押してください。

6 [SETUP]を押し、設定を完了する。



- 設定したパスワードは忘れないよう、必ずメモしてください。万が一お忘れになられた場合は、手順4で[4]、[7]、[3]、[7]を入力すると、お買い上げ時の状態に戻り、BD、DVDの視聴制限ともに"オール"に戻ります。手順4を繰り返し新しいパスワードを再設定したのち、もう一度"視聴制限設定"の設定をやり直してください。

その他



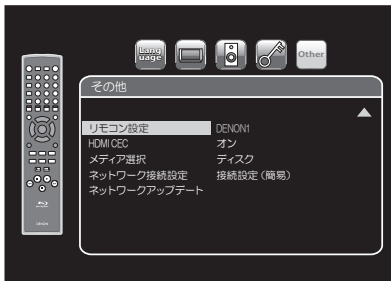
設定項目	初期設定	その他の設定値
アングルアイコン マルチアングル機能の付いたBD、DVDの再生中、カメラアングルを切り換えられる場合でアングルアイコンを表示するように設定します。	オフ アングルアイコンを表示しません。	オン アングルアイコンを表示します。
スクリーンセーバー* スクリーン(テレビ画面)に同じ映像を表示したまま放置するとき、テレビ画面の焼き付きを防ぐための設定です。	オン 操作をしない状態が約5分続くと、自動的にスクリーンセーバーが働きます。	オフ 操作をしない状態が続いても、スクリーンセーバーは実行されません。
オートパワーオフ 一定時間、本機が無操作の状態にあるとき本機の電源を切るように変更できます。	オン 無操作状態が約30分続くと、自動的に本機の電源を切ります。	オフ 操作をしない状態が続いても、本機の電源は自動的に切れません。
表示パネル 本体ディスプレイの照度を設定できます。リモコンの[DIMMER]で変更することも可能ですが、本機を再起動すると、"表示パネル"での設定が有効になります。	明るい ディスプレイを明るくします。	暗い ディスプレイを暗くします。 オート 再生中は暗く、停止中は明るくなります。
スライドショー JPEGファイルの表示間隔(時間)を設定します。	5秒 JPEGファイルの表示時間を約5秒ごとに切り換えます。	10秒 JPEGファイルの表示時間を約10秒ごとに切り換えます。
DivX(R) VOD	レジストレーションコード レジストレーションコードは○○○○○○○○○○ 詳しくはwww.divx.com/vodにアクセスして下さい。	DivX® VODのファイルをダウンロードする際に必要なレジストレーションコードを、この画面で確認します。 DivX® VODについて、詳しくは下記の公式サイトにてご確認ください。www.divx.com/vod
	ディアクティベーションコード ディアクティベーションコードは○○○○○○○○○○ 詳しくはwww.divx.com/vodにアクセスして下さい。	DivX® VODのファイルの再生を無効にしたあと、再度ファイルをダウンロードする際に必要なディアクティベーションコードを、この画面で確認します。 DivX® VODについて、詳しくは下記の公式サイトにてご確認ください。www.divx.com/vod
	ディアクティベーション	いいえ DivX® VODのファイルの再生を無効にしません。 はい DivX® VODのファイルの再生を無効にし、DivX® VODのファイルのダウンロードに必要な新たなレジストレーションコードを確認します。

*スクリーンセーバーは、再生中または一時停止中には機能しません。

リモコンの操作ボタン

SETUP :メニューを表示する :メニューを解除する	:カーソルを移動する(上/下/左/右)	ENTER :設定を確定する	RETURN :ひとつ前のメニューに戻る
-----------------------------------	---------------------	-------------------	-------------------------

その他つづき



設定項目	初期設定/設定項目	その他の設定値
パワーセーブ 本機のスタンバイ時にRS-232C端子からの信号入力を受け付けず、待機電力を軽減するように設定できます。	オン 本機のスタンバイ時、RS-232C端子からの入力信号を受け付けず、待機電力が軽減します。	オフ 本機のスタンバイ時、RS-232C端子からの入力信号を受け付けますので待機電力は軽減しません。
リモコン設定 リモコンで当社製のほかの機器と本機が同時に作動する場合に設定します。	DENON1 リモコンコードをDENON1に設定します。	DENON2 リモコンコードをDENON2に設定します。
HDMI CEC HDMIケーブルでHDMI CEC対応モニターと本機を接続している場合、HDMI CEC機能を使用することができます。	オン 本機とHDMI CEC対応モニターを連動して操作することができます。	オフ HDMI CEC機能をオフにします。
メディア選択 ディスクの再生またはSDカードの再生のいずれかを選択します。	ディスク BD、DVD、音楽用CDなどディスクの再生を行うときは、この設定を選択します。	SDカード SDカードからの再生を行うときは、この設定を選択します。
ネットワーク接続設定	接続テスト	ネットワーク接続が正しくできているか確認します。
	接続設定(簡易)	ネットワーク接続設定を一括してお買い上げ時の状態(初期設定)に簡易設定します。
	接続設定(詳細)	ネットワーク接続設定を、お使いのネットワーク環境の必要に応じて詳細に設定します。
	接続無効	ネットワーク接続を無効にします。
ネットワークアップデート	いいえ ネットワークアップデートを実行しません。	はい ネットワークアップデートを実行し、本機ファームウェアを更新します。



HDMI CECについて：

HDMIケーブルでHDMI CEC対応のテレビと接続し、「HDMI CEC」の設定を「オン」に設定している場合、下記のHDMI CEC機能を利用できます。(接続するテレビによっては機能しないことがあります。)

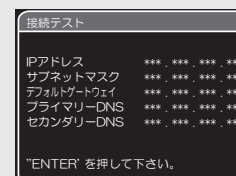
- **ワンタッチプレイ**
本機でディスクの再生を始めると、テレビの電源が入り、入力切替が自動的に切り換わります。
- **自動的に電源を切る**
本機の[POWER ON]を二秒以上長押しすると、テレビと本機の電源がオフになります。また、テレビの電源を切ると本機の電源も自動的にオフになります。
- **自動言語設定**
「OSD言語」を「オート」に設定している場合、本機のセットアップメニューの言語が、テレビ側で設定されている言語に自動的に設定されます。「OSD言語」の設定については [34ページ](#) をご覧ください。

ネットワーク接続設定

接続テスト

本機をLANケーブルで接続したあとに必ず行ってください。

- 1 再生の停止中に[SETUP]を押す。
- 2 [◀/▶]で「」を選び、[ENTER]を押す。
- 3 [◀/▶]で「」を選び、[ENTER]を押す。
- 4 [▲/▼]で「ネットワーク接続設定」を選び、[ENTER]を押す。
- 5 [▲/▼]で「接続テスト」を選び、[ENTER]を押す。
 - 接続テストが始まり、完了後にテスト結果が表示されます。
「成功」：ネットワーク接続が完了し、使用できる状態です。
「失敗」：接続と設定を確認してください。
 - テスト結果表示中に[ENTER]を押すと、設定値のリストが表示されます。
- 6 [SETUP]を押し、設定を完了する。



- 接続テストに成功した場合、ネットワーク接続は正常にお使いいただける状態になっています。その他のネットワーク接続設定を行う必要はありません。
- 接続テストに失敗した場合、本機のMACアドレスを、お使いのルーター側で設定が必要な場合があります。本機のMACアドレスは、セットアップメニュー内の「接続設定(詳細)」画面に表示されています。詳しくは、ルーターの説明書をご覧ください。

リモコンの操作ボタン

	:メニューを表示する メニューを解除する		:カーソルを移動する(上/下/左/右)		:設定を確定する		:ひとつ前のメニューに戻る
--	-------------------------	--	---------------------	--	----------	--	---------------

接続設定(簡易)

ネットワーク接続設定は、それぞれ下記の通り初期設定されています。(ほとんどの場合、初期設定のままです。初期設定で接続ができない場合は、「接続設定(詳細)」で、必要な設定を行ってください。☞ 40ページ)

"IPアドレス設定"	: 自動設定 (DHCP)
"DNS設定"	: 自動設定 (DHCP)
"プロキシ設定"	: 使用しない
"接続回線速度"	: オート
"BD-Live設定"	: アクセス許可

接続設定を初期設定に戻したいときは、下記の手順で設定を行ってください。

1 "接続テスト" ☞ 39ページ の手順1~4を行う。

2 [▲/▼]で"接続設定(簡易)"を選び、[ENTER]を押す。

- 接続テストが始まり、完了後にテスト結果が表示されます。
"成功": ネットワーク接続が完了し、使用できる状態です。
"失敗": 接続と設定を確認してください。
- テスト結果表示中に[ENTER]を押すと、設定値のリストが表示されます。

3 [SETUP]を押し、設定を完了する。



- "BD-Live設定"は、上記の手順に従っても初期値に戻りません。"BD-Live設定"の設定の変更については、☞ 41ページ をご覧ください。

接続設定(詳細)

お使いのネットワーク環境により、詳細なネットワーク設定が必要なときは、必要に応じて設定を変更してください。

□ IP アドレス設定

IPアドレスは、通常はルーターが自動で割り当てるので、設定の必要はありません。お使いのルーターにDHCPサーバー機能がないなど、自動でIPアドレスが割り当てられない場合は、下記の手順で設定してください。

1 再生の停止中に[SETUP]を押す。

2 [◀/▶]で" "を選び、[ENTER]を押す。

3 [◀/▶]で" "を選び、[ENTER]を押す。

4 [▲/▼]で"ネットワーク接続設定"を選び、[ENTER]を押す。

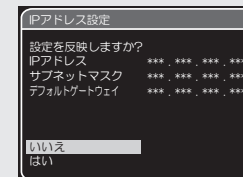
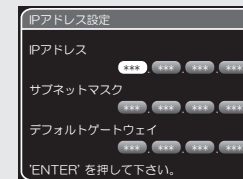
5 [▲/▼]で"接続設定(詳細)"を選び、[ENTER]を押す。

6 [▲/▼]で"IPアドレス設定"を選ぶ。

7 [ENTER]を繰り返し押し、"マニュアル"を選ぶ。

8 [▲/▼]で"IPアドレス"を選び、[ENTER]を押す。

- IPアドレス入力画面が表示されます。[▲/▼/◀/▶]と数字ボタン[0~9]でIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力してください。
- "IPアドレス"は、パソコンを確認し、パソコンと違った値を入力してください。"サブネットマスク"、"デフォルトゲートウェイ"には、それぞれパソコンと同じ値を入力してください。
- 入力完了後、[ENTER]を押すと、確認画面が表示されます。[▲/▼]で"はい"を選び[ENTER]を押します。



9 [SETUP]を押し、設定を完了する。

□ DNS 設定

通常は設定する必要はありませんが、お使いのルーターにDHCPサーバー機能がないなど、手動でプライマリDNSとセカンダリDNSを設定する必要がある場合は、下記の手順で設定してください。

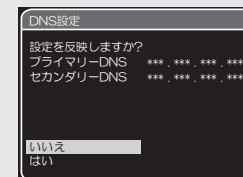
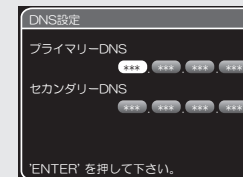
1 "IPアドレス設定" ☞ 40ページ の手順1~5を行う。

2 [▲/▼]で"DNS設定"を選ぶ。

3 [ENTER]を繰り返し押し、"マニュアル"を選ぶ。

4 [▲/▼]で"プライマリDNS"を選び、[ENTER]を押す。

- DNS入力画面が表示されます。[▲/▼/◀/▶]と数字ボタン[0~9]で"プライマリDNS"、"セカンダリDNS"を入力してください。
- パソコンを確認し、パソコンの優先DNSサーバーと代替DNSサーバーと同じ値を、それぞれ"プライマリDNS"と"セカンダリDNS"に入力してください。
- 入力完了後、[ENTER]を押すと、確認画面が表示されます。[▲/▼]で"はい"を選び[ENTER]を押します。



5 [SETUP]を押し、設定を完了する。

□ プロキシ設定

通常は設定する必要はありませんが、お使いのインターネットプロバイダーから指示がある場合は、下記の手順で設定してください。

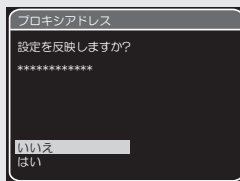
1 "IPアドレス設定" 40ページ の手順1～5を行う。

2 [▲/▼]で"プロキシ設定"を選ぶ。

3 [ENTER]を繰り返し押し、"使用する"を選ぶ。

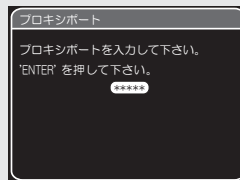
□ プロキシアドレス

- [▲/▼]で"プロキシアドレス"を選び[ENTER]を押します。
- 入力画面が表示されます。下記のボタンで、プロキシアドレスを入力してください。
[▲/▼/◀/▶] : 選択項目の移動
数字ボタン[0~9]: 数字の入力
[ENTER] : 選択されている数字/文字の決定
[BLU] : 入力した数字/文字を消す
[RED] : 入力したすべての数字/文字を消す
[GRN] : 入力する文字の切り替え(abc→ABC→@!?)
[YEL] : 入力した数字/文字を決定する
- 入力完了後、[YEL]を押すと、確認画面が表示されます。
[▲/▼]で"はい"を選び[ENTER]を押すと、"プロキシ設定"の画面に戻ります。



□ プロキシポート

- [▲/▼]で"プロキシポート"を選び[ENTER]を押します。
- 入力画面が表示されます。数字ボタン[0~9]で、プロキシポートを入力してください。
- 入力完了後、[ENTER]を押します。



4 [SETUP]を押し、設定を完了する。



IPアドレス設定とDNS設定について：

- 0～255までの数字を入力してください。255より大きい数字を入力した場合、自動的に255として入力されます。
- 手動で入力した値は、設定を"自動設定 (DHCP)"に変更しても保存されます。
- 間違った数字を入力した場合は、[CLEAR]を押してください。(自動的に"0"に戻ります。)
- 1つのセル内に1桁または2桁の数字を入力し、次のセルに移動するときは、[▶]を押してください。
- "IPアドレス"、"デフォルトゲートウェイ"、または"プライマリーDNS"で入力した値が初期設定の値と同じ場合は、"IPアドレス設定"は"自動設定 (DHCP)"に設定されます。
- "IPアドレス設定"が"マニュアル"に設定されている場合、"DNS設定"も自動的に"マニュアル"に設定されます。また、"IPアドレス設定"が"自動設定 (DHCP)"に設定されている場合は、"DNS設定"は"自動設定 (DHCP)"もしくは"マニュアル"に設定できます。

プロキシ設定について：

- プロキシポートでは、0～65535までの数字を入力してください。65535より大きい数字を入力した場合、自動的に65535として入力されます。
- お使いのネットワーク環境によっては、プロキシポートで選択したポートが使用できない場合もあります。

□ 接続回線速度

通常は設定する必要はありませんが、接続するネットワークの環境に合わせて設定が必要な場合は、下記の手順で設定してください。

1 "IPアドレス設定" 40ページ の手順1～5を行う。

2 [▲/▼]で"接続回線速度"を選び、[ENTER]を押す。

3 [▲/▼]でお好みの設定を選び、[ENTER]を押す。

- "オート"：お使いのネットワーク環境に合わせて、自動で回線速度を設定します。
- "10BASE Half"：回線速度を"10BASE Half"に設定します。
- "10BASE Full"：回線速度を"10BASE Full"に設定します。
- "100BASE Half"：回線速度を"100BASE Half"に設定します。
- "100BASE Full"：回線速度を"100BASE Full"に設定します。

4 [SETUP]を押し、設定を完了する。

□ BD-Live 設定

BD-Live機能で使用するインターネットアクセスを制限できます。

1 "IPアドレス設定" 40ページ の手順1～5を行う。

2 [▲/▼]で"BD-Live設定"を選び、[ENTER]を押す。

3 [▲/▼]でお好みの設定を選び、[ENTER]を押す。

- "アクセス許可"：BD-Liveコンテンツからの全てのインターネットアクセスを許可します。
- "アクセス許可 (制限あり)"：証明書をもつBD-Liveコンテンツからのインターネットアクセスのみ許可します。
- "アクセス禁止"：BD-Liveコンテンツからの全てのインターネットアクセスを禁止します。

4 [SETUP]を押し、設定を完了する。

□ 接続無効

全てのネットワーク接続を無効にします。

1 "IPアドレス設定" 40ページ の手順1～4を行う。

2 [▲/▼]で"接続無効"を選び、[ENTER]を押す。

3 [SETUP]を押し、設定を完了する。



- ネットワーク接続を再度有効にするには、"ネットワーク接続設定"を"接続設定 (簡易)"か"接続設定 (詳細)"に設定してください。

ネットワークアップデート

インターネットを利用し、本機のファームウェアのバージョンをアップデートします。

1 再生の停止中に[SETUP]を押す。

2 [◀/▶]で"**CUIS TOM**"を選び、[ENTER]を押す。

3 [◀/▶]で"**Other**"を選び、[ENTER]を押す。

4 [▲/▼]で"ネットワークアップデート"を選び、[ENTER]を押す。

- 確認画面が表示されます。

5 [▲/▼]で"はい"を選び、[ENTER]を押す。

- ファームウェアアップデートが必要かを確認します。

6 確認画面が表示されます。[▲/▼]で"はい"を選び、[ENTER]を押す。

- ファームウェアのダウンロードを開始します。

7 ダウンロード完了後、確認画面が表示されます。[ENTER]を押す。

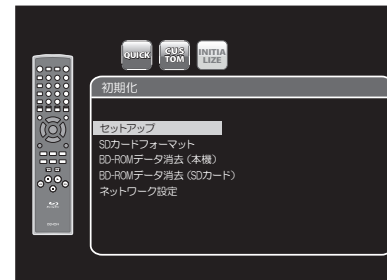
- 本機のファームウェアバージョンのアップデートを開始します。
- アップデートが完了するまで、数分かかることがあります。ディスプレイに"100%"と表示されるまでお待ちください。
- アップデート完了後、本機は自動的に再起動します。



- "ネットワークアップデート"実行中は、電源コードとLANケーブルを抜かないでください。
- ファームウェアをアップデートしても、全ての設定内容は変わりません。
- 再起動後、ディスプレイが自動的に開きますが、故障ではありません。

初期化

本機の設定をお買い上げ時の設定に戻すときや、SDカードのフォーマット(初期化)などを行います。



1 再生の停止中に[SETUP]を押す。

2 [◀/▶]で"**INITIALIZE**"を選び、[ENTER]を押す。

3 [▲/▼]でお好みの設定を選び、[ENTER]を押す。

- | | |
|----------------------|---|
| "セットアップ" | : 視聴制限設定とネットワーク接続設定を除く本機設定をすべてお買い上げ時の設定に戻します。 |
| "SDカードフォーマット" | : 本機に挿入しているSDカードをフォーマットします。 |
| "BD-ROMデータ消去(本機)" | : BDビデオの再生時に使用されるメモリーデータ(本機)を消去します。 |
| "BD-ROMデータ消去(SDカード)" | : BDビデオの再生時に使用されるメモリーデータ(SDカード)を消去します。 |
| "ネットワーク設定" | : ネットワーク設定をすべてお買い上げ時の設定に戻します。 |

4 [▲/▼]で"はい"を選び、[ENTER]を押す。

- 初期化をキャンセルする場合は"いいえ"を選び、[ENTER]を押してください。

5 [SETUP]を押し、設定を完了する。




- "SDカードフォーマット"と"BD-ROMデータ消去(SDカード)"の実行中はSDカードを抜かないでください。SDカード上のデータを損傷する事があります。
- ブルーレイ・ディスクが本機に挿入されているときは、"SDカードフォーマット"と"BD-ROMデータ消去(SDカード)"を実行することができません。

言語コード一覧	
言語名 (順不同)	言語コード
アファル語	4747
アブバジア語	4748
アフリカーンス語	4752
アムハラ語	4759
アラビア語	4764
アッサム語	4765
アイマラ語	4771
アゼルバイジャン語	4772
バジキール語	4847
ベラルーシ語	4851
ブルガリア語※	4853
ビハーリー語	4854
ビスラマ語	4855
ベンガル語、バングラ語	4860
チベット語	4861
ブルトン語	4864
カタロニア語	4947
コルシカ語	4961
チェコ語※	4965
ウェールズ語	4971
デンマーク語※	5047
ドイツ語※	5051
ブータン語	5072
ギリシャ語※	5158
英語※	5160
エスペラント語	5161
スペイン語※	5165
エストニア語	5166
バスク語	5167
ペルシャ語	5247
フィンランド語※	5255
フィジー語	5256
フェロー語	5261
フランス語※	5264
フリジア語	5271

言語名 (順不同)	言語コード
アイルランド語※	5347
スコットランドゲール語	5350
ガルシア語	5358
グアラニ語	5360
グジャラート語	5367
ハウサ語	5447
ヒンディ語	5455
クロアチア語	5464
ハンガリー語※	5467
アルメニア語	5471
国際語	5547
国際語	5551
イヌピック語	5557
インドネシア語	5560
アイスランド語※	5565
イタリア語※	5566
ヘブライ語	5569
日本語※	5647
イディッシュ語	5655
ジャワ語	5669
グルジア語	5747
カザフ語	5757
グリーンランド語	5758
カンボジア語	5759
カナダ語	5760
韓国語※	5761
カシミール語	5765
クルド語	5767
キルギス語	5771
ラテン語	5847
リンガラ語	5860
ラオス語	5861
リトニア語	5866
ラトビア語、レット語	5868
マダガスカル語	5953
マオリ語	5955
マケドニア語	5957

言語名 (順不同)	言語コード
マラヤーラム語	5958
モンゴル語	5960
モルダビア語	5961
マラータ語	5964
マレー語	5965
マルタ語	5966
ミャンマー語	5971
ナウル語	6047
ネパール語	6051
オランダ語※	6058
ノルウェー語※	6061
プロバンス語	6149
アフアン語、オロモ語	6159
オリヤー語	6164
パンジャブ語	6247
ポーランド語※	6258
パシュトー語	6265
ポルトガル語※	6266
ケチュア語	6367
ラエティ=ロマン語	6459
キルンディ語	6460
ルーマニア語※	6461
ロシア語※	6467
キニャルワンダ語	6469
サンスクリット語	6547
シンド語	6550
サンゴ語	6553
セルビアクロアチア語	6554
シンハラ語	6555
スロバキア語※	6557
スロベニア語	6558
サモア語	6559

言語名 (順不同)	言語コード
ショナ語	6560
ソマリ語	6561
アルバニア語	6563
セルビア語	6564
シスワティ語	6565
セストゥ語	6566
スندا語	6567
スウェーデン語※	6568
スワヒリ語	6569
タミール語	6647
テルグ語	6651
タジク語	6653
タイ語	6654
ティグリニャ語	6655
トゥルクメン語	6657
タガログ語	6658
セツワナ語	6660
トンガ語	6661
トルコ語※	6664
ゾンガ語	6665
タタール語	6666
トウイ語	6669
ウクライナ語	6757
ウルドゥ語	6764
ウズベク語	6772
ベトナム語	6855
ボラピュク語	6861
ウォロフ語	6961
コーサ語	7054
ヨルバ語	7161
中国語※	7254
ズール語	7267

 [AUDIO]または[SUBTITLE]を押したとき、※の付いている言語はそれぞれの言語名が表示され、それ以外の言語は"---"で表示されます。

その他について

故障かな？と思ったら

各接続は正しいですか。

取扱説明書にしたがって正しく操作していますか。

本機が正常に動作しないときは、次の表にしたがってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もしお買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客さま相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

現象	チェック項目	関連ページ
電源が入らない。	<input type="checkbox"/> 電源コードは本体背面にしっかりと接続されていますか。 <input type="checkbox"/> 電源プラグを電源コンセントへしっかりと差し込んでください。 <input type="checkbox"/> 安全保護装置が働いていることがあります。このときは一度電源プラグをコンセントから抜き、5～10秒後に再びコンセントに差し込んでください。	17 - -
映像が映らない。	<input type="checkbox"/> テレビの電源は入っていますか。 <input type="checkbox"/> テレビの入力切替を本機を接続した外部入力に切り換えていますか。 <input type="checkbox"/> HDMIケーブルの接続を確認してください。 <input type="checkbox"/> 映像/コンポーネント映像ケーブルの接続を確認してください。 <input type="checkbox"/> ピュアダイレクトの設定が、「VideoOff」または「All Off」になっている場合は、「Normal」または「Disp.Off」に切り換えてください。 <input type="checkbox"/> 本機を接続したテレビやAVアンプなどはHDCPIに対応していますか。HDCPIに対応していない機器を接続した場合は、正常に映像が出されません。お手持ちのテレビやAVアンプなどについては取扱説明書をご覧ください。	- - 14 13 25 15
映像が映らない。 または、映像が乱れる。 BDビデオやDVDビデオの映像が、白黒画像になる。	<input type="checkbox"/> 早送り/早戻しをした直後などでは、多少画像が乱れることがありますが、故障ではありません。 <input type="checkbox"/> 本機の映像/色差映像出力は直接テレビに接続するか、AVアンプを経由してテレビに接続してください。VTR(ビデオテープレコーダー)経由で接続しないでください。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをVTRを通して再生するとコピーガードシステムにより、画面が乱れることがあります。 <input type="checkbox"/> 本機に対応していないディスクや、異なるリージョンコードのディスクが入っていませんか。(本機に対応しているリージョンコードは、BDビデオは「A」、DVDビデオは「2」または「ALL」です。)	- 13 6、7
音声がでない。 または、聞きづらい。	<input type="checkbox"/> HDMIケーブルの接続を確認してください。 <input type="checkbox"/> 音声接続をしている機器やスピーカーの接続を確認してください。 <input type="checkbox"/> 音声接続をしている機器の電源は入っていますか。また、入力切替を本機を接続した入力に切り換えていますか。 <input type="checkbox"/> 音声出力の選択は正しく行われていますか。	14 13、16 -
再生中に画像が動かなくなる。	<input type="checkbox"/> ディスクにキズがあったり、指紋などで汚れている場合は、正常に再生できない場合があります。ディスクを清掃したり、キズのないディスクと取り替えて再生してください。 <input type="checkbox"/> ディスクに記録されたデータの中に、問題がある可能性があります。	8 -
▶を押しても、再生が始まらない。 または、すぐに停止する。	<input type="checkbox"/> 本機内部またはディスクに結露が発生していませんか。(電源を入れたまま、1～2時間放置してください。) <input type="checkbox"/> ディスクにキズがあったり、指紋などで汚れている場合は、正常に再生できない場合があります。ディスクを清掃したり、傷のないディスクと取り替えて再生してください。 <input type="checkbox"/> ディスクが裏返しに入っていないですか。再生したい記録面を下にして正しく入れ直してください。 <input type="checkbox"/> 再生できないディスクが入っていませんか。6、7ページにあるマークがついたディスク以外は再生できません。	5 8 7 6、7
字幕が出ない。	<input type="checkbox"/> 字幕の入っていないBDビデオ、DVDビデオまたはDivX®ファイルは字幕が表示されません。 <input type="checkbox"/> 字幕言語の設定が「オフ」になっているので、字幕を設定してください。	21 34

現象	チェック項目	関連ページ
SDカードが読み込まれない。	<input type="checkbox"/> 互換性のないカードが入っている恐れがあります。または、本機が対応していない記録フォーマットは認識しません。	7
ディスクを取り出しても壁紙の画面が表示されない。	<input type="checkbox"/> 内部エラーが発生している可能性があります。一度電源を切り、しばらく経ってから再び電源を入れてください。	-
リモコンで操作できない。	<input type="checkbox"/> リモコン受光部に向けて操作していますか。 <input type="checkbox"/> リモコン受光部との距離が7m以内のところで操作してください。 <input type="checkbox"/> リモコン受光部と間にある障害物を取り除いてください。 <input type="checkbox"/> 乾電池が消耗していますので、新しい乾電池に交換してください。 <input type="checkbox"/> 乾電池は、 \oplus \ominus を確かめて正しく入れてください。 <input type="checkbox"/> リモコンと本体のリモコンコードは合っていますか。	8 8 - 8 8 11
各ボタン操作ができない。 または、本機が反応しない。	<input type="checkbox"/> ディスクによってはその操作を禁止している場合があります。 <input type="checkbox"/> 安全保護装置が働いていることがあります。このときは、一度電源プラグをコンセントから抜き、5～10秒後に再びコンセントに差し込んでください。	18 -
再生中に操作ができない。	<input type="checkbox"/> ディスクによってはその操作を禁止している場合があります。 <input type="checkbox"/> ディスクの説明書をお読みください。	18 -
再生可能ディスクが読み込まれない。	<input type="checkbox"/> ピックアップレンズが汚れている可能性があります。修理に出される前に、市販のレンズクリーナーでレーザーピックアップを清掃してください。	-
アングルを変えて見ることができない。	<input type="checkbox"/> 複数のアングルが記録されていないBDビデオまたはDVDビデオは、アングルを切り換えられません。また、複数のアングルは特定の場面のみに記録されているものがあります。	21、38
タイトルを選択しても再生が始まらない。	<input type="checkbox"/> 視聴制限によって再生を禁止している可能性があります。「視聴制限設定」の設定を確認してください	38
視聴制限で設定したパスワードを忘れた。	<input type="checkbox"/> セットアップメニューの  のパスワード入力画面で[4]、[7]、[3]、[7]を入力すると、登録されていたパスワードが消去されます。新たなパスワードを設定し直してください。	38
ネットワーク接続ができない。	<input type="checkbox"/> LANケーブルの接続は正しくできていますか。 <input type="checkbox"/> モデムまたはルーターの電源は入っていますか。 <input type="checkbox"/> ネットワーク設定は正しくできていますか。 <input type="checkbox"/> モデムまたはルーターの接続は正しく出来ていますか。 <input type="checkbox"/> 「BD-Live設定」を確認してください。	16 - 39 16 41
パソコンでインターネット接続中本機がネットワークに繋がらない。	<input type="checkbox"/> お使いのインターネットサービスのご契約内容を確認し、複数の端末からの同時接続がプロバイダーで防がれていないか確認してください。	-
BD-Live機能が使えない。	<input type="checkbox"/> 十分な容量(1GB以上)があるSDカードは挿入されていますか。 <input type="checkbox"/> SDカードのライトプロテクトは解除されていますか。	-
BDビデオの再生またはデータのダウンロードが正しく行われない。	<input type="checkbox"/> SDカードは挿入されていますか。 <input type="checkbox"/> BDビデオの中には、再生時にSDカードを使用するものがあります。再生中はSDカードを抜かないでください。	27 28
「HDCP NOK」がディスプレイに表示される。	<input type="checkbox"/> 「HDCP NOK」の表示は、下記の条件下で表示されます。 - HDMIケーブルで接続している機器がHDCPIに対応していないとき。 - HDMIケーブルで接続している機器がHDCP SRMIによって不適合と認識されたとき。 - HDMIケーブルで接続している機器が何らかの理由で認識されないとき。	10

- 機能によっては一部の操作状態で利用できないことがありますが、これは故障ではありません。正しい操作方法については、本文の説明をよくお読みください。
- ディスクにより音量が異なることがありますが、ディスクの記録方式の違いによるもので故障ではありません。
- プログラム再生中は、ランダム再生や希望するトラックまたはファイルからの再生はできません。
- ディスクによっては使えない機能もあります。

保証とサービスについて

- 1 この商品には保証書を添付しております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。
- 2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
ただし、保証期間内でも保証書を添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。
- 3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
- 4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。
- 5 お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- 6 この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 7 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。



主な仕様

本体

信号形式:	NTSC
対応ディスク/ メモリーカード:	(1) BD/DVDビデオ: 12cm 片面1層、12cm 片面2層、12cm 両面2層(片面1層) / 8cm 片面1層(DVD) (2) BD-R: 12cm / 8cm 片面1層、片面2層 (3) BD-RE: 12cm / 8cm 片面1層、片面2層 (4) DVD-R: 12cm / 8cm 片面1層、片面2層 (5) DVD-RW: 12cm / 8cm 片面1層 (6) 音楽用CD (CD-DA): 12cm / 8cm ディスク (7) CD-R/-RW: 12cm / 8cm ディスク (8) メモリーカード: SDメモリーカード / SDHCメモリーカード / miniSDカード / microSDカード

映像出力: Y出力レベル: 1Vp-p (75Ω)
出力端子: ピンジャック1系統

色差映像出力: Y出力レベル: 1Vp-p (75Ω) Pb/Cb、Pr/Cr出力レベル: 0.7Vp-p (75Ω)
出力端子: ピンジャック1系統

HDMI出力: 出力端子: 19ピンHDMI端子1系統
HDMI Ver. 1.3a
(ディープカラー、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHD、DTS-HD対応)

LAN端子(ETHERNET): 1系統(10BASE-T/100BASE-TX)

アナログ音声出力: 出力レベル: 2Vrms (10kΩ) 出力端子: ピンジャック1系統
2チャンネル(L/R) 7.1チャンネル(FL/FR/C/SL/SR/SW/SBL/SBR) 出力端子: ピンジャック1系統

音声出力特性: (1) 周波数特性:
① BD(マルチリニアPCM): 20Hz~22kHz(48kHzサンプリング)
20Hz~44kHz(96kHzサンプリング)
20Hz~88kHz(192kHzサンプリング)
② DVD(マルチリニアPCM): 20Hz~22kHz(48kHzサンプリング)
20Hz~44kHz(96kHzサンプリング)
20Hz~20kHz
③ 音楽用CD:
(2) S/N比: 115dB
(3) 全高調波歪率: 1kHz 0.004%
(4) ダイナミックレンジ: 100dB(BD/DVD)、98dB(CD)

デジタル音声出力: 出力端子: 同軸端子1系統

電源: AC100V 50/60Hz

消費電力: 28W(スタンバイ時:約0.8W、パワーセーブオンスタンバイ時:約0.75W)
(電気用品安全法による)

外形寸法: 435(幅)×106(高さ)×309.3(奥行き)mm(突起物を含む)

質量: 4.8kg

リモコン(RC-1130)

リモコン方式: 赤外線パルス式
電源: 単3形乾電池2本使用
外形寸法: 52(幅)×227(高さ)×30(奥行き)mm
質量: 138g(乾電池を含む)

用語の解説

数字

4:3パンスキャン

4:3のテレビと本機を接続しワイド(16:9)ディスクを再生したときに、ディスクの制御情報にしたがって再生画像の左右をカットし4:3のサイズにする機能です。

4:3レターボックス

4:3のテレビと本機を接続しワイド(16:9)ディスクを再生したときに、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です。

アルファベット

AAC (アドバンストオーディオコーディング)

わが国のデジタル放送(BS、CS、地上波)で採用されている音声高圧縮率符号化技術です。CD音質の音声データを約1/12まで圧縮することができ、現在のMPEG標準の中でも最も性能の良い音声符号化方式です。

AVCHD

AVCHDは、ビデオカメラで撮影した高精細なハイビジョン映像を8cmDVD記録用ディスクまたはSDカード上に記録できる、新しいフォーマットの名称です。

AVCREC

AVCRECは、ハイビジョン映像をDVDに記録するための規格の名称です。

BD-J (Java) (ビーディージェイ)

BDビデオでは、Javaアプリケーションを利用した、よりインタラクティブな機能(ゲームなど)を楽しめるソフトがあります。

BD-Live

BD-Liveは、BDビデオ(BD-ROM Profile 2.0)の新しい再生機能で、インターネットに接続し追加映像や追加字幕のダウンロード、BD-Jによる通信対応ゲームなどのインタラクティブな機能を利用できます。

BONUSVIEW

BONUSVIEWは、BDビデオ(BD-ROM Profile 1.1)の新しい機能で、ディスクに記録されたセカンダリー映像を本編と同時に画面内に表示し、楽しむことができます。

Deep Color (ディープカラー)

従来の8ビットの色数を超える色調表現が可能な技術で、色縞のない、より自然に近い色を再現することができます。

DHCP

インターネットに接続した機器にIPアドレスなどの必要なネットワーク情報を自動的に割り当てるプロトコルのことです。

DNSサーバー

DNSサーバーは、インターネット上でドメインネームからIPアドレスを調べる機能を持ったサーバーです。

DTS (ディーティーエス)

Digital Theater Systemの略で、DTS社が開発した、デジタル音声システムです。DTS対応アンプなどと接続して再生すると、映画館のような正確な音場定位と臨場感のある音響効果が得られます。

DTS-HD (ディーティーエスエイチディー)

ブルーレイ・ディスクのオプション音声として採用された、従来のDTSをさらに高音質・高機能化したデジタル音声技術です。多チャンネル、高データ転送速度、高サンプリング周波数や、ロスレス・オーディオ再生をサポートしています。ブルーレイ・ディスクでは、最大7.1チャンネルまで対応しています。

DivX®

DivX®は、高画質な映像を小さいサイズに圧縮して記録することができるビデオコーデックです。

HDCP (エイチディーシーピー)

機器間でデジタル信号を送受信する際に、信号を暗号化し、コンテンツが不正にコピーされるのを防止する著作権保護技術の一つです。

HDMI (エイチディーエムアイ)

High-Definition Multimedia Interfaceの略で、BD/DVDレコーダーやBD/DVDプレーヤーなどと接続できるAV用のデジタルインターフェースです。映像信号と音声信号を1本のケーブルで接続できます。

IPアドレス

IPアドレスは、ネットワークに接続された機器を識別する番号のことで、

LAN (Local Area Network)

一定範囲内(会社や学校、家庭内等)のネットワークのことです。

MPEG (エムペグ)

Moving Picture Experts Groupの略で、動画音声圧縮方式の国際標準です。BDやDVDの映像は、この方式で記録されています。

ア行

アスペクト比

テレビ画面の縦横比率です。従来のテレビ画面の比率は4:3で、ワイドスクリーンテレビの画面の比率は16:9です。

インターレース (飛び越し走査)

テレビに映像を映すときに従来から行われている方式で、映像の1フレームを2つのフィールドとして半分ずつ表示します。

インタラクティブオーディオ

BDビデオのタイトルなどに収録されている、操作しているときのクリック音などの音声です。

カ行

拡張子

OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表す文字符号です。ピリオドとアルファベットで構成されています。

ゲートウェイ

インターネットアクセスする際に使用する機器(ルーター等)のIPアドレスのことをいいます。

サ行

サブネットマスク

IPアドレスをネットワークアドレスとホストアドレスに識別するための数値です。

視聴年齢制限

視聴者の年齢に合わせ、暴力シーンなどを含むBDビデオやDVDビデオの再生を制限する機能です。本機では、BDビデオは1~254、DVDビデオは1~8のレベルで視聴制限を設定できます。

タ行

タイトル

BDビデオやDVDビデオに複数の映画が入っているときなど、各映画の題名(タイトル)などをいいます。

ダイナミックレンジ

ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。デシベル(dB)単位で測定されます。

ダウンミックス

サラウンド音声のチャンネル数を、より少ないチャンネル数に変換して再生する機能です。

チャプター

タイトルの中にある章をチャプターといいます。

ドルビーTrueHD

ブルーレイ・ディスクのオプション音声として採用されたロスレス符号化技術で、7.1チャンネルに対応しています。

ドルビーデジタル (5.1chサラウンド)

ドルビーラボラトリーズが開発した立体音響効果のことです。最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオシステムです。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして採用されているドルビーデジタルと同一のシステムです。

ドルビーデジタルプラス

ドルビーデジタルの拡張版で、ブルーレイ・ディスクのオプション音声として採用された高音質デジタル音声技術です。

ハ行

ピクチャー・イン・ピクチャー

主映像で本編を視聴しながら、副映像でメイキングやコメンタリーなどの映像を視聴するBDビデオの機能です。

ビットレート

ディスクに記録された映像・音声のデータを1秒間に読み込む量をあらわします。

ファイナライズ

DVD録画機器において録画したディスクをほかのBD/DVDプレーヤーなどで再生できるようにする場合に行います。

プレイリスト

オリジナルの映像とは別に編集用に作成された映像のことで、オリジナルの映像のお好みのシーンを順番に再生することができます。

ブルーレイ・ディスク

片面1層のディスクで25GBの容量を持つ、ハイビジョン映像の映画やゲームなどの記録に対応したディスクです。

プログレッシブ (順次走査)

映像の1フレームを1つの画像として表示するためちらつきが少なく、高画質の映像で再生します。

ポップアップメニュー

BDでは、本編を背景で再生しながら画面手前にメニューを表示し、各種設定やチャプターを選択することができます。

ラ行

リージョンコード

BDビデオやDVDビデオを再生できる国や地域を示すコードです。本機では、BDビデオのリージョンコードは「A」、DVDビデオのリージョンコードは「2」または「ALL」のビデオソフトを再生することができます。

リニアPCM

圧縮していないPCM (Pulse Code Modulation) 信号です。CDの音声と同じ方式ですが、サンプリング周波数が192kHzや96kHz、48kHzで記録されており、CDよりも高音質の音声が楽しめます。

リモコンコード

本機の近くに、当社製のほかのBDプレーヤーなどがある場合、本機のリモコンを操作したときに、そのプレーヤーが同時に動作する場合があります。本体とリモコンを、それぞれのリモコンコードに変更することで、2台のプレーヤー本体が同時に動かないように設定できます。本機側とリモコン側のリモコンコードが異なる場合は、リモコンで本体の操作ができなくなります。

索引

英数 ページ

1080プレグレッシブ24.....	14
AAC.....	7
A-Bリピート.....	30
BD-RE/-R.....	6
BDビデオ.....	6
BD-Live.....	28
CD-DA.....	6
CD-R/-RW.....	6
Deep Color.....	14
DivX®.....	22
DivX® VOD.....	23
DRC.....	36
DTS.....	15
DTS-CD.....	7
DTS-HD.....	15
DVD-R/-RW.....	6
DVDビデオ.....	6
HDMI映像解像度.....	14
HDMIケーブル.....	14
HDMI CEC.....	39
JPEG.....	22
MP3.....	22
SDカード.....	7
TVアクティブエリア.....	35
TVアスペクト.....	34
VRモード.....	20
WMA.....	22
x.v.Color.....	6

あ行 ページ

頭出し.....	29
アングル.....	21
一時停止.....	19
インターレース.....	35
インタラクティブオーディオ.....	24
映像ケーブル.....	13
映像設定.....	34

オリジナル.....	20
音声/映像同期.....	35
音声ケーブル.....	13
音声言語.....	20
音声信号.....	15
音声設定.....	36

か行 ページ

拡張子.....	22
画質設定.....	24
カスタムメニュー.....	33
画像サイズ.....	27
画面表示.....	31
ガンマ補正.....	25
クイックメニュー.....	33
言語コード.....	43
言語設定.....	34
コマ送り.....	29
コンポーネント映像ケーブル.....	13
コントラスト.....	25

さ行 ページ

サーチ.....	29
再生.....	18
再生(BD/DVD/AVCHD).....	19
再生(DVD-R/-RW AVCRECモード/VRモード).....	20
再生(MP3/JPEG/WMA/DivX®).....	23
再生(SDカード).....	27
再生(ピクチャーCD).....	26
色差映像出力解像度.....	35
視聴制限.....	38
字幕言語.....	21
字幕スタイル.....	21
シャープネス.....	25
主音声.....	21
仕様.....	45
初期化.....	42
ズーム.....	26
ステレオ音声.....	21
スピーカー設定.....	37
スライド効果.....	27

スロー再生.....	30
セットアップレベル.....	25
接続.....	12
ソースダイレクト.....	35

た行 ページ

ダイアログスピード.....	24
タイトル.....	19
チャプター.....	19
チャンネルレベル.....	37
停止.....	19
ディスクメニュー.....	19
ディスプレイ.....	10
ディマー.....	26
ディレイ時間.....	37
同軸デジタルケーブル.....	16
トップメニュー.....	19
トラック.....	22
ドルビーTrueHD.....	15
ドルビーデジタル.....	15
ドルビーデジタルプラス.....	15

な行 ページ

ネットワークアップデート.....	42
ネットワーク接続設定.....	39
ノイズリダクション.....	25

は行 ページ

バーチャルサラウンド.....	25
パスワード.....	38
早送り.....	29
早見・早聞き再生.....	24
早戻し.....	29
ピクチャーCD.....	26
ピュアダイレクト.....	25
フォーマット.....	42
副音声.....	21
付属品.....	6
ブライトネス.....	25
プレイリスト.....	20
プログラム再生.....	31

＜その他について＞

プログレッシブ	35
ポップアップメニュー	20

ま行 ページ

マーカー	27
マクロビジョン社	8
マルチ音声	20
マルチ字幕	21

ら行 ページ

ランダム再生	31
リージョンコード	7
リモコン	8
リモコンコード	11
レジューム	19

ライセンス

ここでは、本機に使われているソフトウェアの利用許諾(ライセンス)について記載しています。

正確な内容を保有するため、原文(英語)を記載しています。

Exhibit A

GPL

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.,
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
- If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

- 11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
- 12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS
How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

```
Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.
This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain
conditions; type `show c' for details.
```

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program
`Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

Exhibit B
LGPL

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

- 0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

- 1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

- 2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The modified work must itself be a software library.
- b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

- You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

- You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

- A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

- As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
- Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
- If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

- You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:
 - Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
 - Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.
- You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
- You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

- Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

- If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

- If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
- The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

- If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

- BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
- IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS
How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs)
written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

Exhibit C
Free Type

The FreeType Project LICENSE

2006-Jan-27

Copyright 1996-2002, 2006 by
David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg

Introduction

The FreeType Project is distributed in several archive packages; some of them may contain, in addition to the FreeType font engine, various tools and contributions which rely on, or relate to, the FreeType Project.

This license applies to all files found in such packages, and which do not fall under their own explicit license. The license affects thus the FreeType font engine, the test programs, documentation and makefiles, at the very least.

This license was inspired by the BSD, Artistic, and IJG (Independent JPEG Group) licenses, which all encourage inclusion and use of free software in commercial and freeware products alike. As a consequence, its main points are that:

- We don't promise that this software works. However, we will be interested in any kind of bug reports. ('as is' distribution)
- You can use this software for whatever you want, in parts or full form, without having to pay us. ('royalty-free' usage)
- You may not pretend that you wrote this software. If you use it, or only parts of it, in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you have used the FreeType code. ('credits')

We specifically permit and encourage the inclusion of this software, with or without modifications, in commercial products. We disclaim all warranties covering The FreeType Project and assume no liability related to The FreeType Project.

Finally, many people asked us for a preferred form for a credit/disclaimer to use in compliance with this license. We thus encourage you to use the following text:

""
Portions of this software are copyright© <year> The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.
""

Please replace <year> with the value from the FreeType version you actually use.

Legal Terms

0. Definitions

Throughout this license, the terms 'package', 'FreeType Project', and 'FreeType archive' refer to the set of files originally distributed by the authors (David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg) as the 'FreeType Project', be they named as alpha, beta or final release.

'You' refers to the licensee, or person using the project, where 'using' is a generic term including compiling the project's source code as well as linking it to form a 'program' or 'executable'. This program is referred to as 'a program using the FreeType engine'.

This license applies to all files distributed in the original FreeType Project, including all source code, binaries and documentation, unless otherwise stated in the file in its original, unmodified form as distributed in the original archive. If you are unsure whether or not a particular file is covered by this license, you must contact us to verify this.

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg.

All rights reserved except as specified below.

1. No Warranty

THE FREETYPE PROJECT IS PROVIDED 'AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT.

2. Redistribution

This license grants a worldwide, royalty-free, perpetual and irrevocable right and license to use, execute, perform, compile, display, copy, create derivative works of, distribute and sublicense the FreeType Project (in both source and object code forms) and derivative works thereof for any purpose; and to authorize others to exercise some or all of the rights granted herein, subject to the following conditions:

- Redistribution of source code must retain this license file ('FTL.TXT') unaltered; any additions, deletions or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation. The copyright notices of the unaltered, original files must be preserved in all copies of source files.
- Redistribution in binary form must provide a disclaimer that states that the software is based in part of the work of the FreeType Team, in the distribution documentation. We also encourage you to put an URL to the FreeType web page in your documentation, though this isn't mandatory.

These conditions apply to any software derived from or based on the FreeType Project, not just the unmodified files. If you use our work, you must acknowledge us. However, no fee need be paid to us.

3. Advertising

Neither the FreeType authors and contributors nor you shall use the name of the other for commercial, advertising, or promotional purposes without specific prior written permission.

We suggest, but do not require, that you use one or more of the following phrases to refer to this software in your documentation or advertising materials: 'FreeType Project', 'FreeType Engine', 'FreeType library', or 'FreeType Distribution'.

As you have not signed this license, you are not required to accept it. However, as the FreeType Project is copyrighted material, only this license, or another one contracted with the authors, grants you the right to use, distribute, and modify it. Therefore, by using, distributing, or modifying the FreeType Project, you indicate that you understand and accept all the terms of this license.

4. Contacts

There are two mailing lists related to FreeType:

- freetype@nongnu.org
Discusses general use and applications of FreeType, as well as future and wanted additions to the library and distribution. If you are looking for support, start in this list if you haven't found anything to help you in the documentation.
- freetype-devel@nongnu.org
Discusses bugs, as well as engine internals, design issues, specific licenses, porting, etc.

Our home page can be found at
<http://www.freetype.org>

LibJPEG

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane.
All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

- (1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
- (2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".
- (3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

Open SSL

OpenSSL License

/*
Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:

"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

*/

Original SSL/TLS License

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscape's SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc. code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:

"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

*/

ソフトウェアなどに関する重要なお知らせ

GPL、LGPL ライセンスについて

本製品では、GNU-General Public License (以下 GPL)、GNU Lesser General Public License (以下 LGPL) などが適用されるコードを一部のモジュールで使用しております。これらのソフトウェアに関しては、各ライセンスに基づきソースコードを入手、改編、配布 することができます。当社のお客様相談センターにお問い合わせいただければ、実費にてGPL、LGPLライセンスに基づくソースコードをご提供させていただきます。なお、提供しているソースコードは保証されていません。また、ソースコードの内容についてのお問い合わせは受け付けておりませんので、あらかじめご了承ください。

ご使用になる前に

接続のしかた

基本操作のしかた

便利な操作のしかた

初期設定のしかた

その他について

ご使用になる前に

接続のしかた

基本操作のしかた

便利な操作のしかた

初期設定のしかた

その他について

株式会社 **デノン** コンシューマー マーケティング

本 社 〒210-8569 神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1
D&Mビル3F

お客様相談センター TEL: **044-670-5555**

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

受付時間 9:30~12:00、12:45~17:30

(弊社休日および祝日を除く、月~金曜日)

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先(サービスセンター)については、
次のURLでもご確認できます。

<http://denon.jp/info/info02.html>

後日のために記入しておいてください。

購入店名: _____ 電話 (_____ - _____)

ご購入年月日: _____ 年 _____ 月 _____ 日

